

インドシナ難民の 定住状況調査報告

1993年 3 月

財団法人

アジア福祉教育財団難民事業本部

まえがき

1975年、南ベトナム・サイゴン政権の崩壊と相前後して発生したインドシナ難民問題はすでに17年の歳月を経過しました。この間、米国をはじめカナダ、オーストラリア、フランスなど世界各地に定住して行ったインドシナ難民の数は160万人にも達しています。

我が国においてもこのインドシナ難民（ベトナム・ラオス・カンボジア）を救援するため、政府は（財）アジア福祉教育財団に難民事業本部を設置してインドシナ難民の受け入れを委託しました。

1979年から今日まで約8,700人のインドシナ難民が日本語教育や職業斡旋等を受けて国内各地に定住しております。

定住後、日本の学校教育を受けた難民の子弟は、日本社会にさほど違和感もなく同化できていますが、一方、大人達は言葉の問題もあり、社会制度・習慣など異文化の中での生活にたいへん苦勞を強いられている面もうかがえます。

また、インドシナ難民の就職については、日本経済の好景気を反映して比較的高水準を維持してきましたが、バブル経済の崩壊により企業からの求人が、激減して難民事業本部の各定住促進センターでの長期滞在者が増加している状態です。

他方、外国人不法就労者が増えている現状の中で、合法的に就職できる定住難民がこれら不法就労者と混同される現象も起きており、難民の就職活動に不利な影響もみられます。

そこで今回難民事業本部では、彼等が何を考え、どんな問題を抱えているかを知ることにより今後の定住難民に対する施策の一助とするため、個人面接によるアンケート調査を実施いたしました。この調査結果報告が、今後の我が国における難民行政ならびに事業の参考資料として役立てば幸いです。

この調査は、難民事業本部及び各センターの職員全員の協力を得て実施されましたが、日本青年会議所の国際平和基金より調査費の一部御援助を頂き、また、総務庁統計局から貴重な助言を頂きました。ここに心よりお礼申し上げます。

1993年3月

（財）アジア福祉教育財団
難民事業本部長
佐藤裕美

目次

まえがき	1
インドシナ難民の定住状況調査概要	5
I. 基本調査（フェイスシート）結果	7
1. 居住地（都府県別）	7
2. 職場所在地（都府県別）	8
3. 従業員数	9
4. 家族形態	9
5. 入国時の家族（構成人）数	10
6. 現在の家族（構成人）数	10
7. 入国形態	11
8. 母国での学歴	11
9. 在留資格等	12
10. 出国・脱出からの年数	12
11. 在日年数	13
12. センター退所後の年数	13
13. 住宅形態	14
14. 家賃	15
15. 部屋の広さ	15
16. 婚姻関係	17
17. 宗教	17
※18. 日本語の会話の程度	18
※19. 現在の日本での暮らしの状況（特に適応状況）	18
（注）※印は、調査員の所見	
II. 実態調査結果	19
第1章 教育	
1. 日本語会話はどの程度	19
2. 定住後の日本語の勉強	20
2-2 勉強をしていない理由	20
3. 日本語の勉強の希望	21
3-2 どの程度の語学力をつけたいか	21
4. 日本での最終学歴	21
5. 進学希望	22
第2章 職業	

〈仕事についている人〉

6. 勤めている会社の業種 仕事の職種	23
7. 在職期間	24
8. 前月の給与の手取額	25
9. 今の仕事に満足していますか	26

〈仕事をしていない人〉

10. 今の状態	27
10-2生活費はどのようにしていますか	29
11. 転職の経験	29
11-2転職の理由	30
11-3公共職業訓練校の経験	30

第3章 生活状況

12. 母国の文化、宗教行事を日本で続けていますか	31
13. 趣味や楽しみ	31
14. 近所付き合い	33
15. 近所からの苦情はありますか	34
16. 身近な人で心の病に苦しんでいる人はいますか	34
17. 生活保護	34
17-2受けた理由	34
18. 健康保険の加入	35

第4章 親族等の関係

19. 海外の親族等へ援助をしていますか	36
19-2それは、どこへですか	36
20. 来日後、出国した事がありますか	37
20-2出国の理由	37
21. ODP家族の呼寄せ	38
21-2親族等の呼寄せや訪問	38
21-3呼寄せは誰を	38

第5章 不安と希望

22. 今、困っていること	39
23. 困ったときの相談相手	40
24. 定住後センターの難民相談員及び職業相談員へ相談したこと	40
25. もし、自分達の自由に利用できる施設があれば何に利用し役に立てたいですか	41
26. 政府、難民事業本部やボランティア団体に何を希望しますか	41

27. 現在のあなたの日本での暮らしの状況を、どう感じますか	42
28. これからの日本での暮らしの状況を総合的にみて、どう思いますか	43
29. これからも日本に長く住みたいですか	45
29-2「はい」と答えた人	47
29-3「いいえ」と答えた人	47
30. その他の意見・要望	47
Ⅲ. 調査結果からの考察	48

資料

1. 結果集計表	52
2. 我が国に在住するインドシナ難民の定住状況調査実施要領	76
3. インドシナ難民定住状況調査票（訳文付）	77

附録

1. インドシナ難民関係年表	91
2. インドシナ難民 アセアン流出入・本邦入出国・センター入所の内訳	92
3. 我が国におけるインドシナ難民受入フロチャート	93
4. インドシナ難民の就職状況	94

*統計処理上、合計が100%にならないことがあります

インドシナ難民の定住状況調査概要

1. 調査目的

アジア福祉教育財団難民事業本部は、増加するインドシナ難民の支援活動を行うため、昭和54年12月から順次、姫路定住促進センター、大和定住促進センター及び国際救援センター（品川）を開設し、難民のための日本語教育、社会生活適応指導、職業紹介等を実施して、インドシナ難民を全国各地に定住・自活させてきた。

この調査は、これら各地に生活しているインドシナ難民の意識及び生活等の実態を把握するとともに、日本の地域社会に適応するための諸問題や希望を明らかにすることにより、今後の難民事業に資することを目的とする。

2. 調査対象

姫路定住促進センター、大和定住促進センター及び国際救援センターを退所した者（約8,500人）で、1992年10月1日現在16歳以上のインドシナ難民5,316人の中から、500人（ベトナム300人、ラオス100人、カンボジア100人）を無作為に抽出し、調査対象とした。

3. 実施期間

1992年10月1日～10月31日

4. 調査方法

面接による聞きとり方法による。

I. 基本調査（フェイスシート）

本人に関する基本的事項については、本部などの手持資料により調査し、面接時にそれを確認補足した。

II. 各質問事項については、直接本人に面接しアンケート形式によって聞きとった。

5. 回答者数

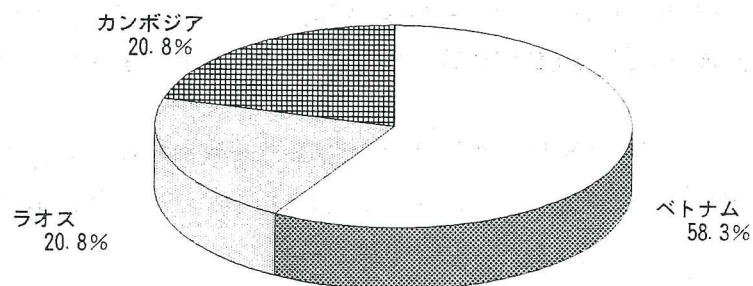
500人、うち384人より回答を得ることが出来、種々の事情により調査できなかった者は116人で、その内訳は下表のとおりである。

海外定住	海外旅行等	国内出張	住所不明	調査拒否	死 亡	合 計
32	15	1	49	18	1	116

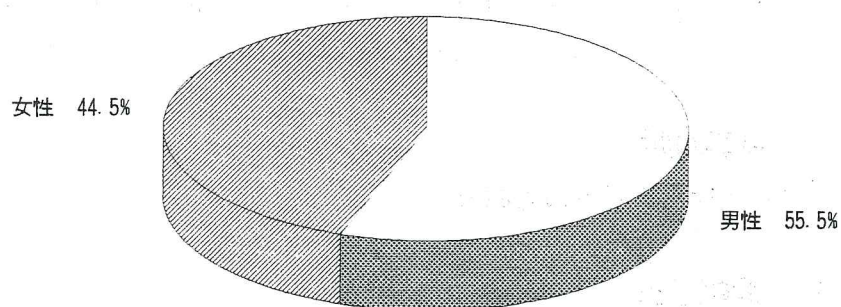
6. 回答者の内訳

回答率 76.8%

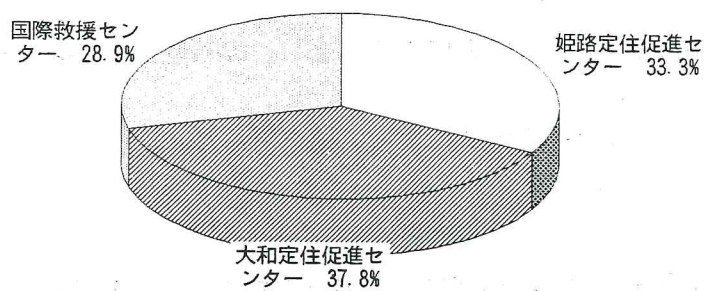
出身国別



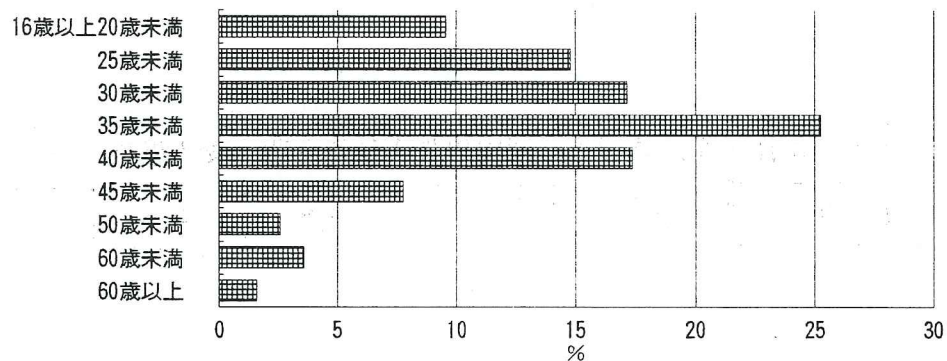
男女別



センター別



年齢別



I. 基本調査（フェイスシート）結果

1. 居住地（都府県別）

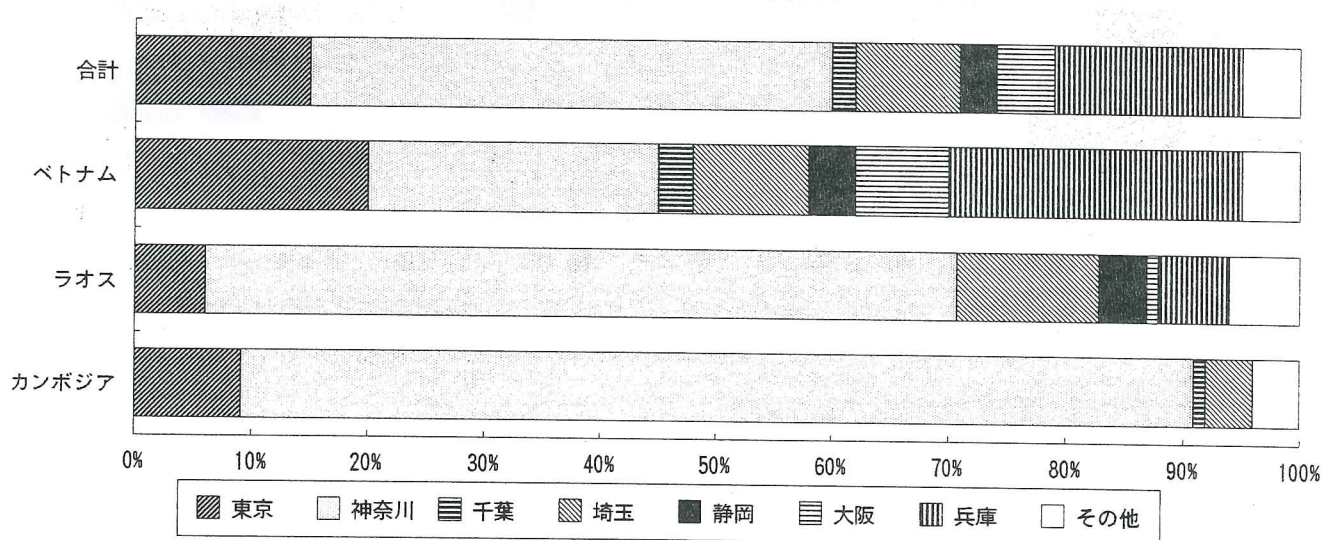
全国的にみた場合、約5割が神奈川県に居住し、更に東京都と東京都に隣接する千葉県や埼玉県を含めると7割以上が1都3県に集中して居住している。

一方、関西地区では、大阪府と兵庫県に2割強が居住。その結果、関東地区と関西地区の2つのブロックに全体の9割が集中していることになる。

東京、大阪周辺に集中する主な理由として①就職が比較的容易である②親族・同国人が多く居住しているので、お互に近くで生活したい③センターやボランティア団体等が存在すること、などが挙げられる。

このような難民の都会志向は後に述べる住宅確保の難しさともかかわりあってくる。

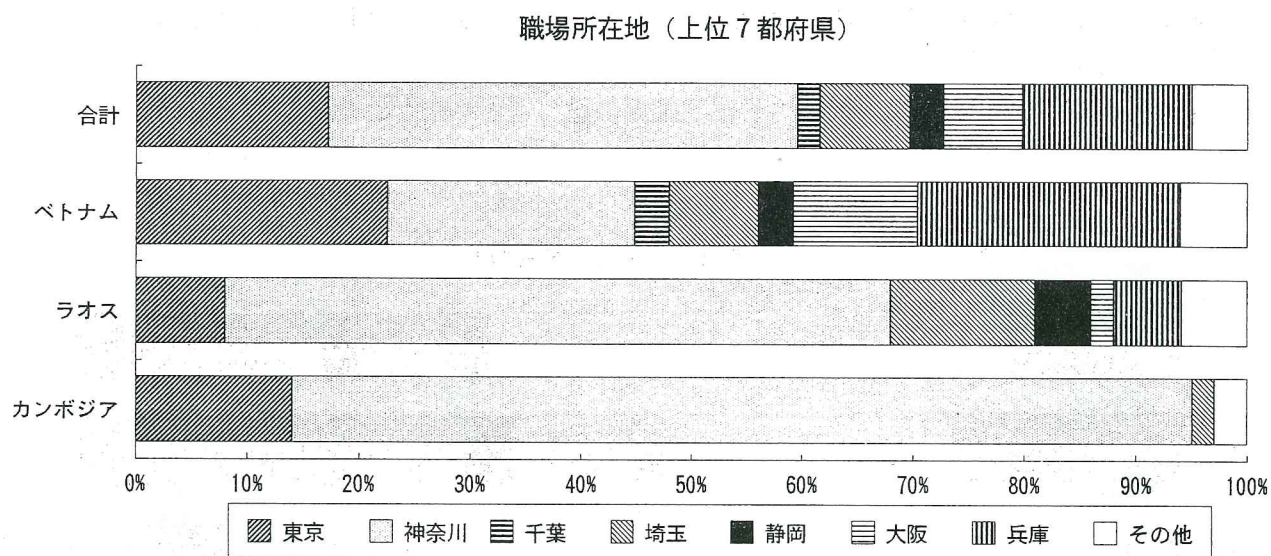
居住地（上位7都府県）



2. 職場所在地（都府県別）

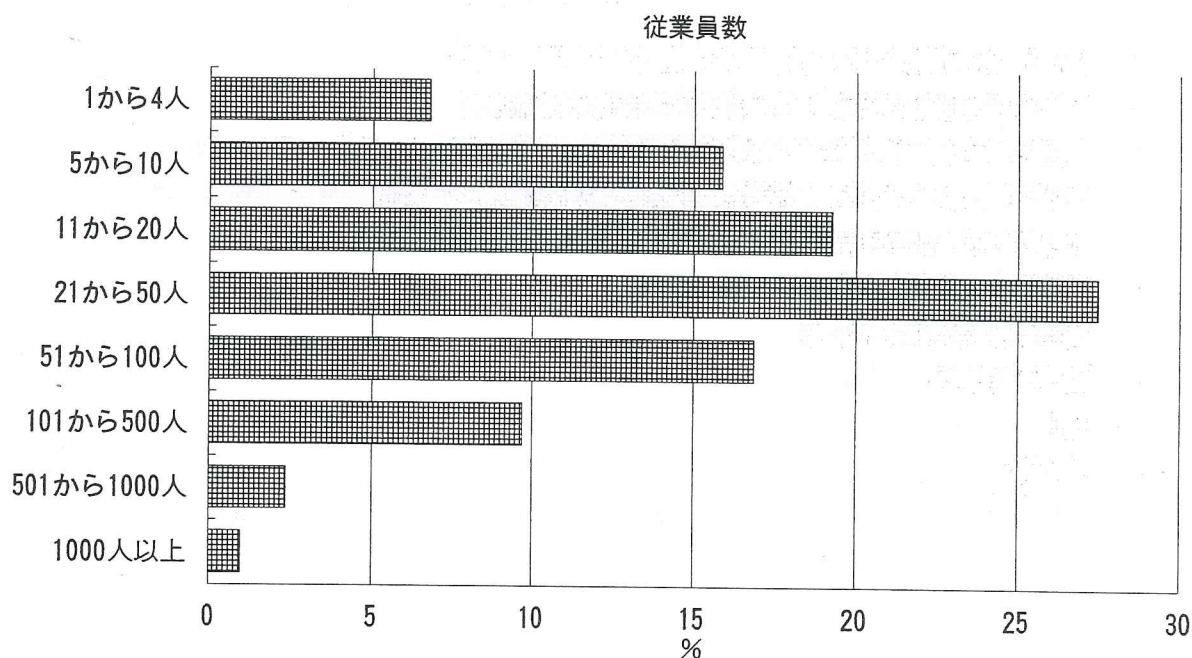
就職者307人の就職地は神奈川県と東京都が6割で、千葉県や埼玉県を含めると7割が首都圏に集中している。

また、関西地区でも兵庫県と大阪府で2割以上となり、当然のことながら上記「居住地」と同じ傾向を示している。ただ、「居住地」と比して神奈川県（45.1%→42.3%）が3ポイント減少し、東京都（15.1%→17.5%）が逆に2ポイント増えている。同様のことが兵庫県と大阪府についても見られる。



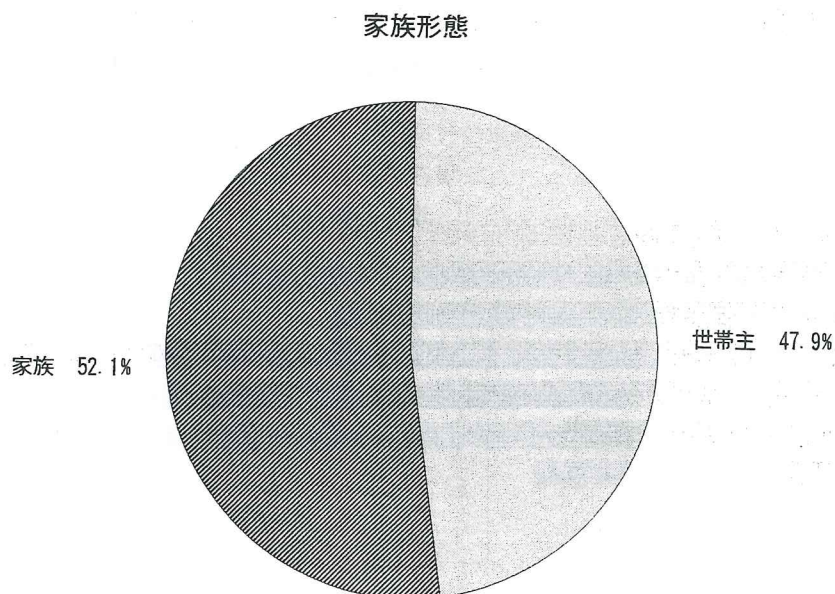
3. 従業員数

雇用されている企業の従業員数は就業者のうち回答のあった者207人中、21人から50人までの企業が最も多く、約3割で、全体の8割が5人以上100人までの中小企業で占めている。従業員1,000人以上の大企業での就労はわずか1%にすぎない。



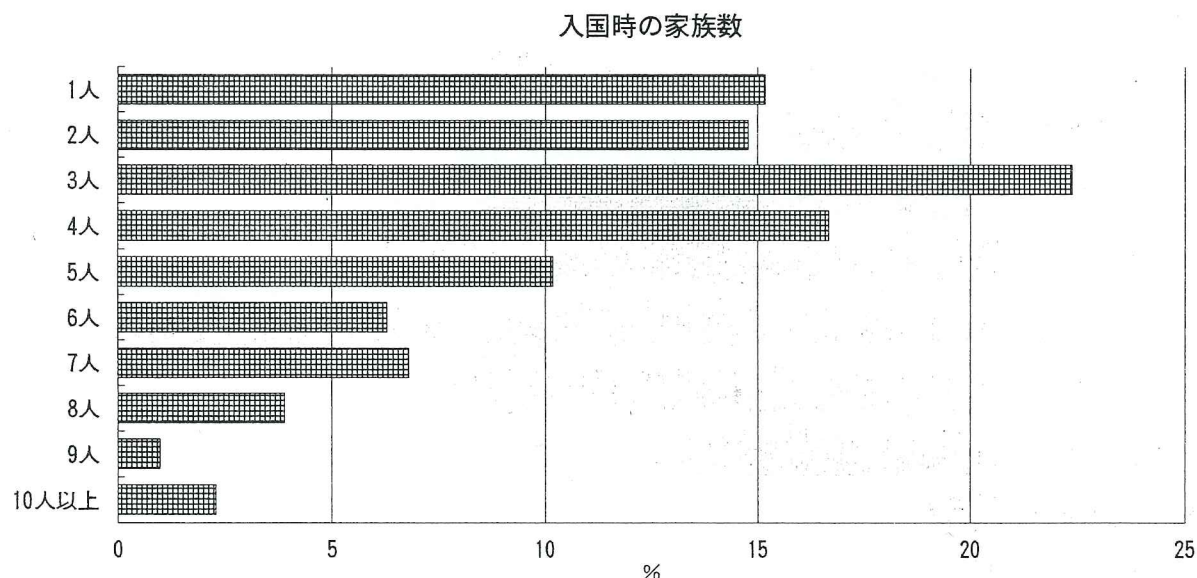
4. 家族形態

回答者384人の日本での家族形態がどうなっているか確認した結果、「家族」が52.1%、「世帯主」（単身を含む）47.9%で、ほぼ半数の比率であった。



5. 入国時の家族（構成人）数

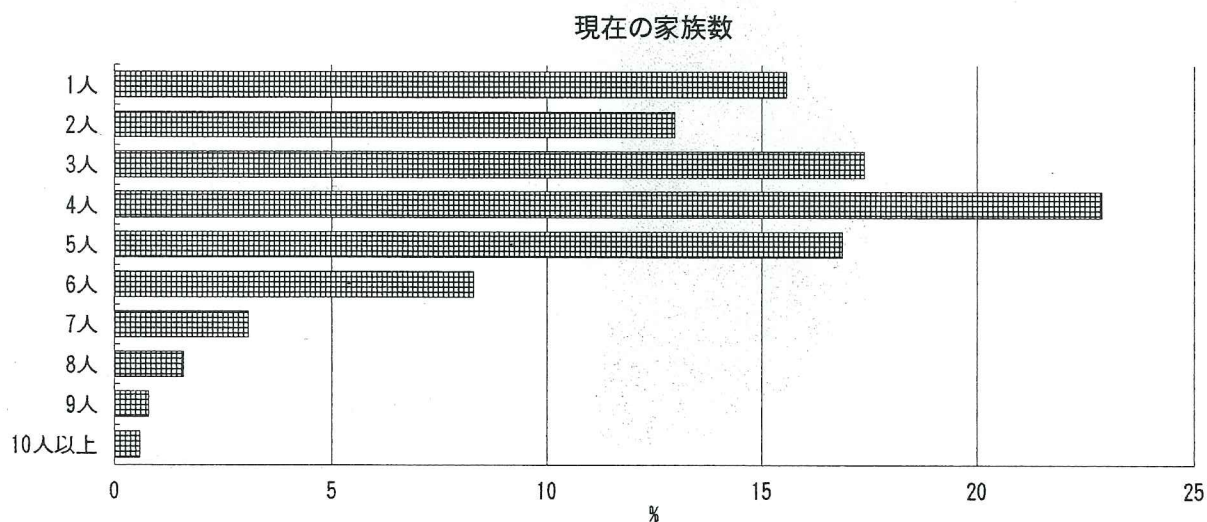
回答者384人中、入国時の家族数3人のケースが2割強で最も多く、1人から5人の家族で全体の8割を占めている。10人以上の家族の場合も9家族（2.3%）ある。



6. 現在の家族（構成人）数

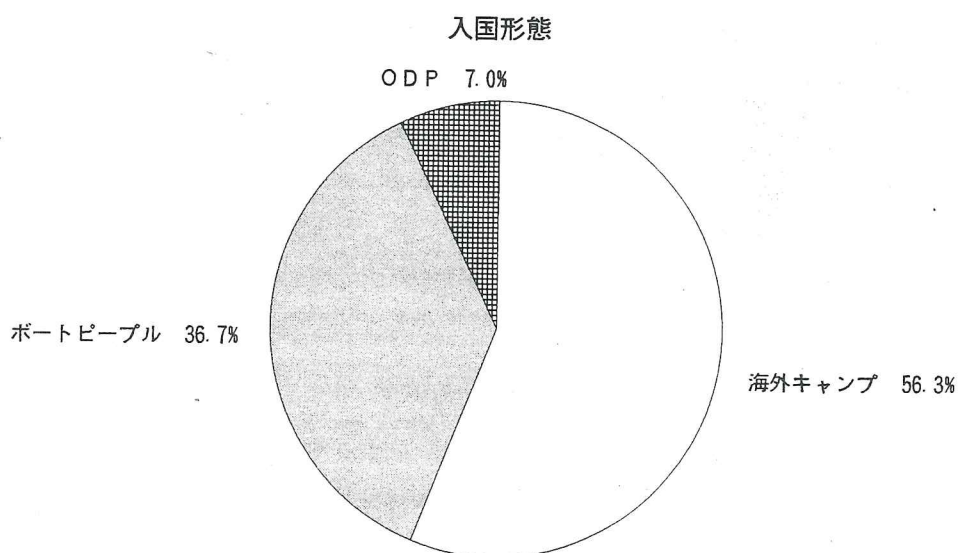
回答者384人中、現在の家族数は入国時の家族数に比して、2人～3人家族は若干減り、逆に4人～6人家族については、平均6ポイント増えている。その理由は、出産や母国からの親族呼寄せによるものと考えられる。

また、入国時7人以上の大家族についてみると、現在減少しており、特に10人以上の家族の場合、入国時は9家族あったが現在は2家族に減少しており、家族の結婚等に伴う分散化によるものと思われる。



7. 入国形態

定住者の大部分は、海外キャンプ56.3%、ボートピープル36.7%で9割以上を占め、残る1割弱がODPである。



注)

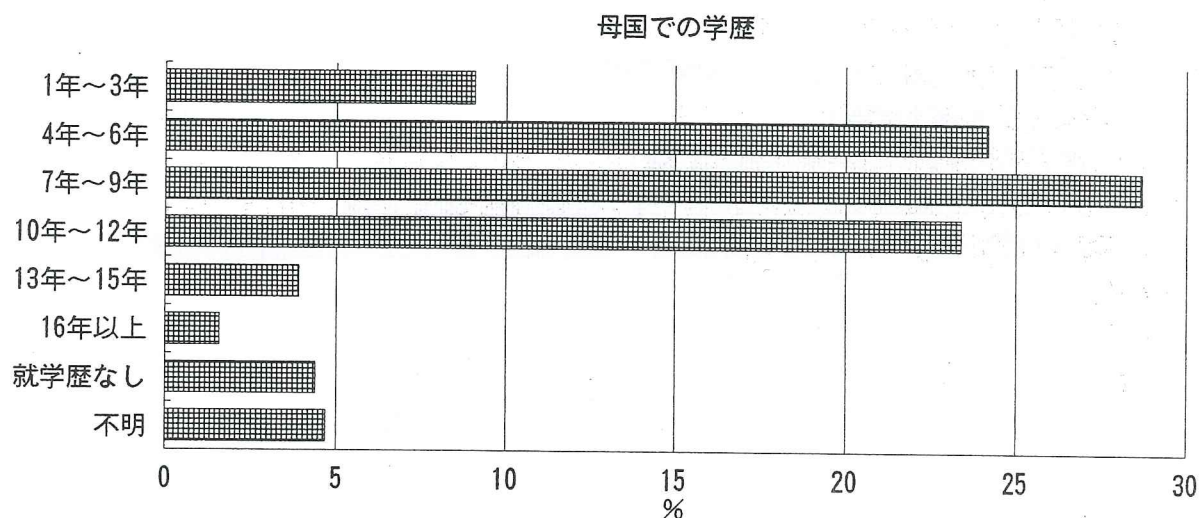
海外キャンプ……東南アジア諸国の難民キャンプに一時滞在中のインドシナ難民で日本に定住希望の者について審査のうえ、入国を認めた定住者。

ボートピープル……ベトナムから小舟に乗って脱出したベトナム難民で、漂流中に貨物船に救助されて、日本に上陸し定住した者。

ODP……Orderly Departure Program (合法出国計画) の略で、国連とベトナム政府との間で取り決めた覚書に基づく家族の呼び寄せ。

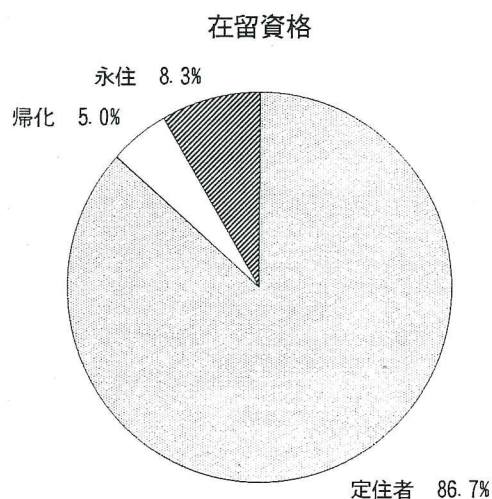
8. 母国での学歴

インドシナ3国で就学年数に若干の差異はあるものの、7～9年の学歴者が30%と最も多く、10～12年は約25%、4～6年も25%で、就学年数3年以下が15%いる。就学歴のない者も約5%いる。なお、16年（大卒相当）以上は約2%である。



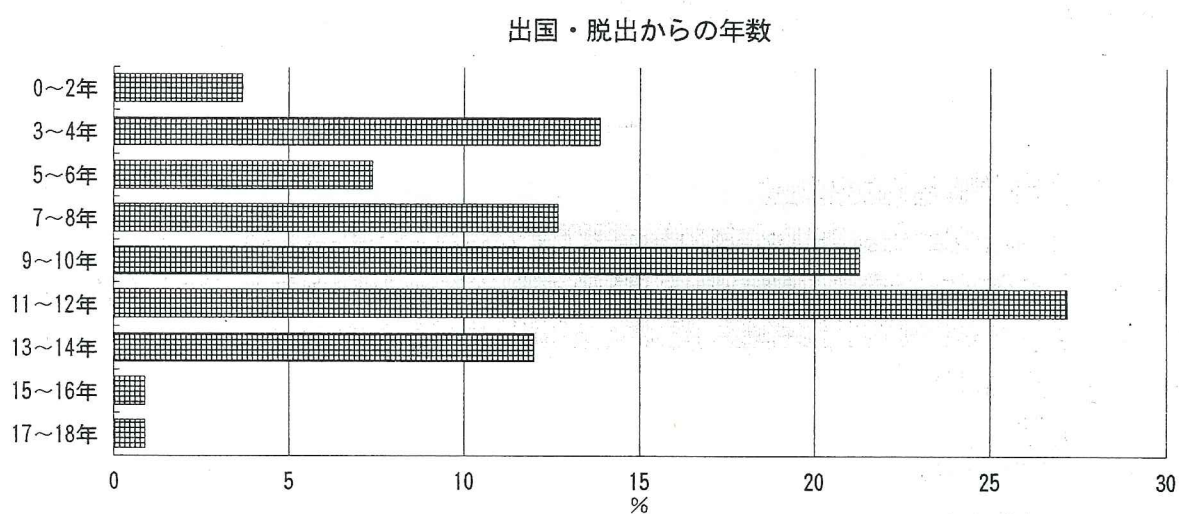
9. 在留資格等

定住者384人中、すでに日本での生活が長くなり、生活も安定したことで永住権を取得した者32人(8.3%)、帰化した者19人(4.9%)となっている。(面接により増加していることが確認されている)



10. 出国・脱出からの年数

多くの年数を要した者は、17～18年で約1割である。11年～12年が全体の約3割、次いで9年～10年が2割で、下図に示すように母国を出て定住者として受け入れられるまでに難民キャンプなどでの生活が長いことが分かる。

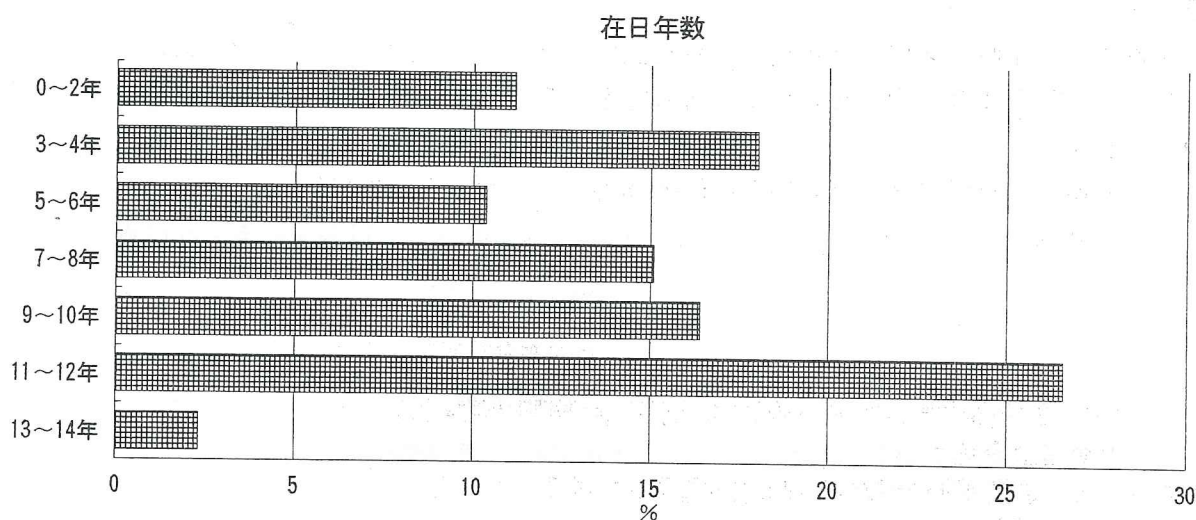


11. 在日年数

在日年数13～14年の者が2.3%と少なく、11年～12年の者は26.6%と多い。しかし、10年以下については10%台で平均化している。

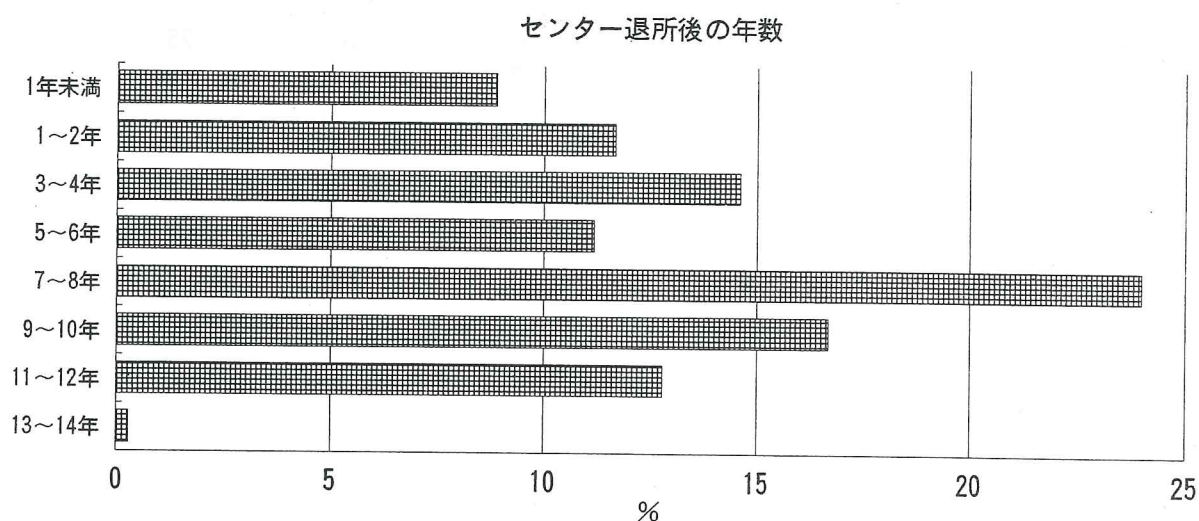
11年～12年の在日年数の者が多くなっている背景として①それまで少なかったボートピープルが1979年に急増した。②海外キャンプからの受け入れを始めた。③定住促進センターが開所し、受け入れを始めた。

以上のことが時期を同じくし、一時的に多くなったものである。



12. センター退所後の年数

回答384人中、12年以下が99.7%を占め、7～8年が24%と最も多い。それは、国際救援センターが1983年（昭58年）に開設したことによる増加である。



13. 住宅形態

民間アパートが27.6%と最も多く、次いで都府県・市町営24.7%、雇用促進住宅18.8%、社宅・社員寮15.1%となっている。公団住宅が2.3%と一戸建貸家4.7%より低いのは、公団住宅の入りにくさの現われであろうか。自宅を持つことが困難な時代に9人(2.3%)の自宅所有者がいる。

国別で、その状況をみると

ベトナム

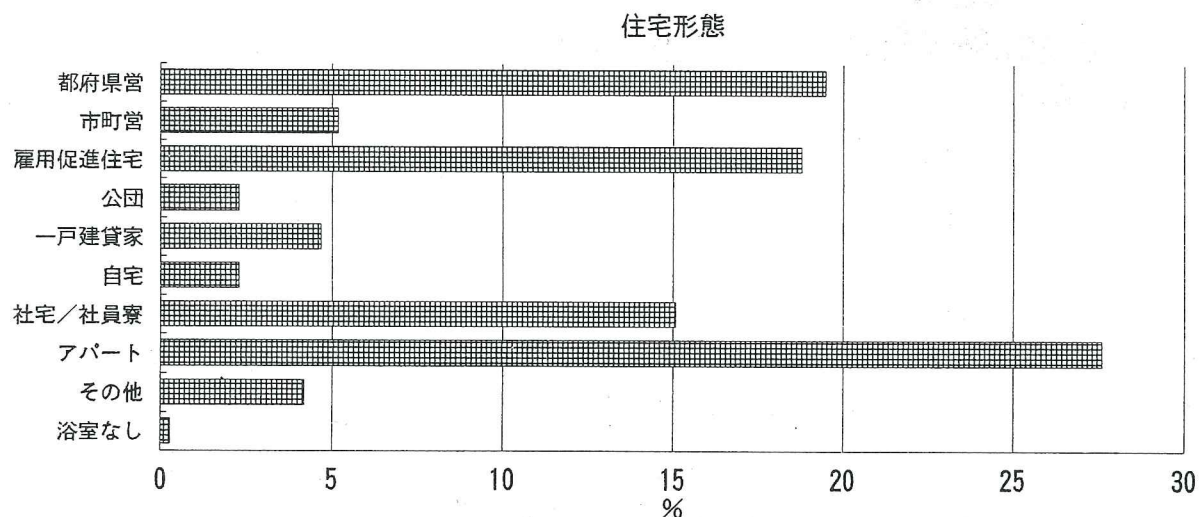
①アパート35% ②雇用促進住宅19% ③都府県・市町営16% ④社宅・社員寮15%
その他15%

ラオス

①都府県・市町営30% ②社宅・社員寮24% ③アパート23% ④雇用促進住宅10%
特に自宅所有者9人中、5人がラオスである。その他13%

カンボジア

①都府県・市町営44% ②雇用促進住宅28% ③アパート11% ④社宅・社員寮8%
その他9%



14. 家賃

家賃は、1.6万円～3万円が全体の3分の1で最も多く、次いで1.5万円以下17.0%、3.1万円～5万円16.8%となっている。

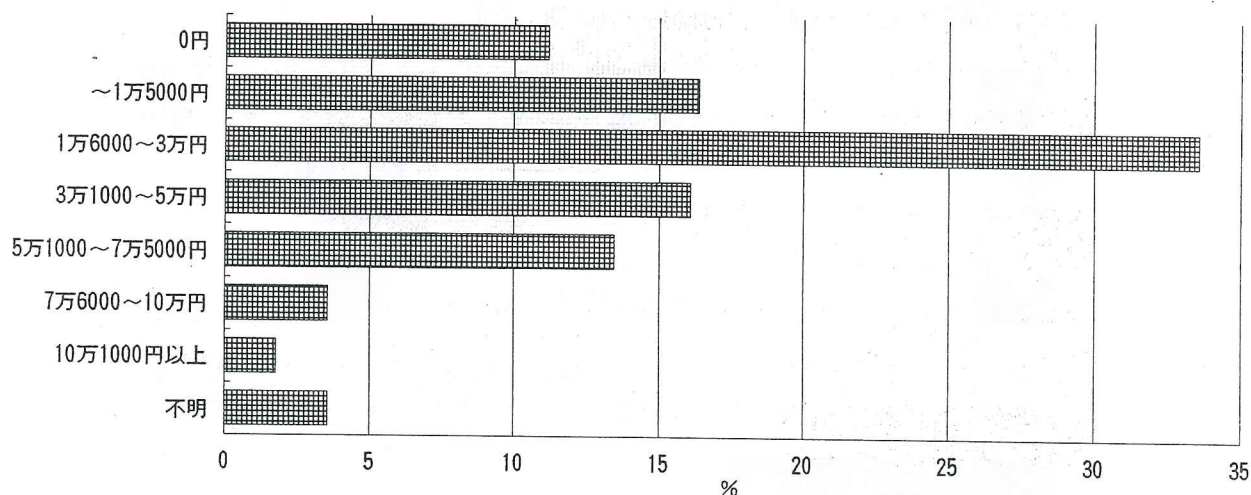
国別の家賃をみるとベトナムは、1.6万円～3万円が25%、3.1万円～5万円20%、5.1万円～7.5万円19%である。以上の3区分で64%を占め、「家賃なし」が11%である。

ラオスについては、1.6万円～3万円が最も多く31%、次いで1.5万円以下が23%、また、「家賃なし」が18%とベトナムに比して多い。

カンボジアは、1.6万円～3万円が約6割で一番多く、次いで1.5万円以下が19%であり、8割近い者が3万円以下の家賃であった。

カンボジアはベトナム、ラオスに比して1.5万円～3万円が圧倒的に多い。

家賃

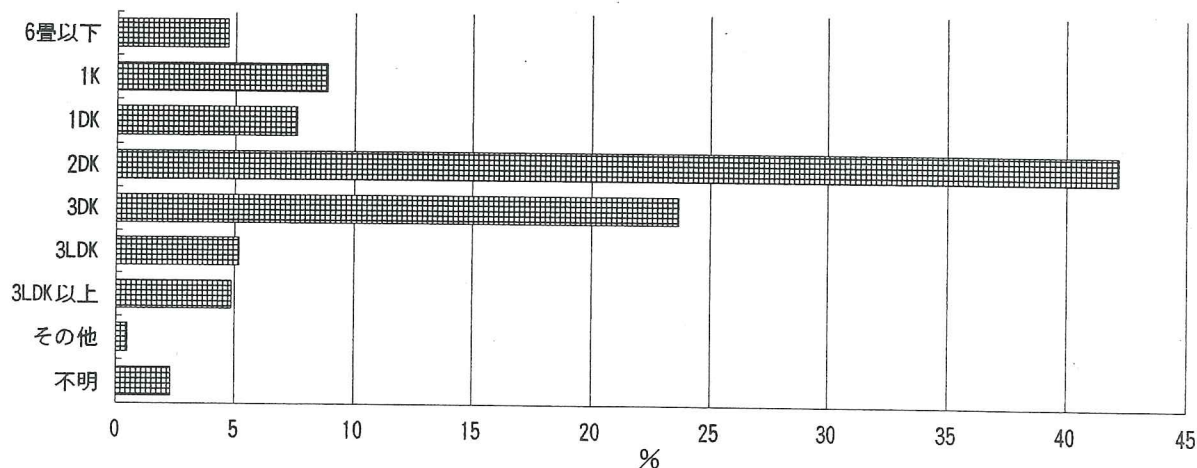


15. 部屋の広さ

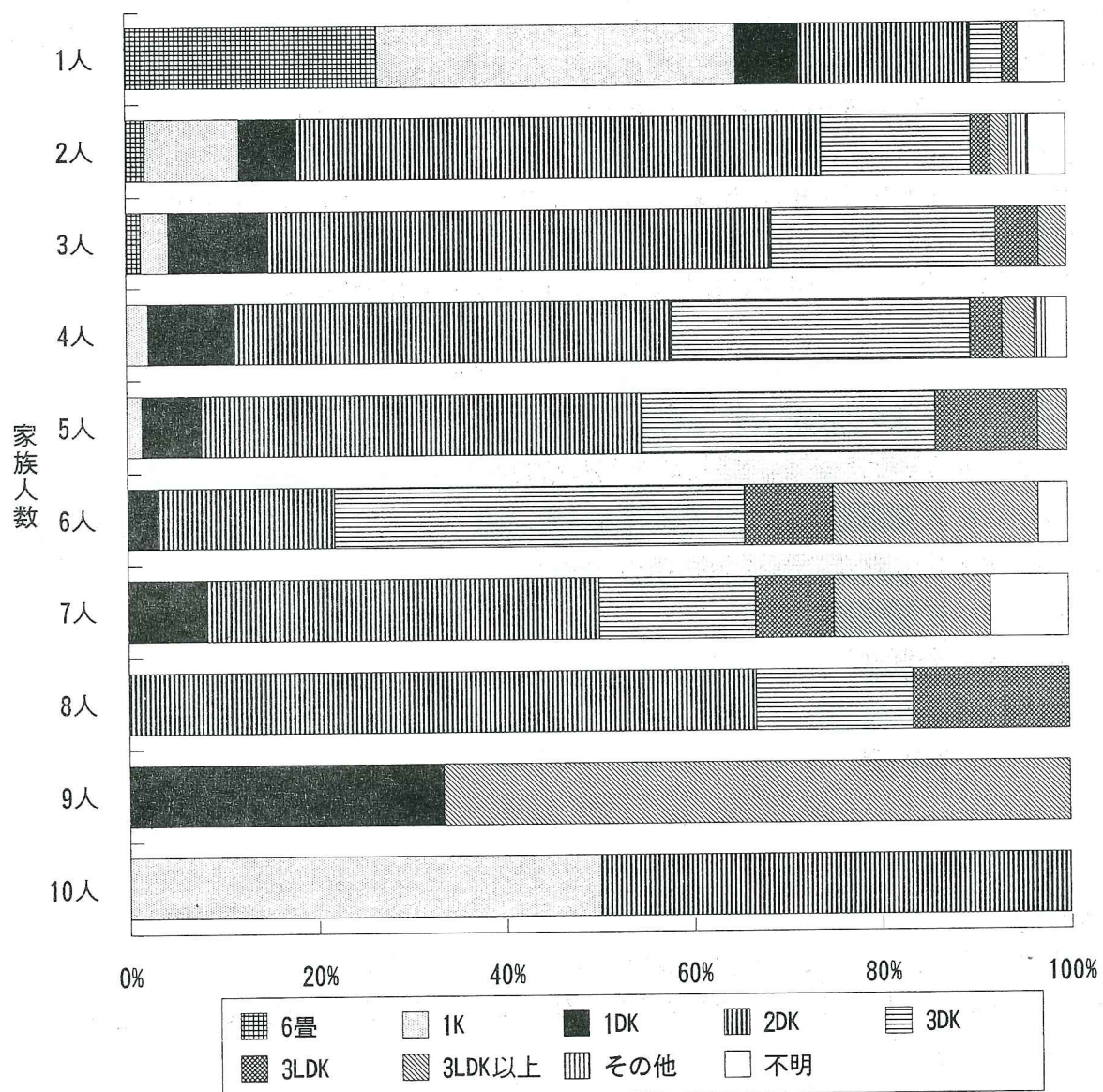
4割強が2DKに居住し、3DKは2割強である。

「現在の家族構成員数」にもみられたように、難民は多人数家族が比較的多いことを考えれば1人当りのスペースは余り広くない。

部屋の広さ

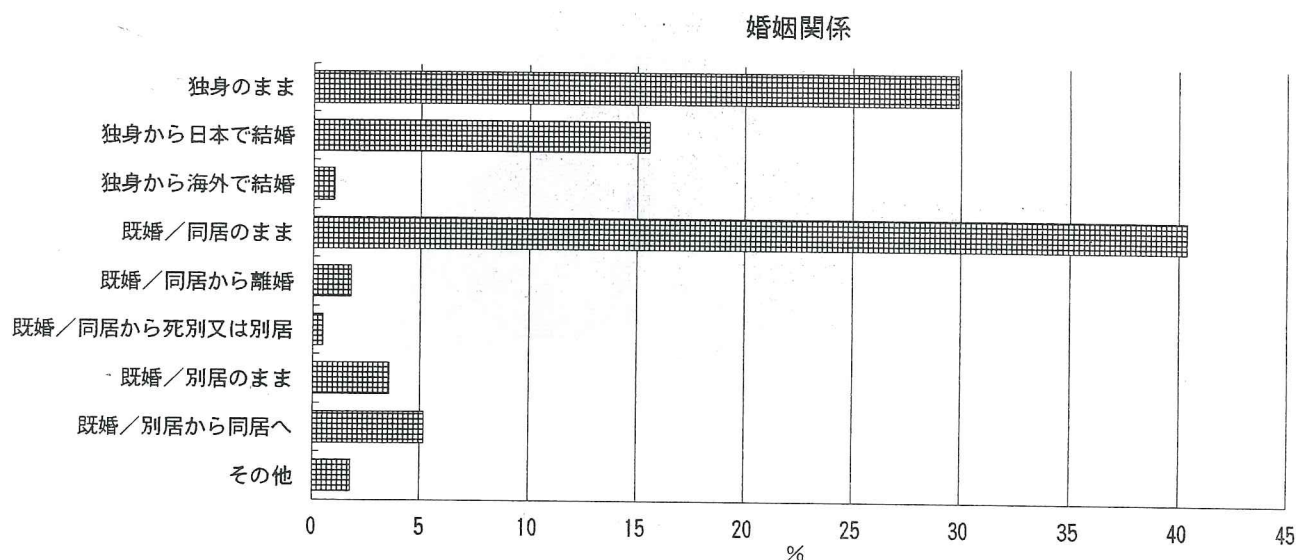


家族数別に見た部屋の広さ



16. 婚姻関係

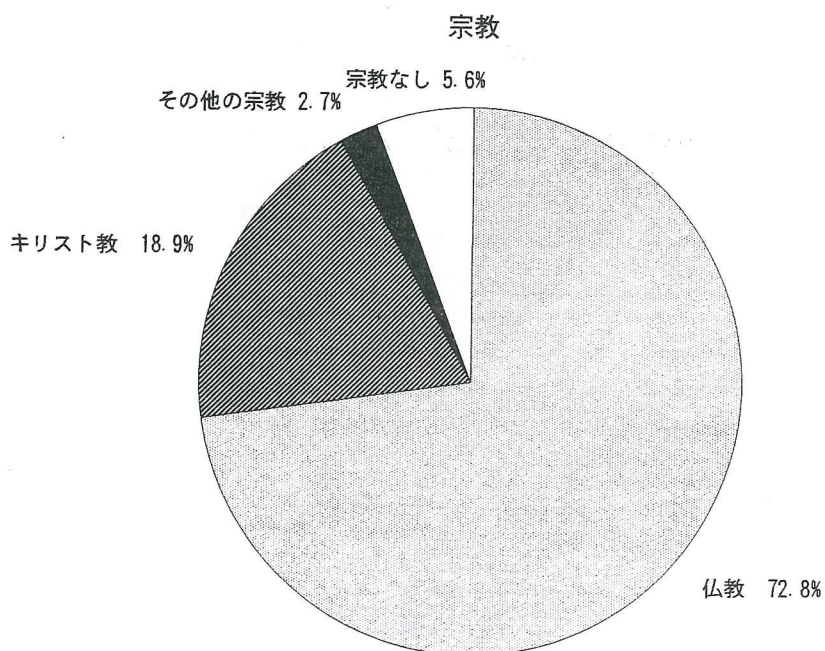
回答304人中、「既婚で同居」定住した者が4割、既婚で妻を本国等に残している者もいる。「独身」が約3割、「独身で来日し日本で結婚」した者が15.6%、既婚だが単身で入国し、後に呼寄せ等で同居した者が5.2%いる。



17. 宗教

不明者83人(21.6%)を除く301人についてみると、「仏教」が7割強の219人、キリスト教(大部分がカトリック)が2割弱の55人で圧倒的に仏教が多い。

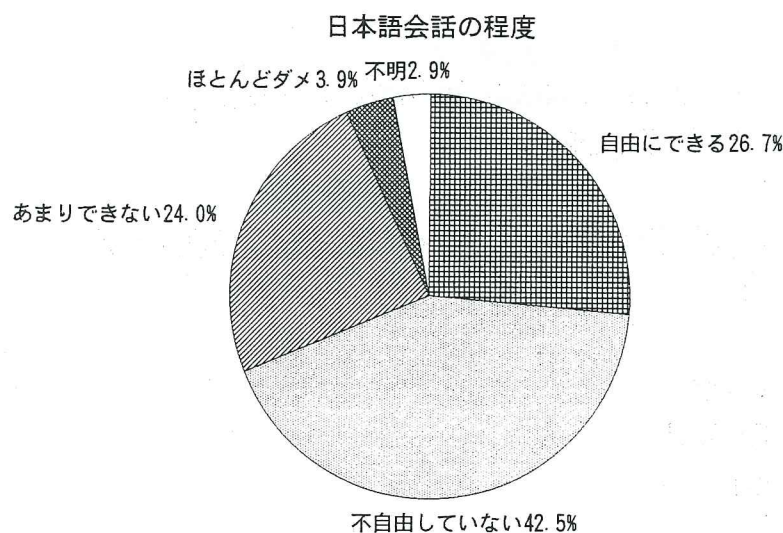
国別でみると、ベトナムは大乘仏教57%、カトリックも31%いる。ラオス及びカンボジアは上座部(小乗)仏教が大部分で、他の宗教は極めて少ない。



18. 日本語の会話の程度

この項目は、調査員が対象者に直接面接した際の会話力を評価したものである。

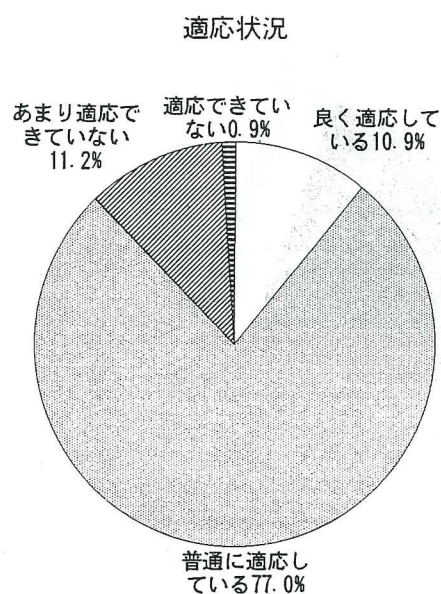
不自由しない（自由にできる者を含めて）で会話のできる者は7割おり、あまり会話に不自由していないことが伺える。



19. 現在の日本での暮らしの状況（特に適応状況）

個人面接調査の際、調査員が日本社会での適応状況を観察して評価したものである。

その結果、「普通に適応している」が77%、「あまり適応できていない」11.2%、「良く適応している」10.9%で9割弱の者が適応しており、1割強の者が適応できないでいると判断している。



Ⅱ. 実態調査結果

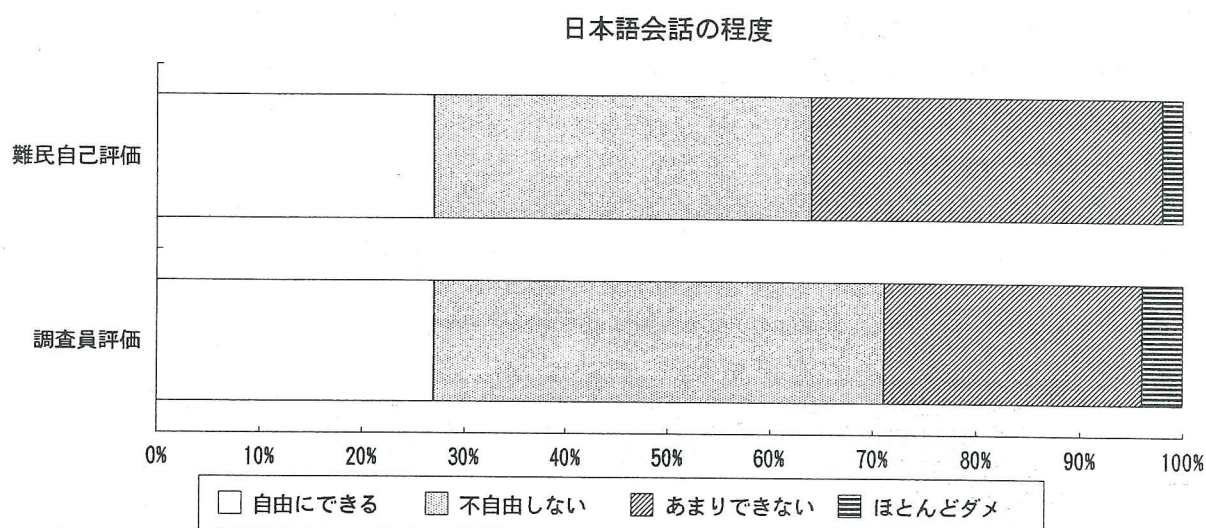
第1章 教育

Q1. 日本語会話はどの程度

回答384人中6割強が不自由なく会話をし、「ほとんどダメ」と答えた者が2%と少なかった。

今回面接した調査員にも会話の評価をして貰ったが、難民の自己評価は少しきびしく、まだ自信が持てないでいるようだ。

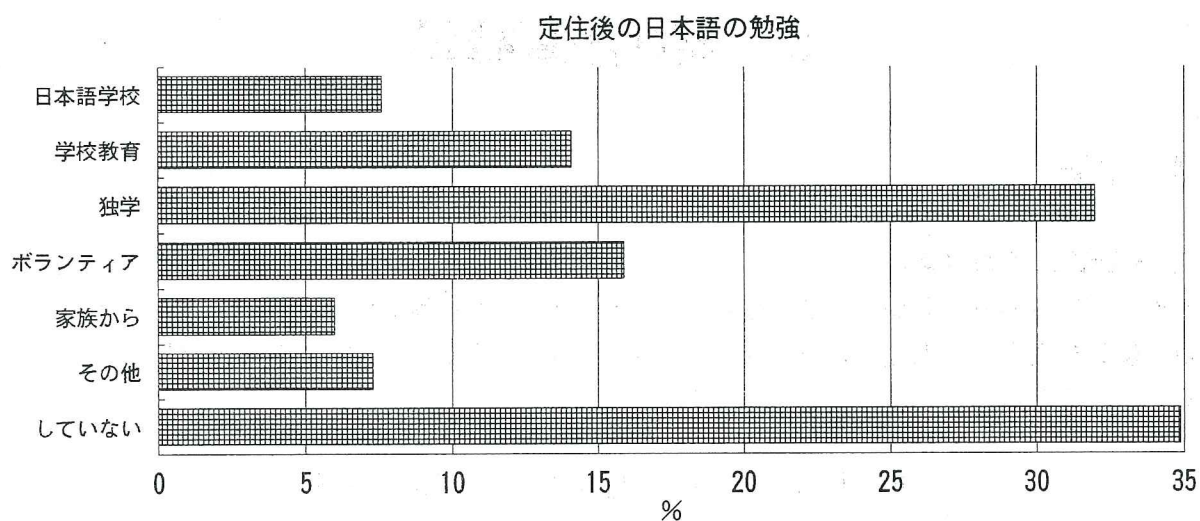
項 目	難民自己評価	調査員評価
自由にできる	27%	27%
不自由しない	37%	44%
あまりできない	34%	25%
ほとんどダメ	2%	4%



Q2. 定住後の日本語の勉強

複数回答で、センター退所後「独学」の32%、「ボランティア」による勉強が15.9%いる。

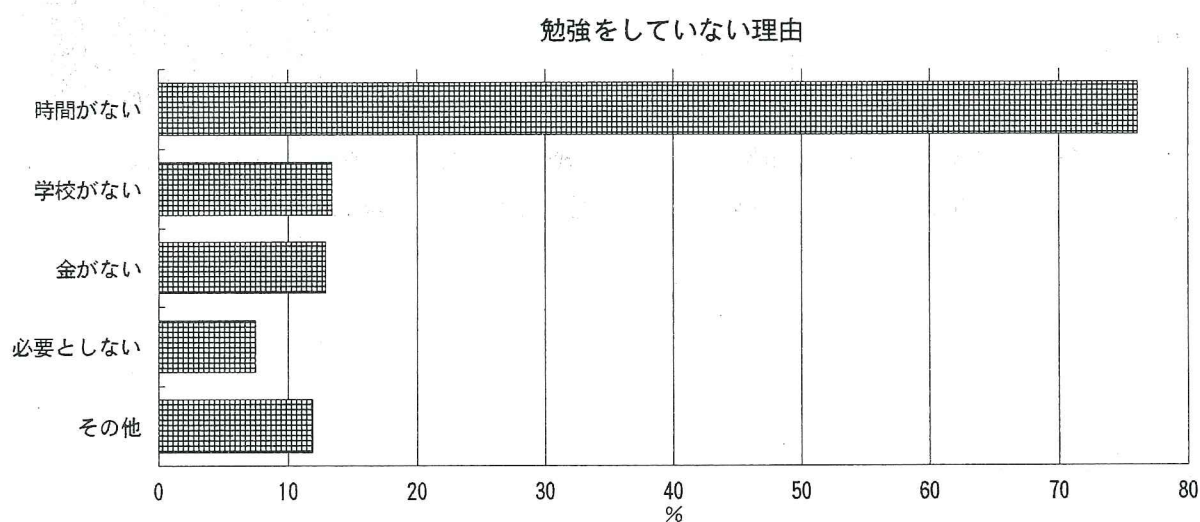
しかし退所後、3割強の者が、日本語の勉強をしていない。



Q2-2 勉強をしていない理由

前問の「定住後日本語の勉強をしていない」と答えた134人の理由は、8割弱が「時間がない」と答え、次いで「学校がない」が13.4%「金がない」が12.7%となっている。また、「必要としない」と答えた者が10人(7.5%)いた。

「必要としない」理由は、能力が高く自由に会話ができる者が3分の1、高齢で勉強ができないが、子供たちが就労しており生活に不自由しない者が3分の2である。



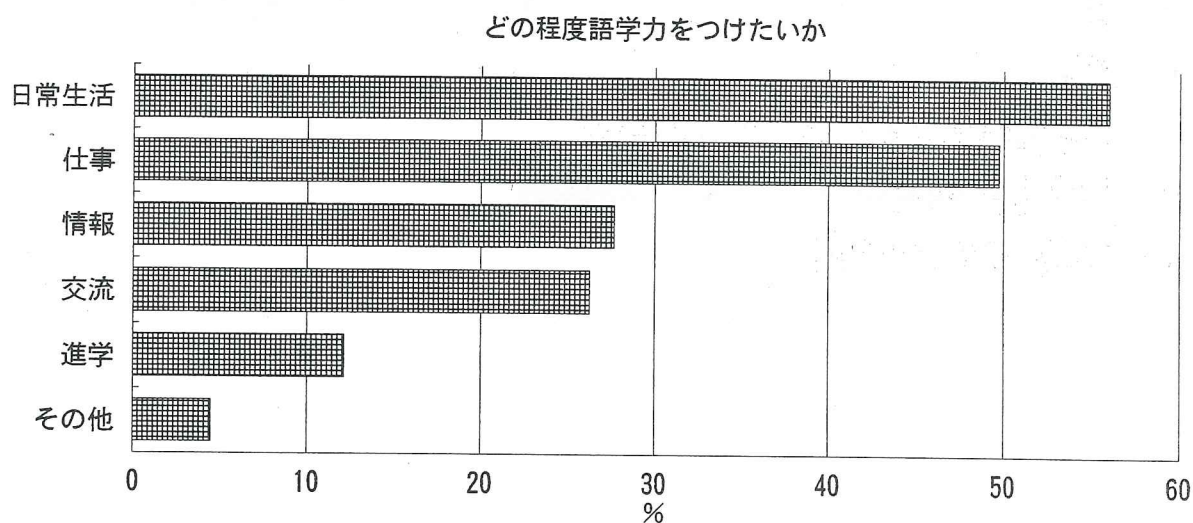
Q3. 日本語の勉強の希望

回答384人中、8割弱が「希望する」と答え、残る2割強が「希望しない」としている。

Q3-2 どの程度の語学力をつけたいか

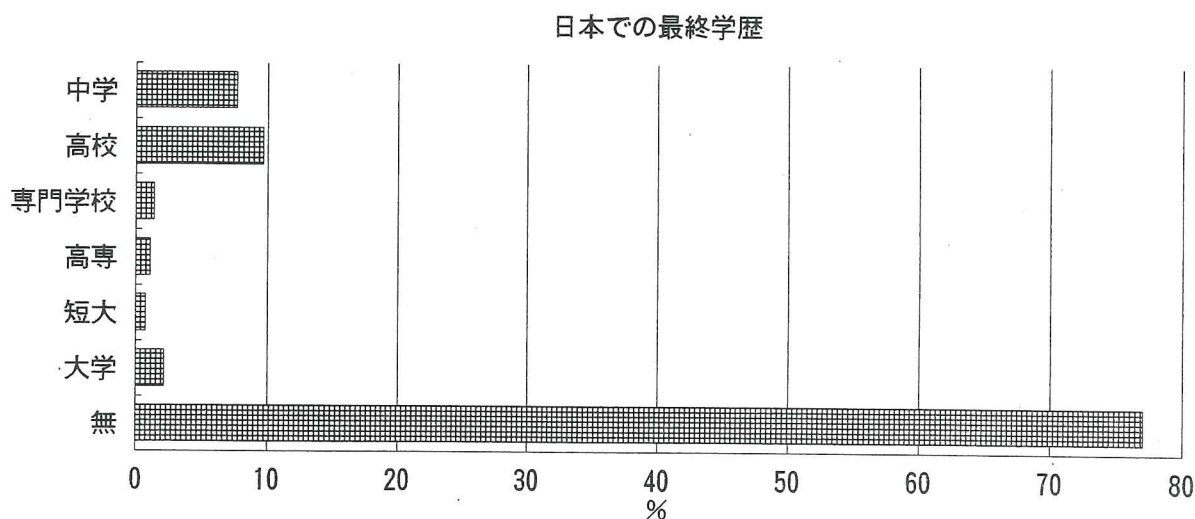
384人に複数回答を求めた結果、289人から回答があり、56.1%が「日常生活」に必要な程度と答え、次いで49.8%が「仕事」のため、27.7%が「情報」を得るため、26.3%は「交流」、12.1%が「進学」と答えている。

この結果、「日常生活」や「仕事」のうえで不自由なく日本語の会話ができることに強い希望を持っていることが分かる。



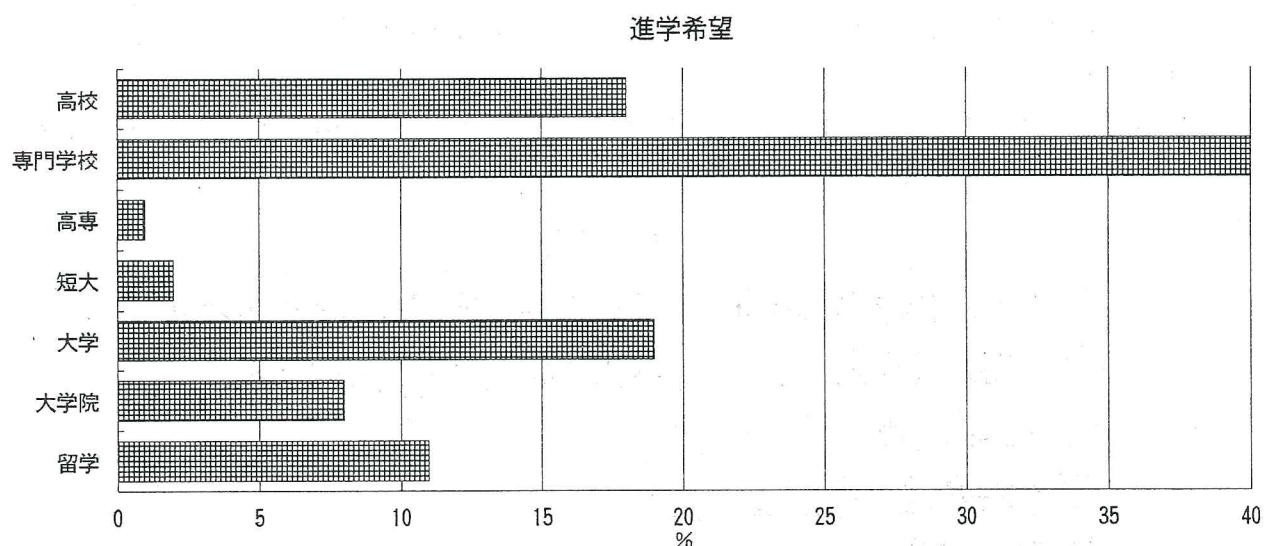
Q4. 日本での最終学歴

約8割の者が日本での学校教育を受けておらず、日本での就学歴のある者は105人で中学が7.4%、高校9.3%であり、高専以上の就学歴を有する者は5.3%である。夜間学校へ6%が通学するなど、向学心が強い。在学中の者も6%いる。



Q5. 進学希望

進学を希望しない者が約7割で、3割が進学志望。そのうち短大以上への進学を望む者は29%、高校18%で、専門学校は40%と高い。年齢別でみると、16~20才の76%、21~25才の61%が進学希望である。また、留学希望が11%、夜間学校希望が38%もいる。苦勞しても進学を希望する者がかなりいることが分る。



第2章 職業

〈仕事についている人〉

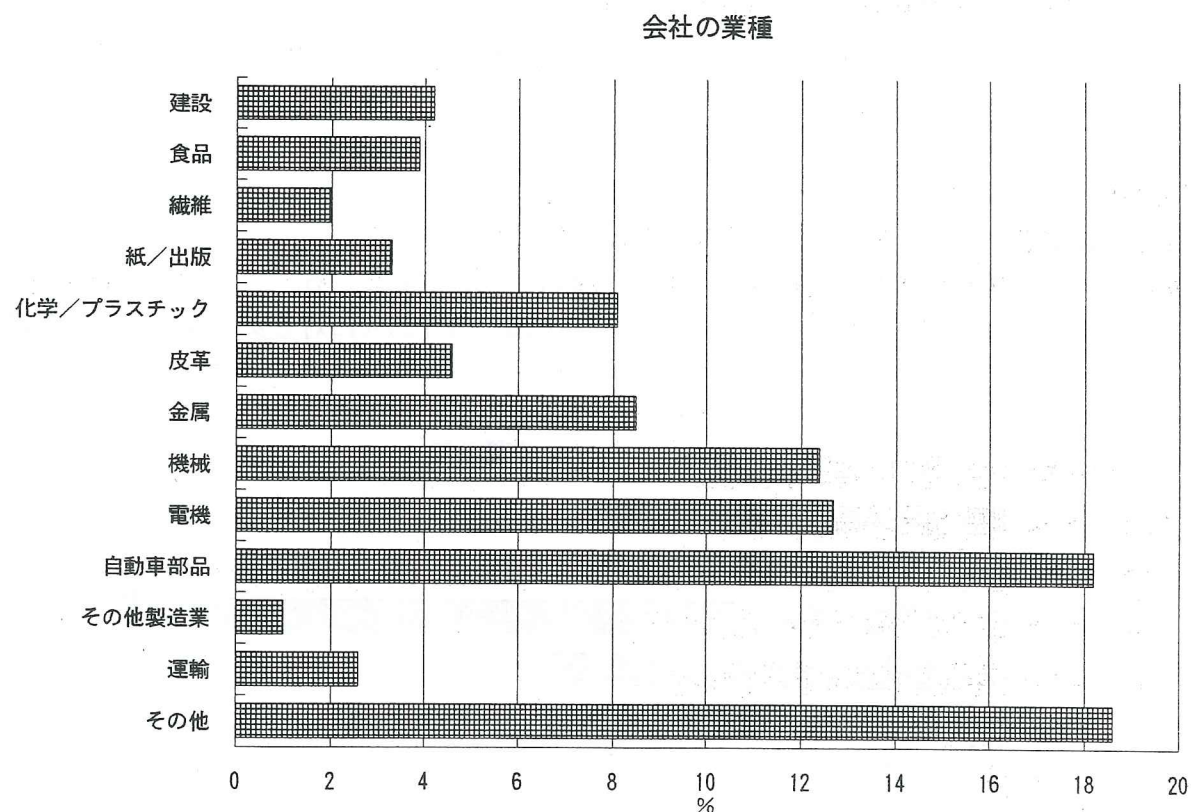
Q 6からQ 9は仕事についている人が回答した。仕事についている人は、回答者384人中80%である。

Q 6. 勤めている会社の業種 仕事の職種

仕事についている者の80%が製造業に従事、7%が小売り業、6%がサービス業である。就業会社を産業分類で分けると、製造業のうち、特に自動車部品20%、電気14%、機械13%及び金属9%が多い。

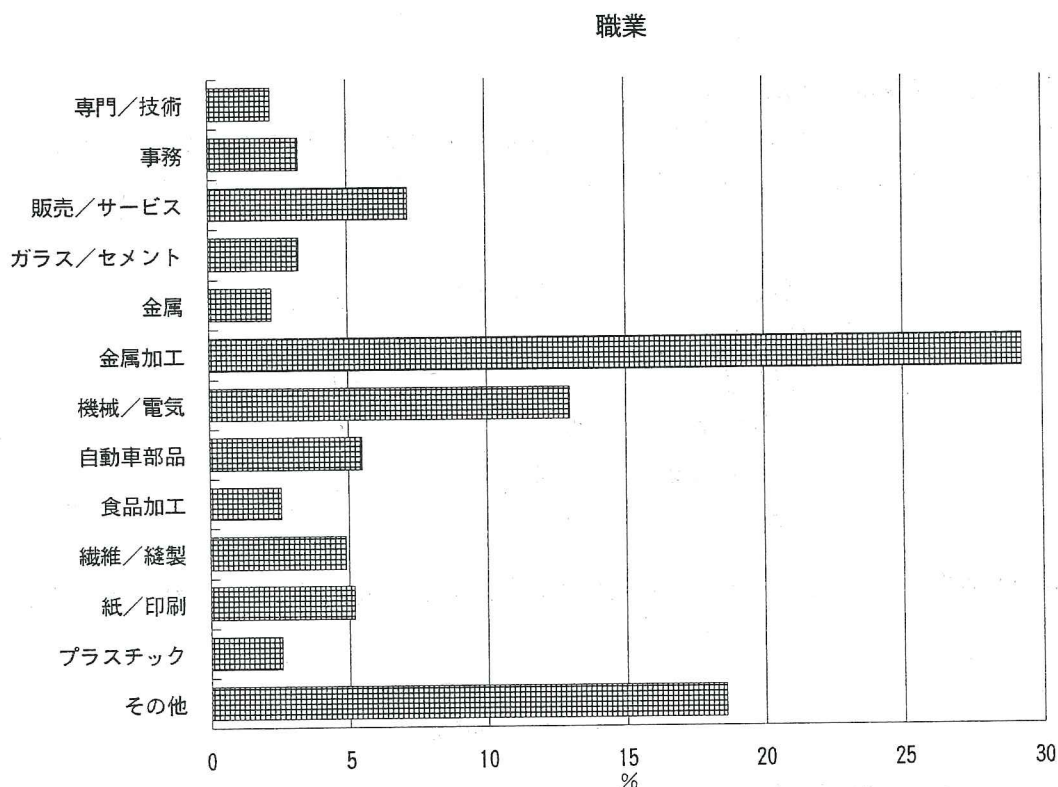
業種	インドシナ難民	労働統計
建設業	4.5%	10%
製造業	79.8	24
小売り業	7.0	28
サービス業	5.9	22
運輸業	2.8	6

神奈川県内の就業が多く、特に自動車部品製造が3割を超える。ラオスとカンボジアにその傾向が強い。



なお、就業が難しい業種として金融・不動産、サービス、小売りなどがあげられる。

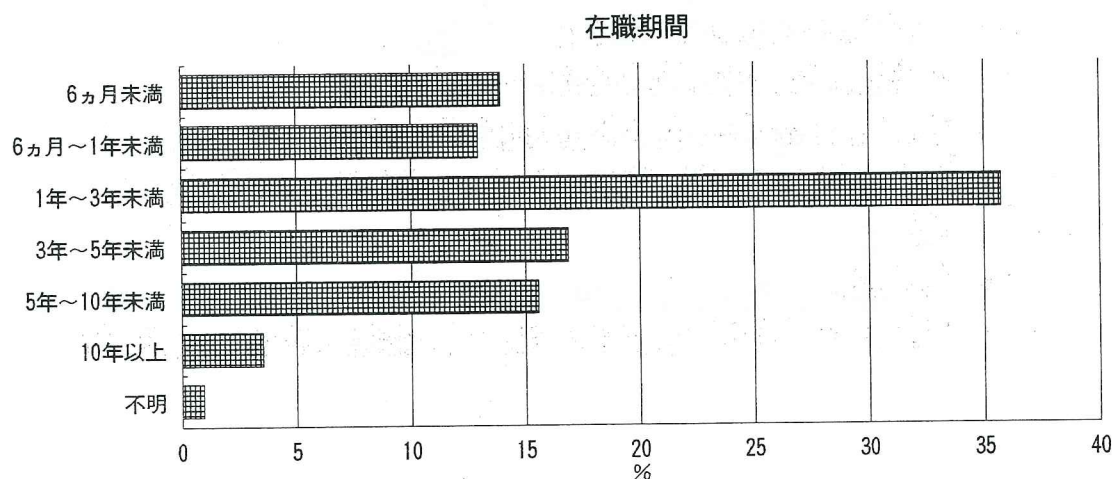
職業分類別でみると、一番多いのは、製造工で82%に及び、そのほかに専門・管理職が2%、事務職が3%、販売・サービス8%、建設・労務2%となっている。製造工のうちでは、金属加工関係が31%、機械電気工が14%となっている。



Q7. 在職期間

1～3年の在職者が36%で最も多く、1年未満は27%となっている。

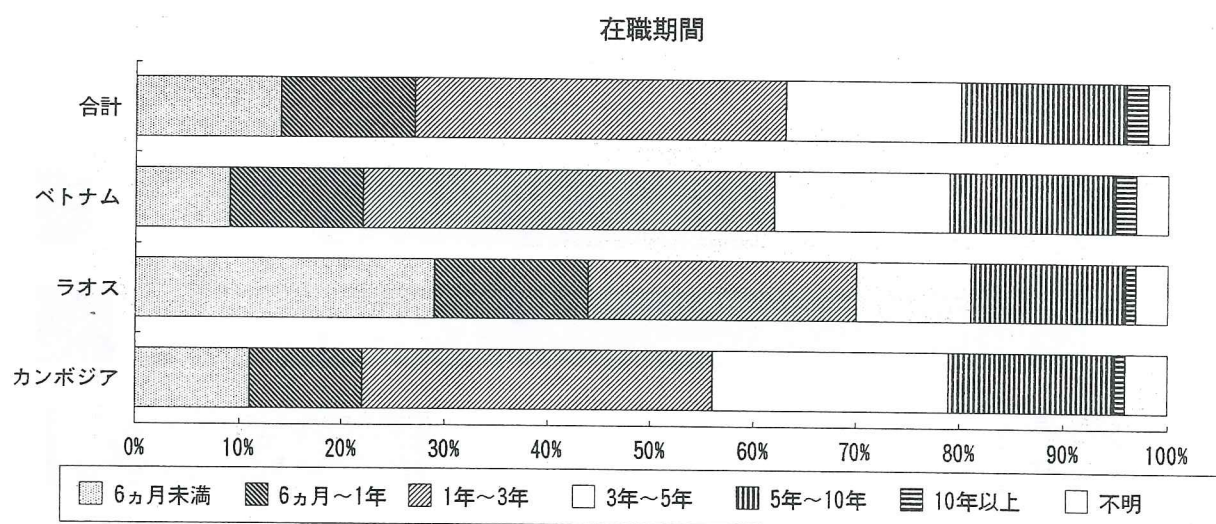
男性、女性とも1～3年が36%で変らない。1年未満が男性23%に対し女性は34%で、在職期間が短い。



国別では、ベトナムの1～3年が41%、カンボジア34%であるが、ラオスは26%で特に6か月未満の者が29%となっている。

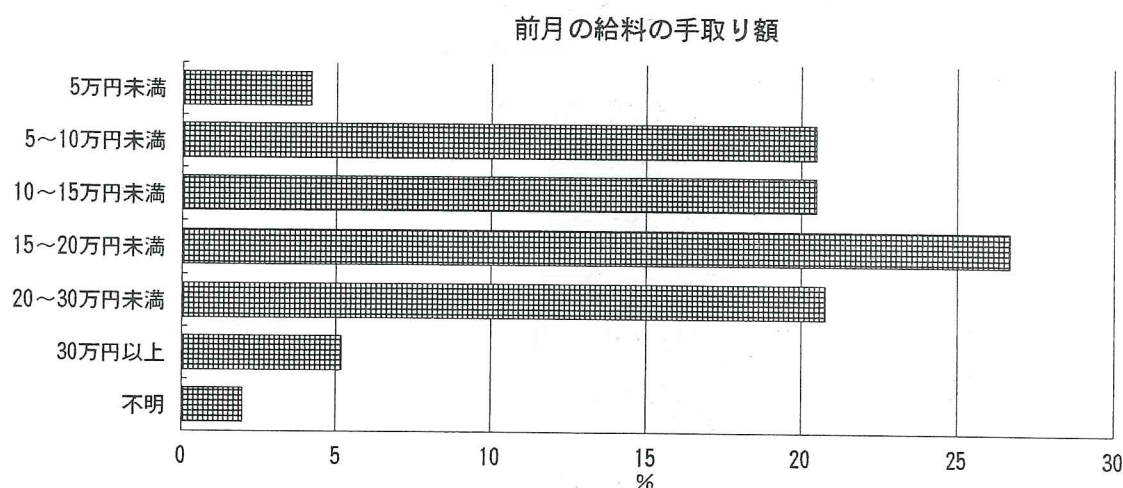
又、在日年数が長い者ほど在職期間が長くなり、11年以上の在日者についてみると、5年以上の在職者が5割となっている。

なお、在職平均年数は約3年2か月である。（男性3年3か月、女性2年7か月）



Q 8. 前月の給与の手取額

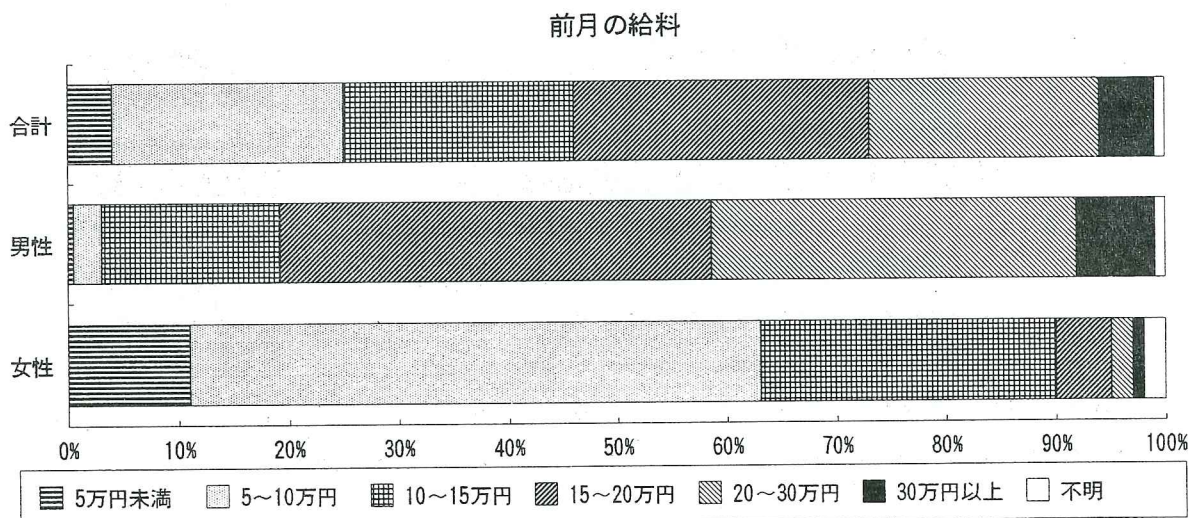
5～10万円21%、10～15万円21%、15～20万円27%、20～30万円21%を占めている。



男性は15～20万円が40%、20～30万円が33%で、30万円以上も7.3%となっており、女性では10万円以下が54%で、10～15万円28%で男性より低くなっている。

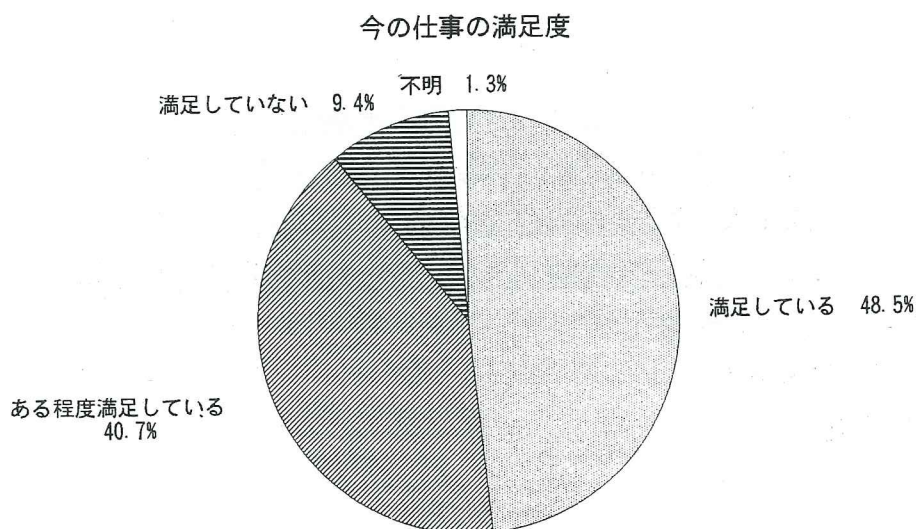
計算すると手取額の平均は16.1万円（男性19.9万円、女性9.5万円、パート従業者も含む）である。

職種別に平均給与を算出すると金属加工19万円、建設労務20.8万円、機械電気13.3万円、皮革10.0万円と差が出る。



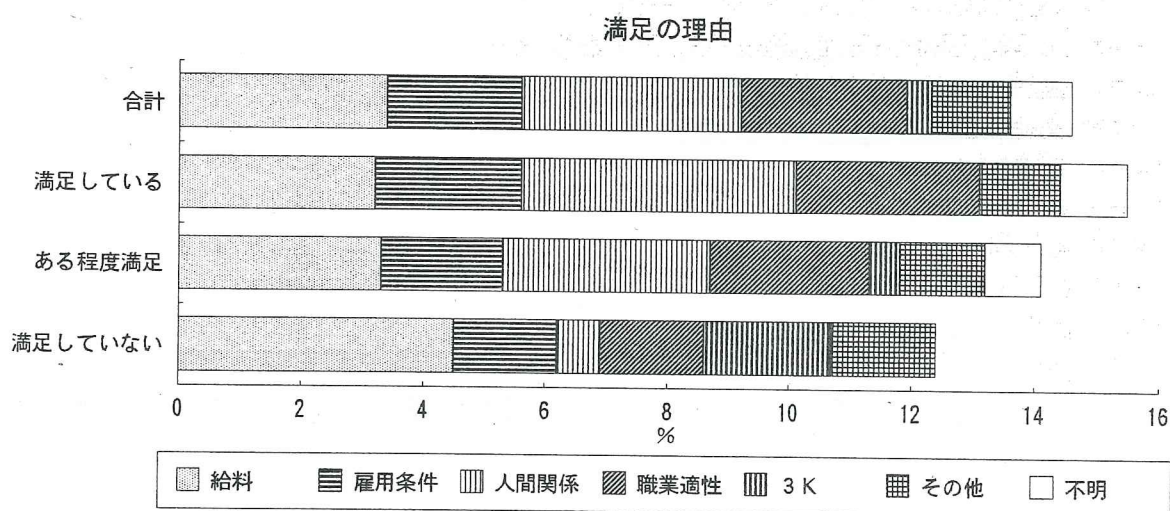
Q 9. 今の仕事に満足していますか

「満足している」が48%、「ある程度」41%、「満足していない」9.4%となっている。



また、満足している者の多くは「人間関係」「家から近い」とか「通学できる」をあげ、満足していない者は、「給料」をあげている。

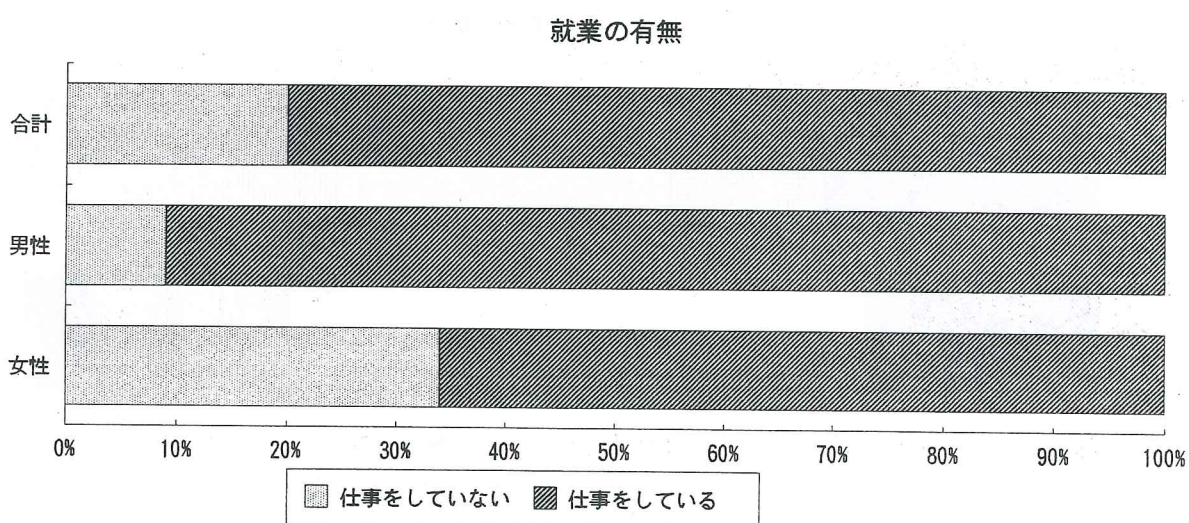
不満の理由では「シンナーの臭いがきらい」「販売時、呼びかけるのが恥かしい」「勉強をしたい」などがあがっている。



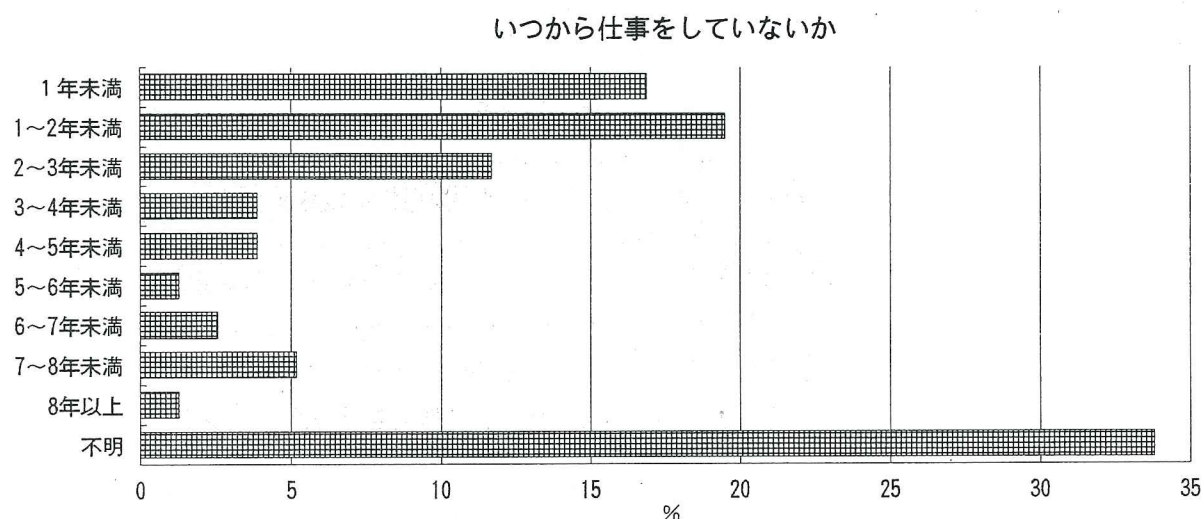
<仕事についていない人>

Q10. 今の状態

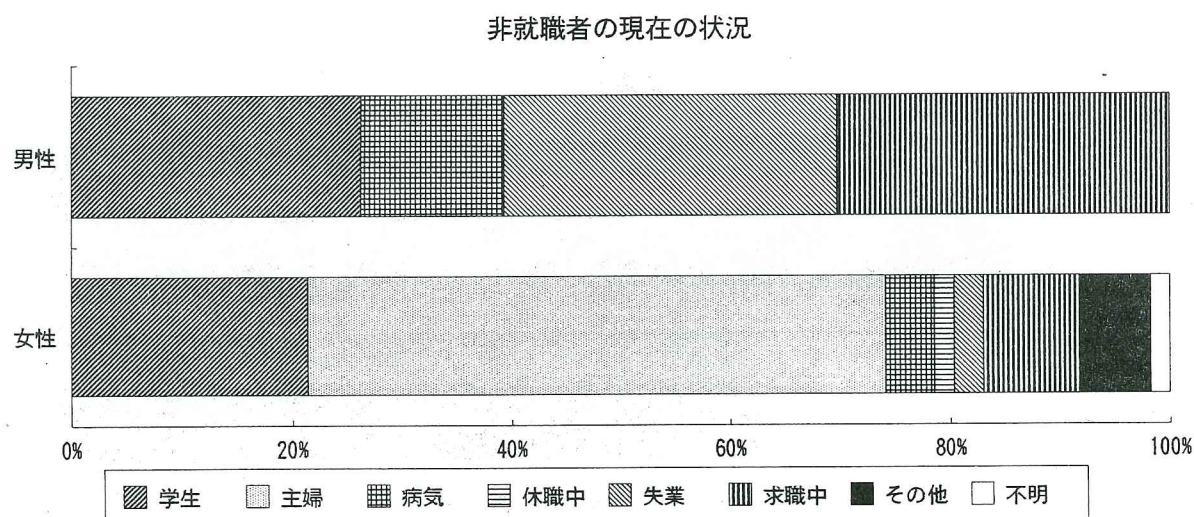
仕事をしていない者は20%で、男性の9%、女性の34%に相当する。



「いつから仕事をしていないか」の問いに対して1年未満25%、1年～2年30%、2～3年18%となっている。なお、5年以上の者は16%で主に主婦である。



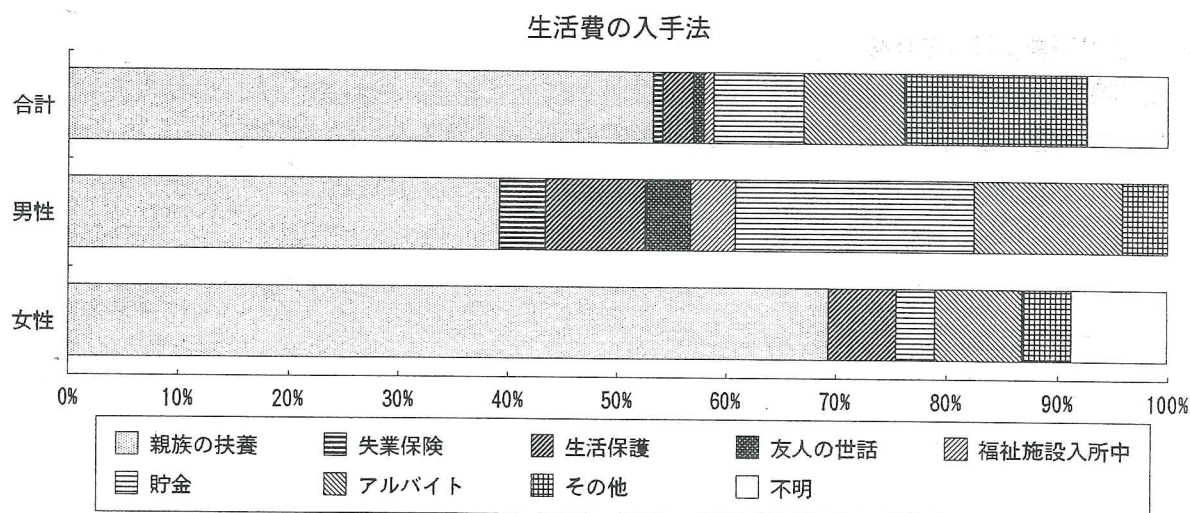
現在の状態は、学生26%、女性では主婦が約60%を占めているが、病気のため仕事についていない者が8%、失業、休職中の者が約30%となっていて、失業中の者が比較的多いことがうかがえる。



Q10-2 生活費はどのようにしていますか

生活費の入手法では、家族・親族からの扶養（主婦や学生のほとんどが相当する）が3分の2を越えており、アルバイトや貯金で生活する者が15%となっている。また、失業保険による者、生活保護による者8%である。

なお、病気の者の半数が生活保護を受けており、福祉施設入所中の者が1名いた。



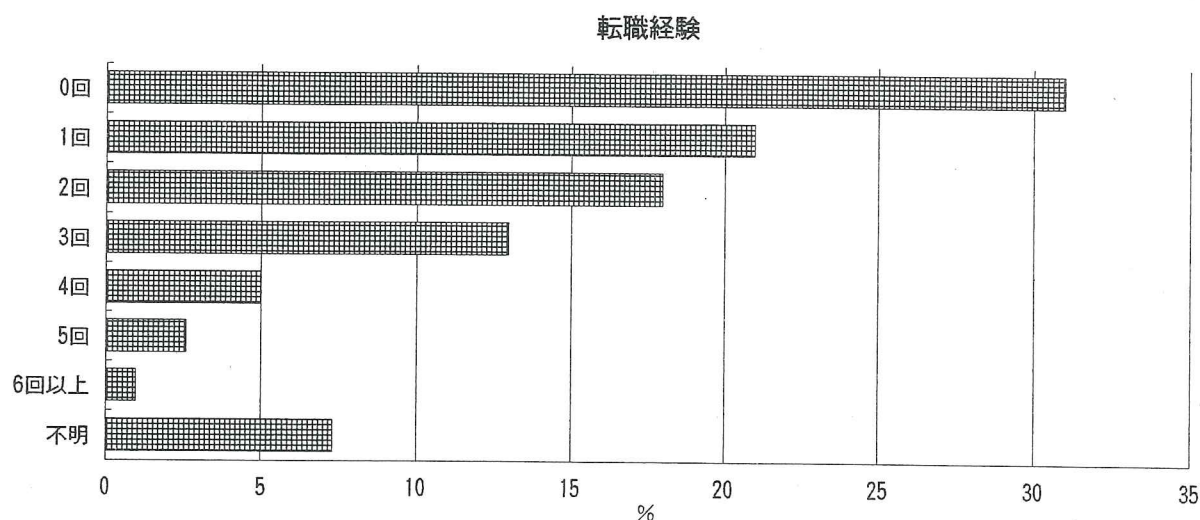
Q11. 転職の経験

回答者384人のうち66%が転職の経験がある。そのうち、1～3回の経験者が86%を占め、6回以上の多転職者は1%になっている。9回を越える転職者もいた。

また、「転職経験なし」の者は34%となっている。

ベトナム、カンボジアは転職の経験のない者が約30%であるのに対し、ラオスは45%となっており、定着性が高くなっている。

なお、在日年数、年齢別での差はなく、転職1～3回の者が大半で、その後落ちつくことがうかがえる。



Q11-2 転職理由

複数回答により「給料」をあげた者35%、「3K」29%、「雇用条件」28%、「職業適性」28%、「人間関係」23%となっている。転職者の内おおむね、男性は「給料」の不満が5割で、女性では「3K」が4割、「雇用条件」3割をあげている。

Q11-3 公共職業訓練校の経験

公共訓練を受けたことのある者は11名で2.9%となっており、科目別では、①OA・コンピュータ4人、②自動車整備2人、③機械2人、④調理1人、不明2人となっている。

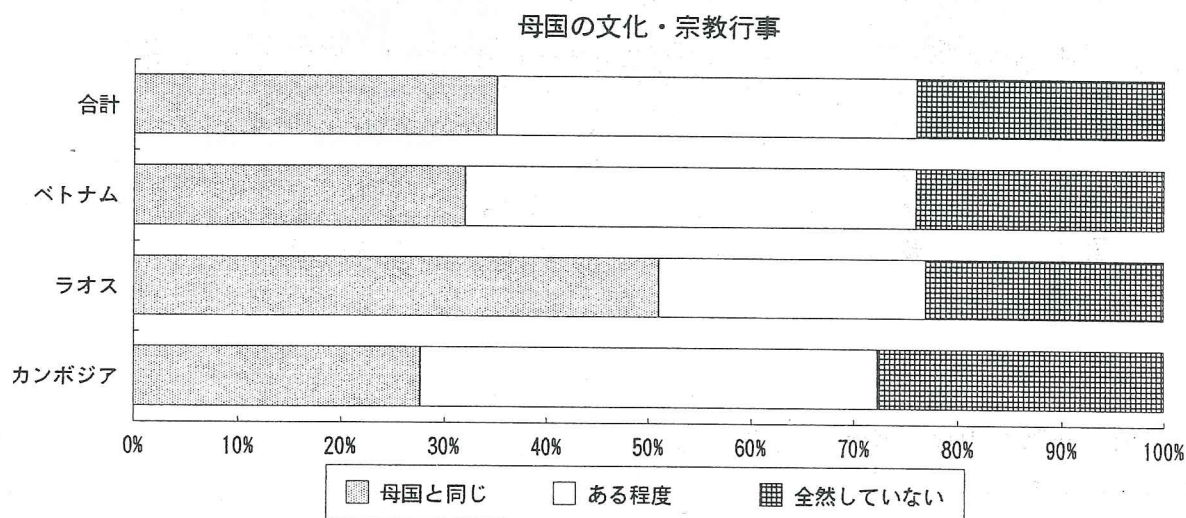
第3章 生活状況

Q12. 母国の文化、宗教行事を日本でも続けていますか

「母国と同じ」35%、「ある程度」41%、「全然していない」24%となっている。

性別では、「全然していない」男性32%、女性16%となっており、ラオスが「母国と同じ」50%に対しベトナム32%、カンボジア28%と低い。

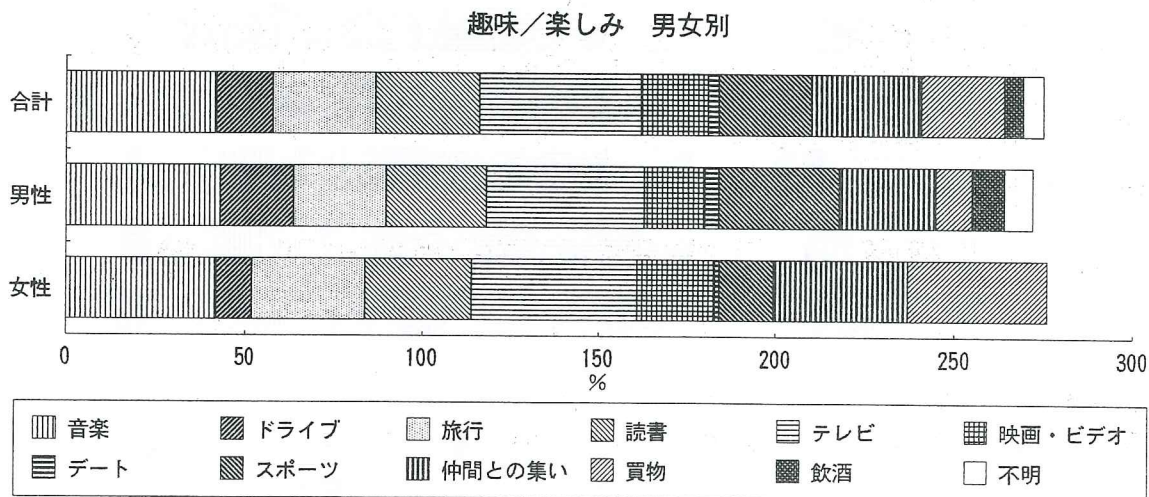
全体的では、年齢が上るにつれて「母国と同じ」が増え、他方来日したばかりの2年以下の者で「母国と同じ」が多い。



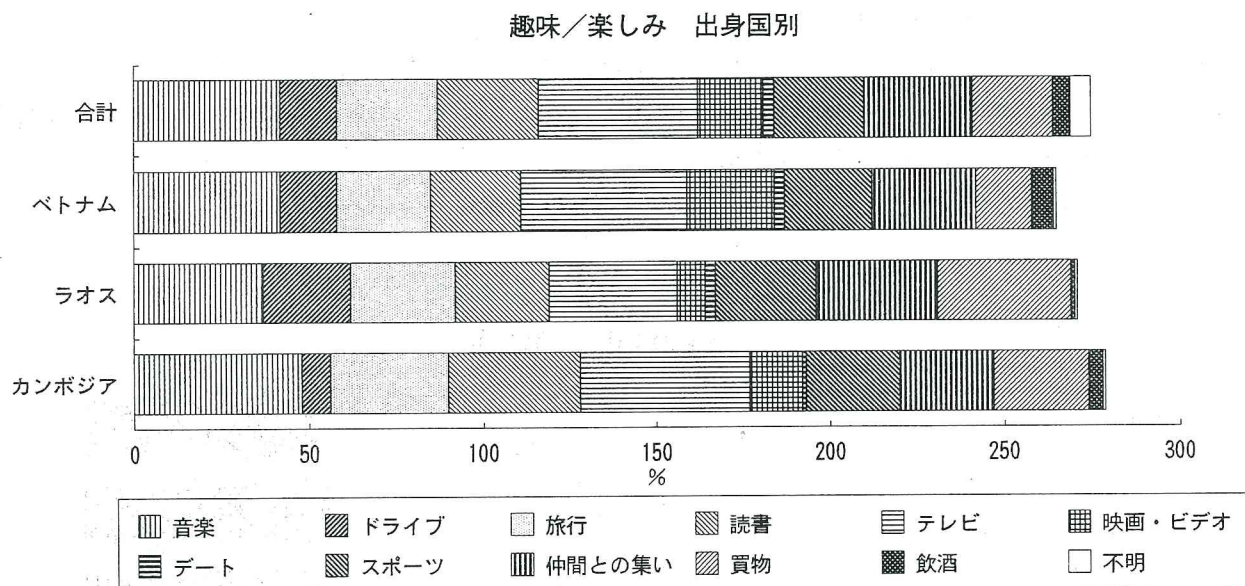
Q13. 趣味や、楽しみ

複数回答で見ると、5割近くが「テレビ」をあげ、4割が「音楽」となっている。また、「仲間との集い」「旅行」「読書」「スポーツ」がそれに続くベスト4になっている。

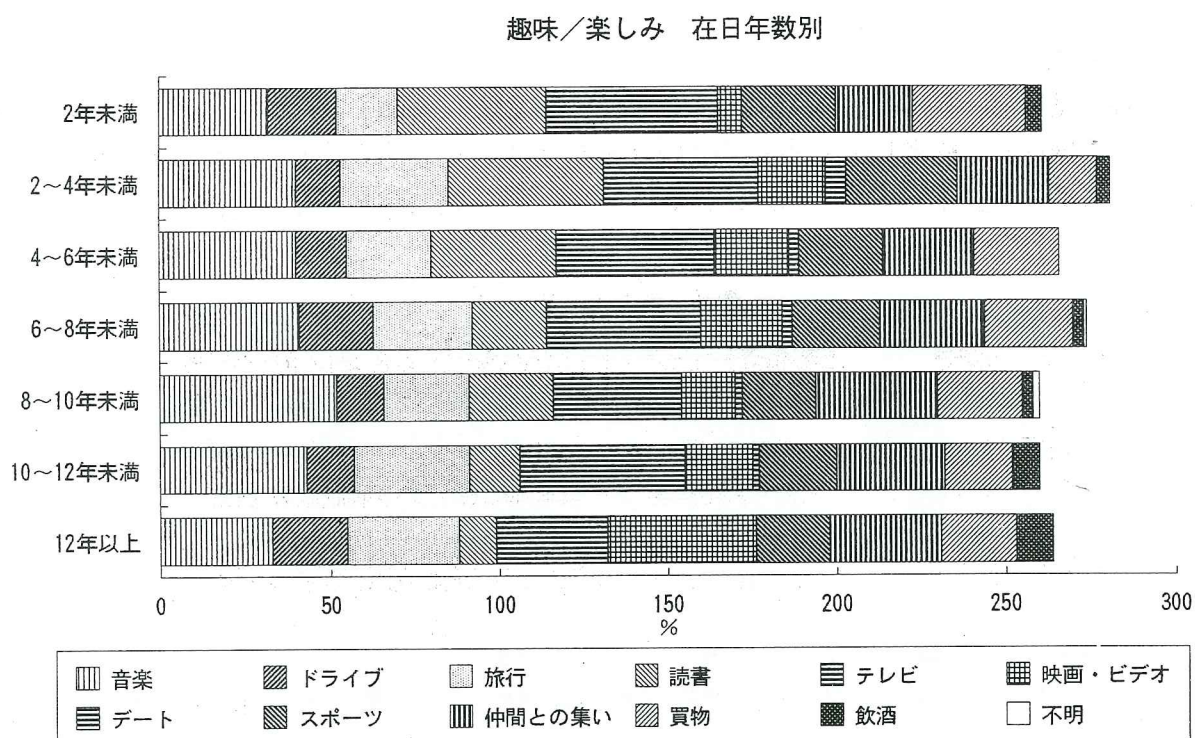
男性は「スポーツ」「ドライブ」が多く、女性では「買い物」が多くなっている。



ベトナムで「映画・ビデオ」が多く、ラオスでは「ドライブ」「買い物」が、カンボジアは「読書」が多い。



総じて、在日年数が少ない者は、「読書」が多く、長くなると「仲間との集い」が増え、交際が重要になるのであろう。

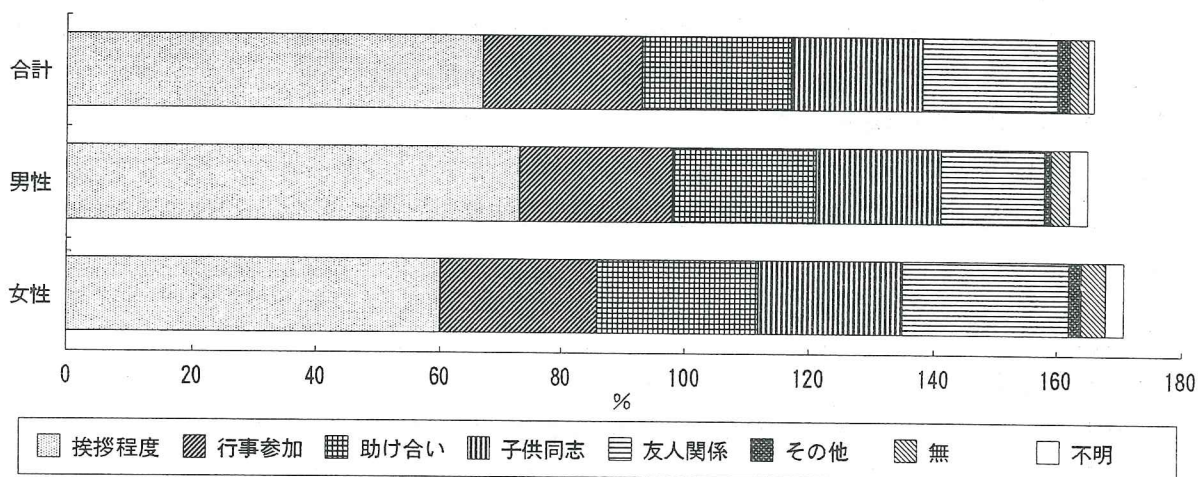


Q14. 近所付き合い

複数回答で「挨拶程度」の者が65%を越えており、「行事」「助け合い」「子供同士」「友人関係」としての付き合いはそれぞれ2割以上となっている。他方で「付き合いなし」の者も3.4%いる。

女性は「友人関係」を挙げた者が比較的多く、男性は「挨拶程度」しかない者が7割を越える等、男女の差がでている。

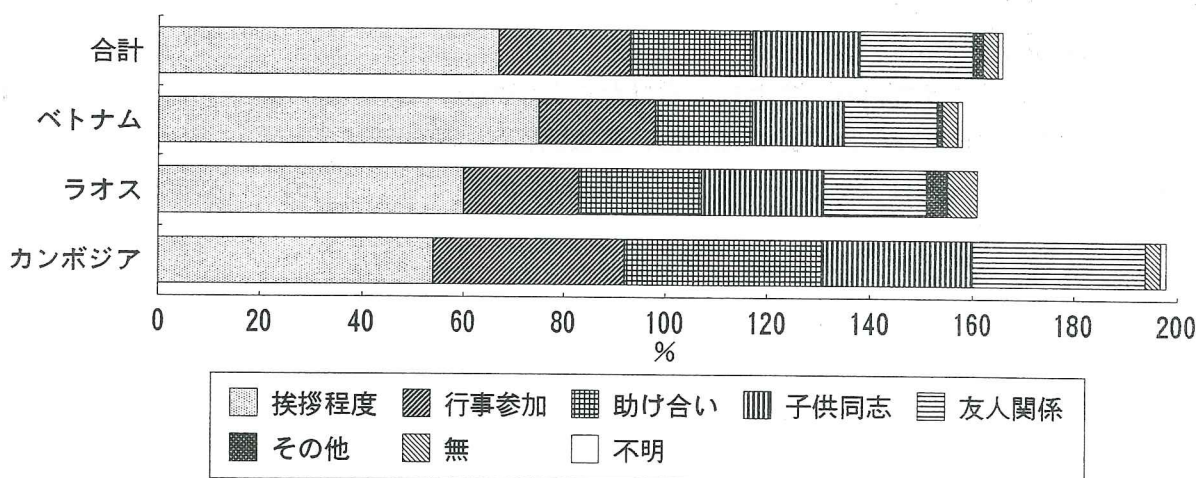
近所付き合い 男女別



ベトナムは「挨拶程度」が多く、ラオス、カンボジアはほぼ一様に「行事参加」等が多く、交流が活発である。

なお、独身者は「挨拶程度」が7割を越えるが、子供がいる家族では「子供同士」の付き合いが4割となっている。

近所付き合い 出身国別



Q15. 近所からの苦情はありますか

9割近くの人が「ない」と答えている。

苦情の内容を見ると、複数回答で「騒がしい」が5%、「ごみの出し方」や「子供の事」がそれぞれ4%となっている。特に、在日2年以下ではその14%が「ごみの出し方」で苦情を受けている。

Q16. 身近な人で心の病いに苦しんでいる人はいますか

回答者全体の90.6%が「いない」と答えている。複数回答により、「いる」と答えた者の9.4%が「家族が心を病んでいる」とし、3.6%が「友人」と答えている。結局、1割位の者が身近で心を病んでいる者がいると感じている。

「家族」とした者の出身国別では、ベトナム10.3%、ラオス7.5%、カンボジア9%である。同じく「友人」とした者の出身国別では、ベトナム4.9%、ラオス3.8%、カンボジアは該当なしとなっている。

Q17. 生活保護

回答者のうち327人(85.2%)が「生活保護を受けていない」と回答。22人(5.7%)が「受けている」とし、20人(5.2%)が「受けたことがある」と回答している。また、8人(2.1%)が「出来れば受けたい」としている。

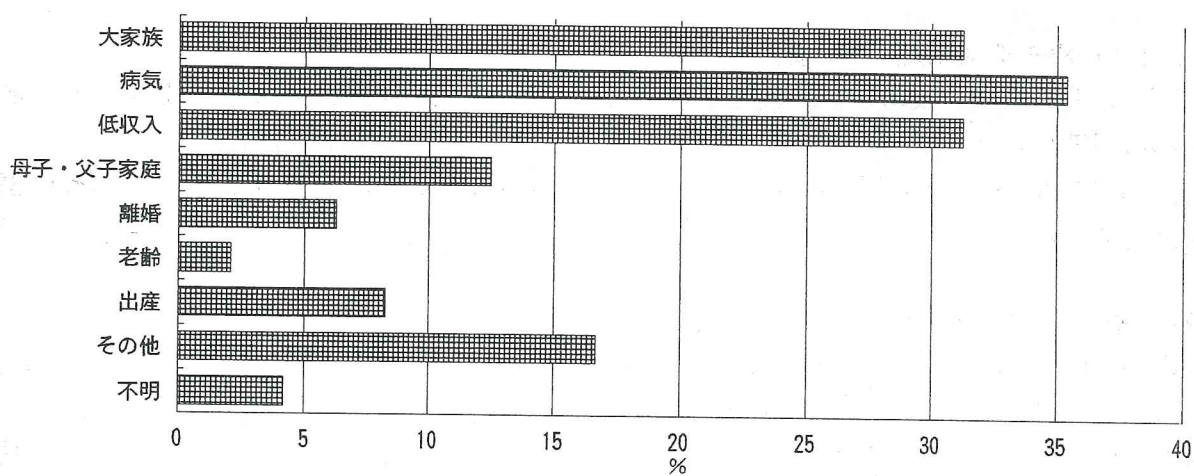
「生活保護を受けている」者の割合は、男性3.8%、女性8.2%である。出身国別では、ベトナム6.3%、ラオス2.5%、カンボジア7.5%である。日本全体の受給率は1.8%であり、定住者はその約3倍である。

「生活保護を受けたことがある」者の割合は、男性5.2%、女性5.3%。出身国別では、ベトナム4.9%、ラオス5%、カンボジア6.3%である。

Q17-2 生活保護を受けた理由

「生活保護を受けている」または「うけたことがある」あるいは「受けたい」とのいずれかを回答した者(50人)についてその理由は、複数回答により、その多い順に①病気35.4%、②大家族31.3%、②低収入31.3%、④母子・父子家庭12.5%、⑤出産8.3%、などである。

生活保護を受けた理由

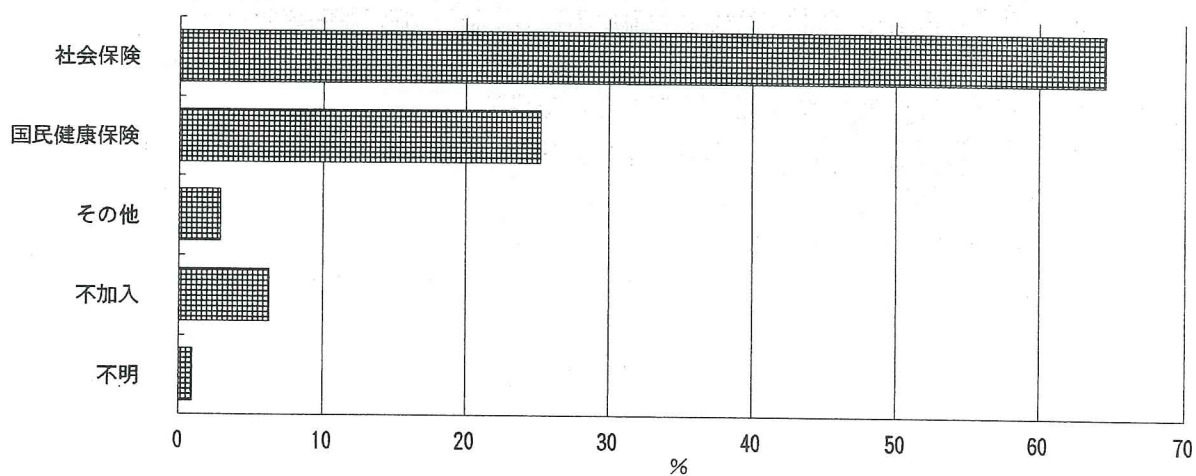


Q18. 健康保険の加入

回答者の64.6%が「社会保険」に加入しており、「国民健康保険」へは25.3%、「その他」は2.9%であり、大部分の者が健康保険に加入している。

不加入の者は6%で、出身国別では、ベトナム8.5%、ラオス2.5%、カンボジア3.8%である。仕事をしている者で不加入は、3.6%である。

健康保険の加入有無



第4章 親族等の関係

Q19. 海外の親族等へ援助をしていますか

回答者の67.7%が「援助している」と回答し、29.4%が「援助していない」としている。また、援助の該当者なしと答えた者が2.1%である。

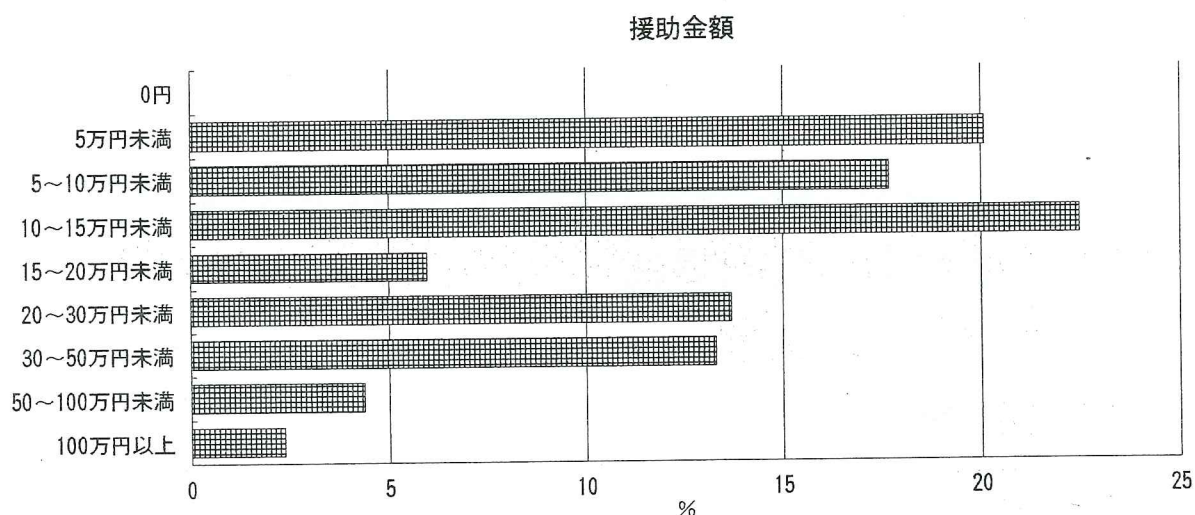
出身国別では、ベトナム156人（69.6%）、ラオス50人（62.5%）、カンボジア53人（66.3%）が援助している。

Q19-2 それはどこへですか

複数回答により、「母国」と答えた者は94%、「キャンプ」10%、「第三国」5.6%であり、9割の人が母国にいる親族に援助している。

援助金額（年額）については、10万円～15万円が22.5%と最も多いが、100万円以上を援助している者も2.4%あり、1人平均20.7万円である。（ちなみに、ベトナムでの平均的な家族の生活費は、年約12万円とのことである。）

品物で援助している者は、38人いるが、その品物の金額については、3万円未満が最も多いが、平均では8.8万円である。一方で40万円以上の者もいる。



Q20. 来日後、出国した事がありますか

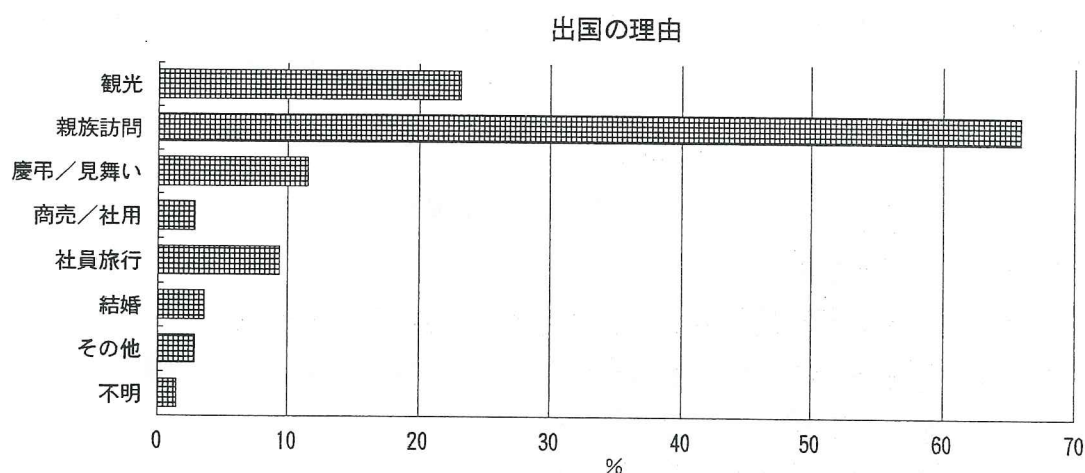
全体の63.5%が「出国したことがない」と回答している。出国したことのある者は140人であるが、複数回答により、出国延人数は171人に達している。出国先として①母国が全体の18.2%、②東南アジア12.2%、③北米6.3%、④ヨーロッパ1.8%、⑤オーストラリア1.3%、「その他」4.7%である。

出身国別では、ラオスが最も出国者の比率が高く、80人中38人(47.5%)、次いでカンボジアが80人中27人(33.7%)、ベトナム224人中75人(33.4%)の順である。出国先としては、ベトナム、カンボジアが第一順位に「母国」を挙げているのに対し、ラオスのみは「東南アジア」を第一順位次いで「母国」として挙げている。なお、ベトナムは、他と比較して「オーストラリア」、「ヨーロッパ」の比重が高い。(ラオスへは直行ルートがなく、タイ等を経由しなければならない。)

在日年数との関係で見ると、在日年数の長い者ほど出国したことのある者が増えており、親族訪問による出国者の3分の1、観光による出国者の半数は、在日年数10年以上にわたる者である。

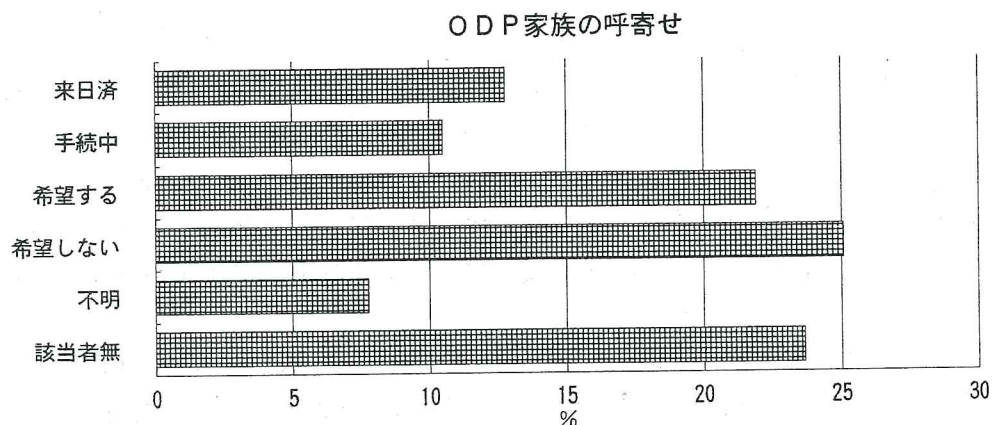
Q20-2 出国の理由

複数回答により、最も多いのが「親族訪問」65.9%、次いで「観光」23.2%、「慶弔・見舞い」11.6%、「社員旅行」9.4%、「結婚」3.6%、「商売・社用」2.9%、「その他」2.9%である。



Q21. ODP家族の呼寄せ

複数回答により、①希望しない25.1%、②希望する21.9%、③来日済12.8%、④手続中10.5%となっている。「該当者なし」が23.7%ある。

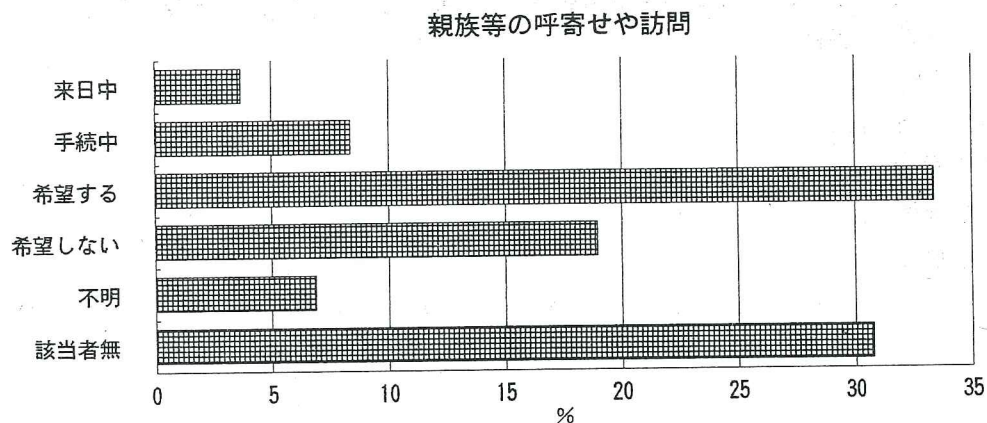


Q21-2 親族等の呼寄せや訪問

複数回答により、①希望する33.4%、②該当者なし30.8%、③希望しない19.0%、④手続中8.4%、⑤来日中3.7%となっている。

出身国別では、ベトナムは①該当者なし、②希望する、③希望しない、④手続中、⑤良く判らないと続き、「来日中」が最も少ないが、ラオスおよびカンボジアは①希望する、②該当者なし、③希望しない、④来日中と続いている。

在日年数との関係で見ると、親族等の呼寄せを「希望する」者は、在日年数10年以上12年未満が最も多いが、他方で「希望しない」者もこの層の者が最も多い。これは、在日10年の間に必要な親族は呼寄せたか、縁が切れた者、また、経済的に余裕の出来た者と出来なかった者との差異であろうと思われる。



Q21-3 呼寄せはだれを

複数回答により①兄弟姉妹32.3%、②親25.1%、③子供6.9%、④配偶者4.0%、⑤婚約者2.3%、「その他」10.9%である。

第5章 不安と希望

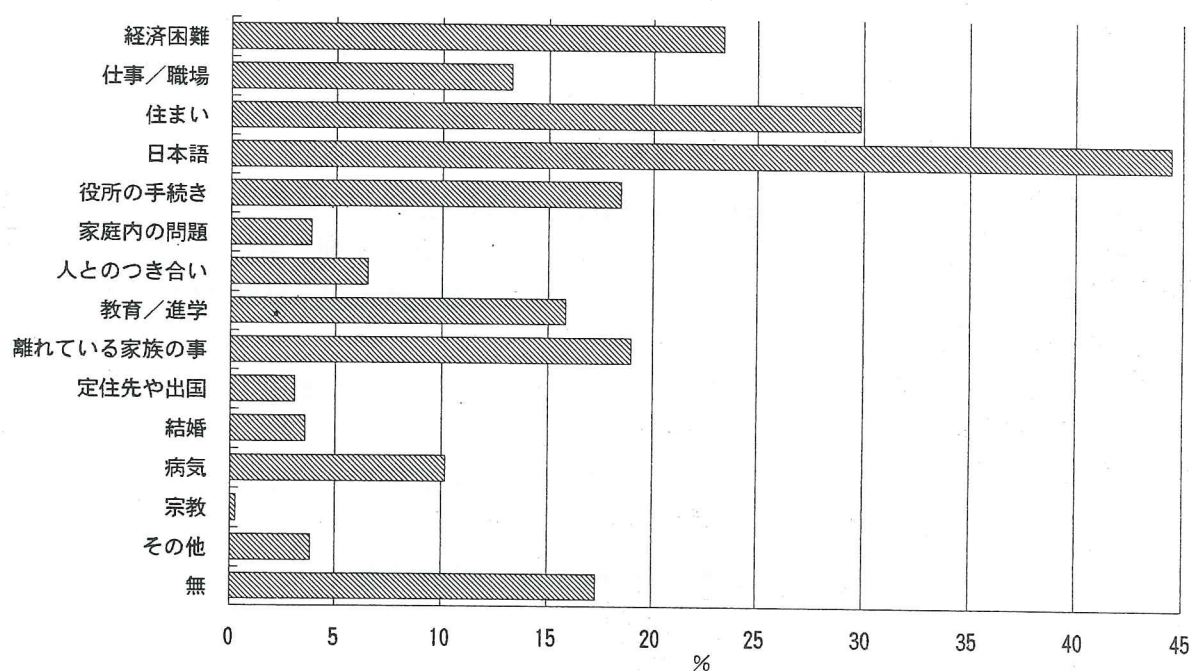
Q22. 今、困っていること

複数回答により ①日本語44.5% ②住い29.9% ③経済困難23.4% ④離れている家族のこと19%⑤役所の手続き18.5%の順で、「日本語」で困っていることが一番多い。「無い」が17.4%あったが、そのうち67.4%が在日年数が8年以上の者であった。

在日年数が長い者ほど日常生活での困難を克服しているとみられる。また、「経済困難」を挙げた者については、そのうち67.4%が海外の親族へ援助していることも分かった。

「その他」3.9%については、住いの保証人、買物、交通不便、子供と言葉が通じない、子供と一緒に時間がない等が挙げられていた。

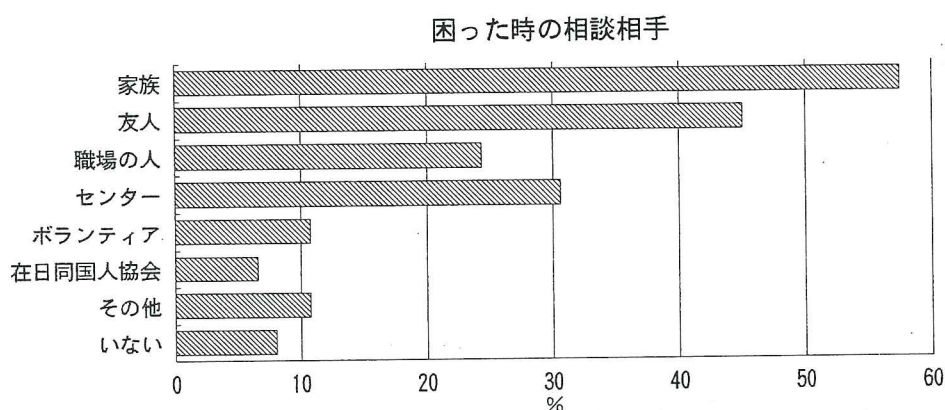
今困っていること



Q23. 困ったときの相談相手

複数回答により ①家族57.5% ②友人45.1% ③センター30.7% ④職場の人24.4% ⑤ボランティア10.8%の順になっている。

ほぼ半数以上が身近な存在である家族を一番の相談相手にしている。家族のいない単身者は相談相手に友人を挙げている。また、難民事業本部及びセンターが3番目に挙げられている。日頃、身近に接している職場の人や在日同国人協会に相談する者は、思いのほか少ない。他方、相談する人がいないと答えた者は、8.1%もあったが、この人達にセンターの相談員制度があることをPRする必要がある。「その他」の中には教会や施設の神父、シスター、母子寮相談員、家主、雇用促進住宅の管理主事、学校の先生等が挙げられている。



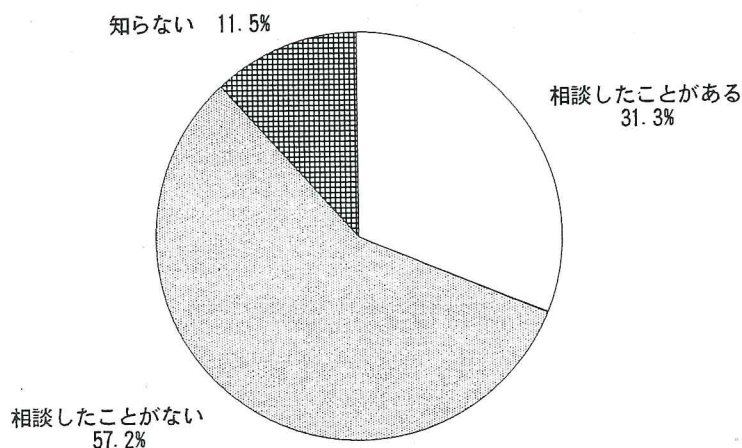
Q24. 定住後センターの難民相談員及び職業相談員へ相談したこと

センター相談員に援助を求めた者が31.3%あった。問題が困難、複雑化してくると家族・友人では問題の解決はできず、古巣とも言えるセンターの難民相談員及び職業相談員に相談し、援助を求めている。

一方、相談員の存在を知らない者が11.5%あった。そのうち半数近くが在日10年以上の者である。(難民相談員制度の発足は1985年10月)

「相談したことがある」と答えた者の相談相手は、複数回答で①センター60%②家族54%③友人35%となっている。

難民／職業相談員に相談の有無



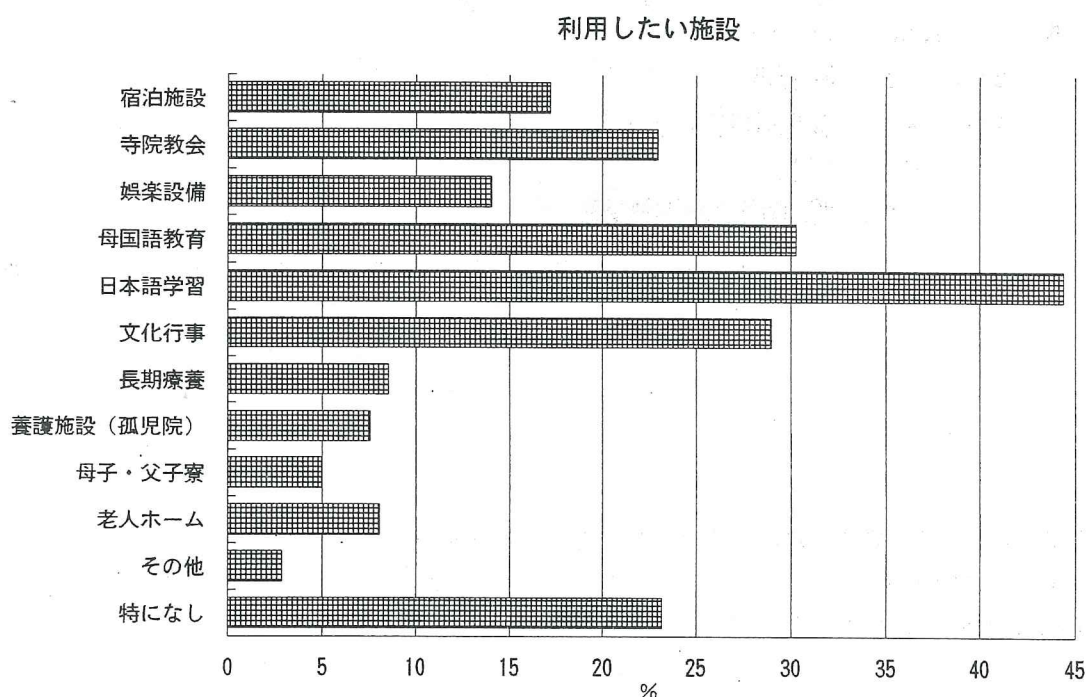
Q25. もし、自分達の自由に利用できる施設があれば何に利用し役に立てたいですか

複数回答により役立てたい順は ①日本語学習44.4% ②母国語教育30.3% ③文化行事29%
④寺院教会23% ⑤宿泊施設17.2%となっている。

日本で暮らしていく上で、「日本語学習」はさけられない問題であり、その解決策として、学習の場と機会を充実させる施設が第一に求められている。

次に母国の言語、文化、宗教の伝達・継承のための施設である。難民の多くは、異文化社会の厳しい条件の中に身を置いており、心のよりどころとなる自国の文化・伝統を守り伝えていこうとする願いの表われと思われる。

宿泊施設は単身者からの要望が多く、在日外国人にとって住宅確保は常に悩みの種であることが分る。

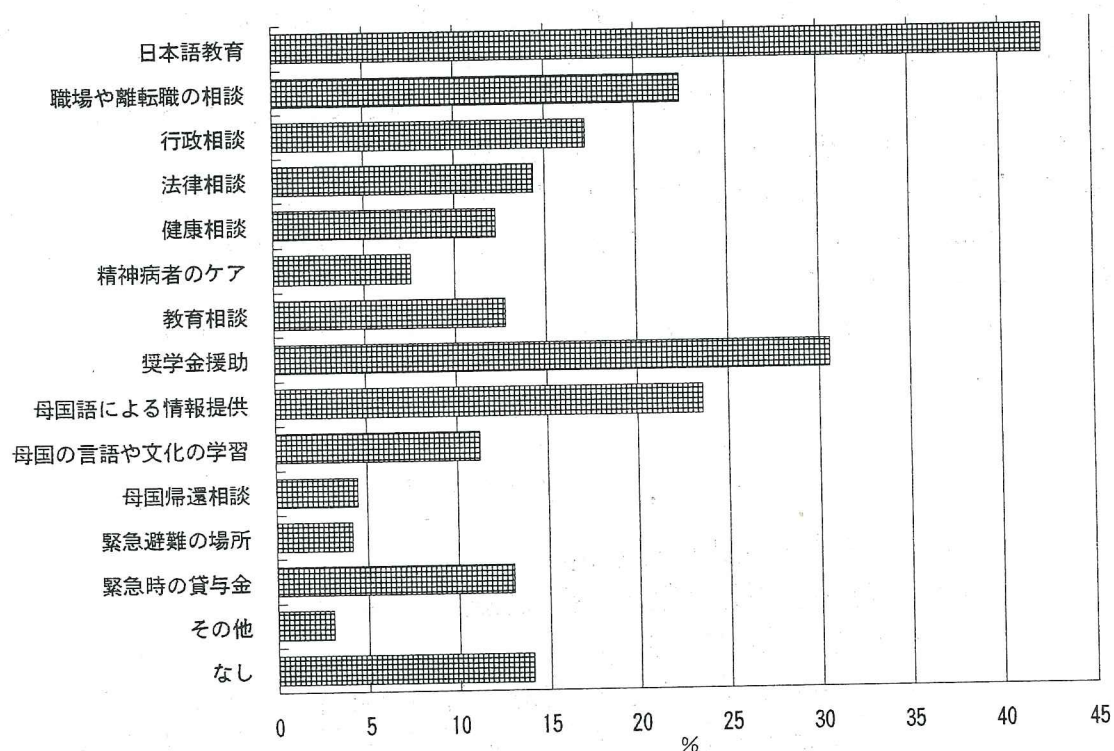


Q26. 政府、難民事業本部やボランティア団体に何を希望しますか

複数回答により希望として ①日本語教育42.4% ②奨学金30.6% ③母国語による情報提供23.6% ④職場や離転職の相談22.5% ⑤行政相談17.3%である。

政府、難民事業本部やボランティア団体への要望にも「日本語教育」が第1位に挙げられている。他方、緊急時の貸与金13.1%、精神障害者のケア7.6%、母国帰還相談4.5%、緊急避難の場所4.2%等が挙げられており、今後もケアの手を差し伸べる必要がある。

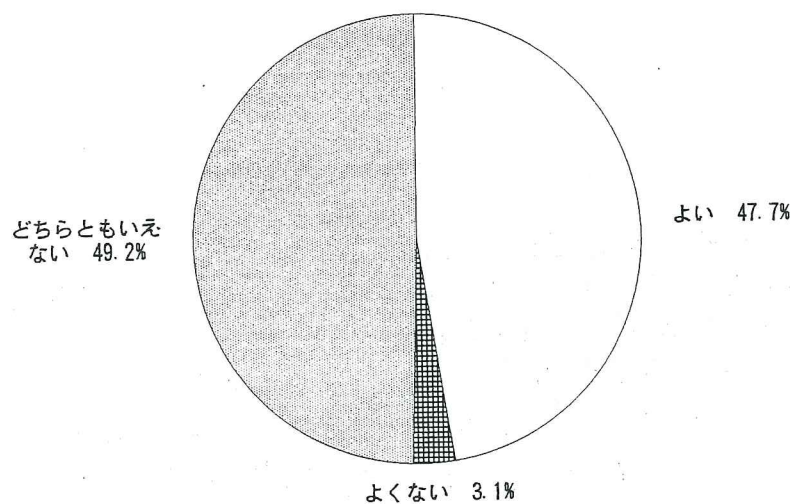
政府、難民事業本部、ボランティア団体等への希望



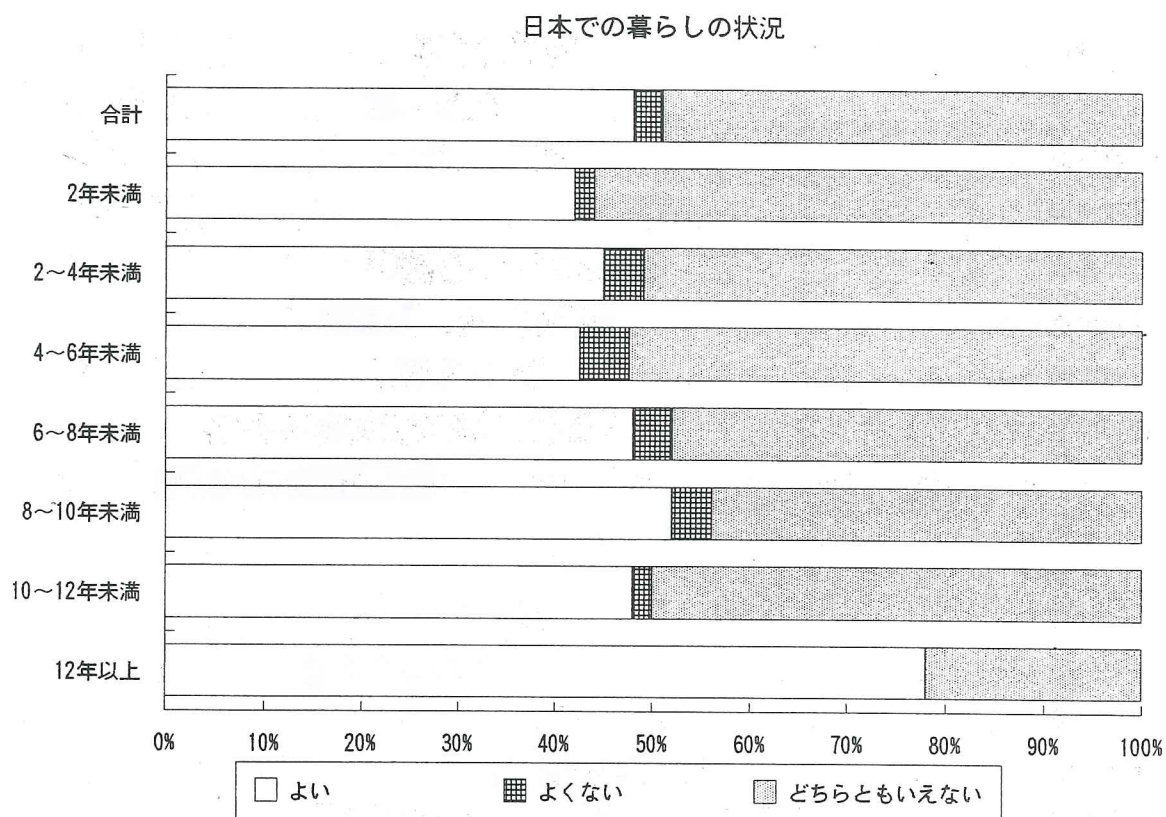
Q27. 現在のあなたの日本での暮らしの状況を、どう感じますか

現在の暮らしについて「どちらともいえない」49.2%が「よい」47.7%をやや上まわり、「よくない」は僅か3.1%である。

日本での暮らしの状況

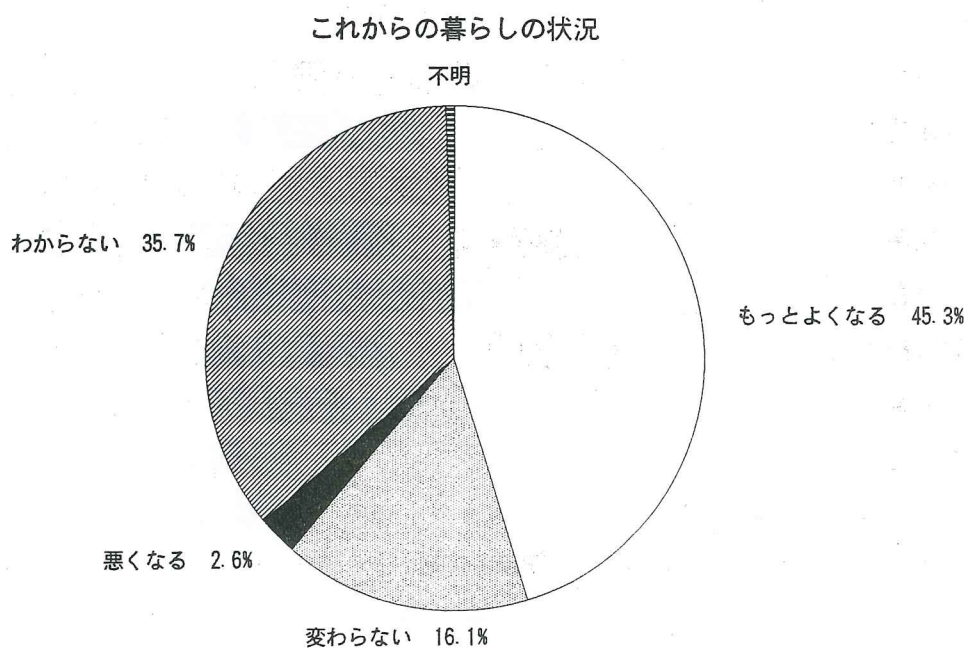


これを在日年数別でみると、在日12年を過ぎると「よい」が78%になる。



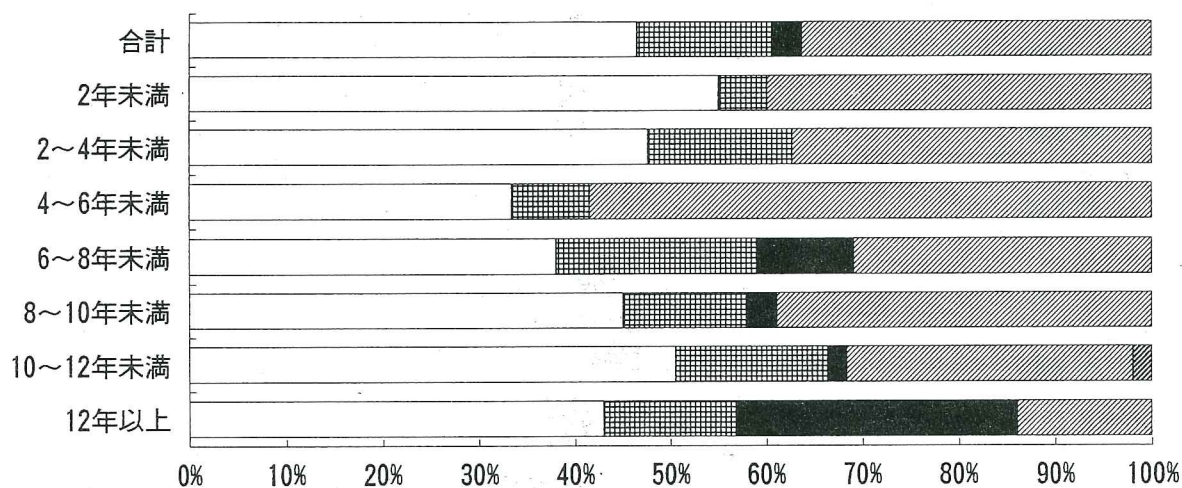
Q28. これからの日本での暮らしの状況を総合的にみて、どう思いますか

将来の暮らしについての見通しは、「もっとよくなる」が45.3%を占め、「悪くなる」は僅か2.6%である。

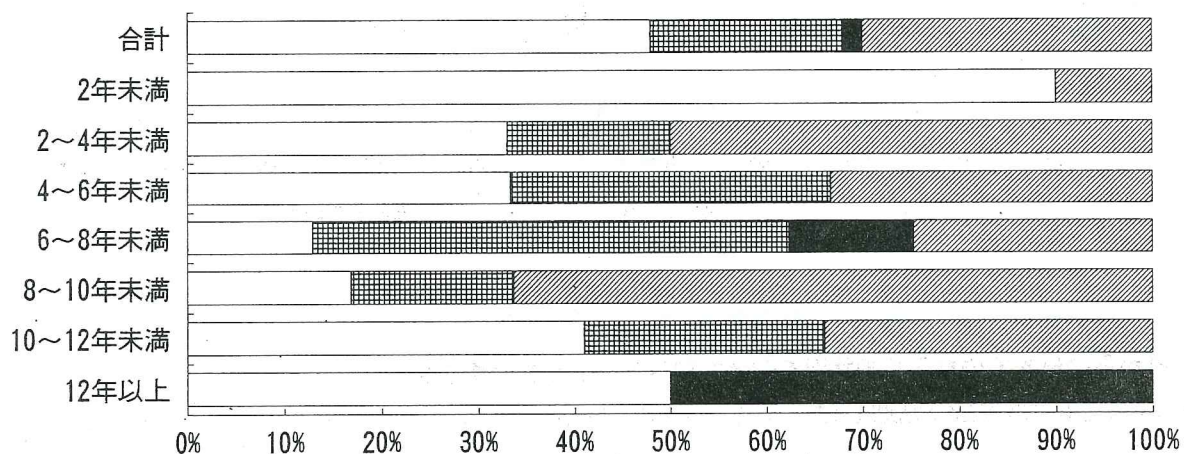


国別、在日年数別は図のとおりである。

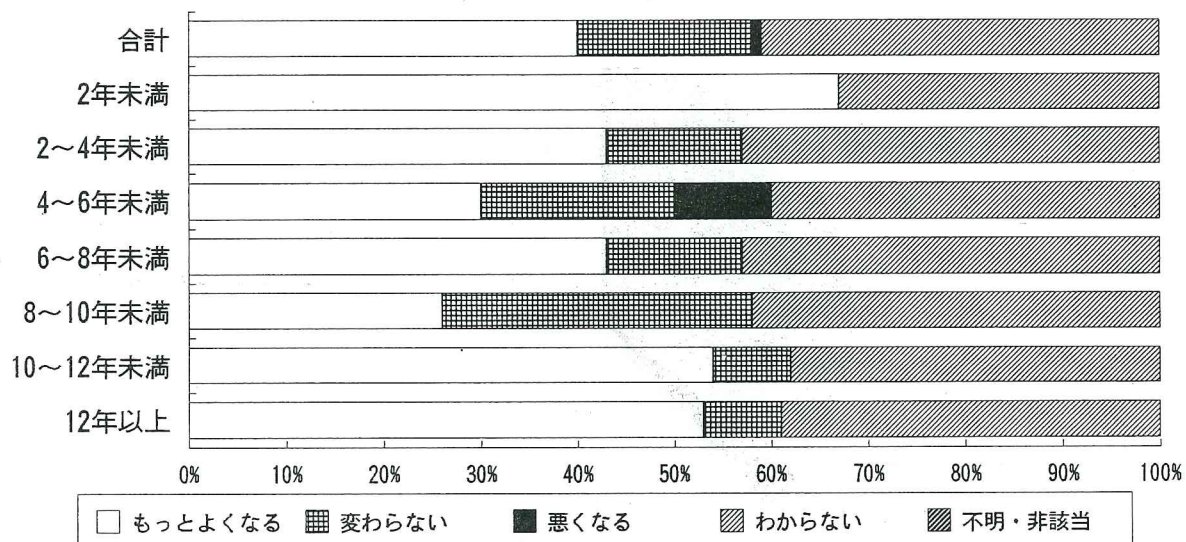
ベトナム



ラオス



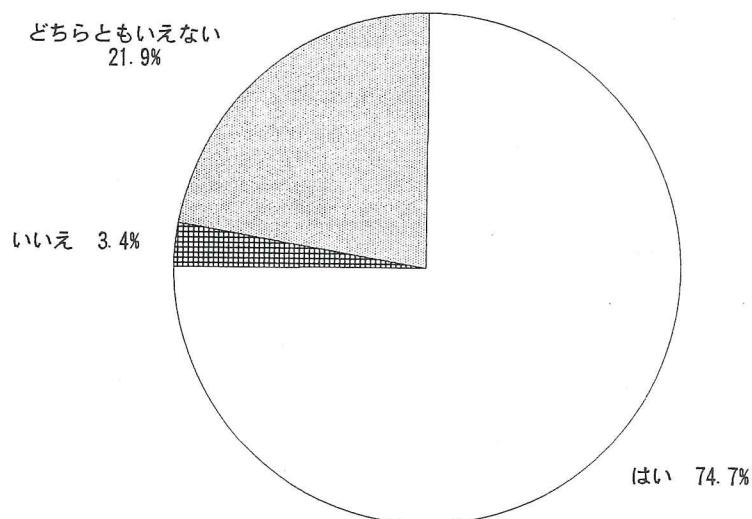
カンボジア



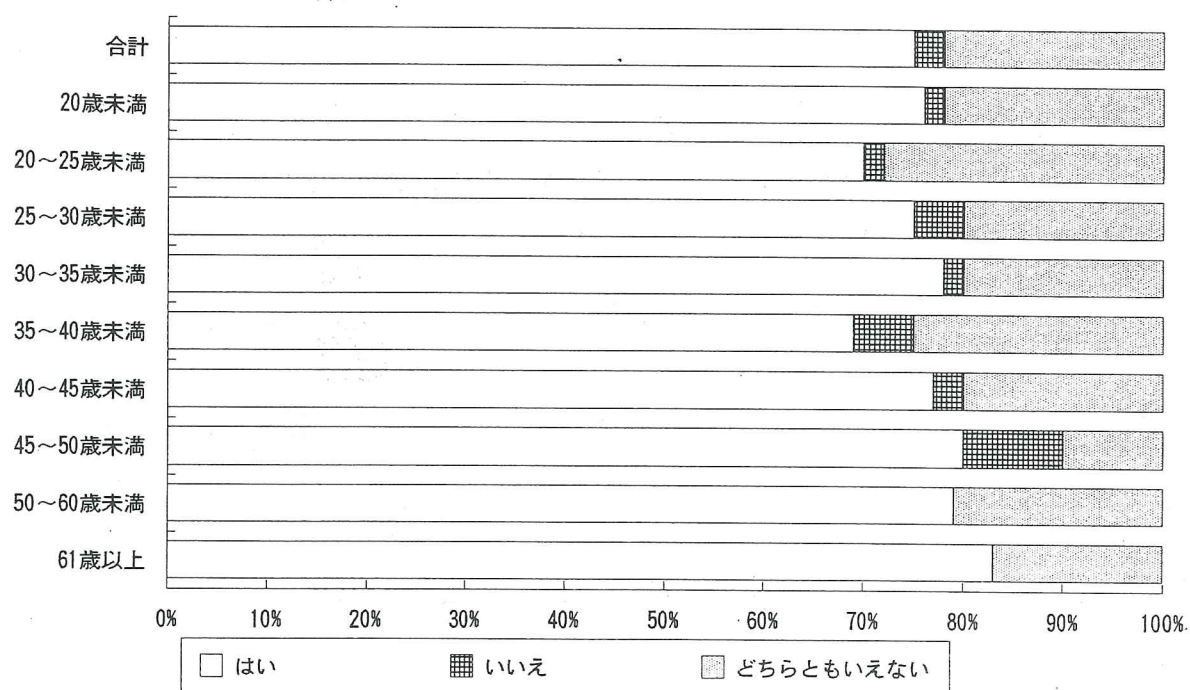
Q29. これからも日本に長く住みたいですか

回答者の74.7%は今後も日本に住む意向を持ち、「どちらともいえない」者は21.9%である。一方、今後日本に住むつもりのない者が3.4%いる。

これからの在留意向



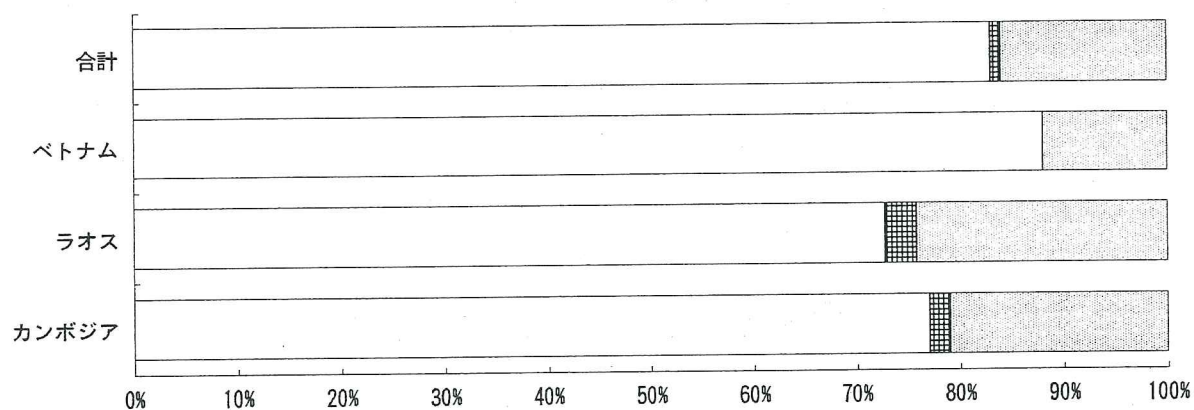
これからの在留意向 年齢別



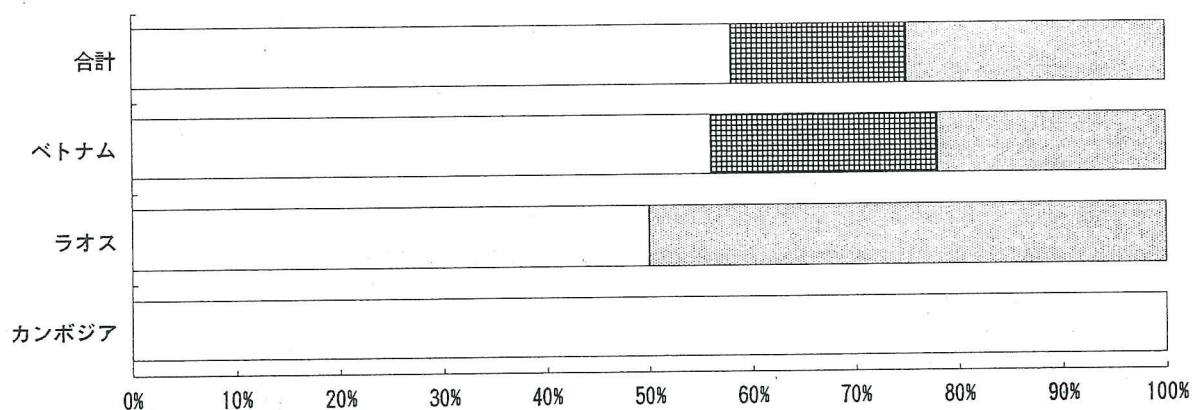
Q27で現在の暮らしの状況を「よい」と答えた者のうち83%は、これからも日本に住みたいと考えている。

「よくない」と答えた者も58%は、将来も日本に住みたい意向を持っており、「どちらともいえない」と答えた者の、68%も将来日本に住む意向を持っていることが分る。

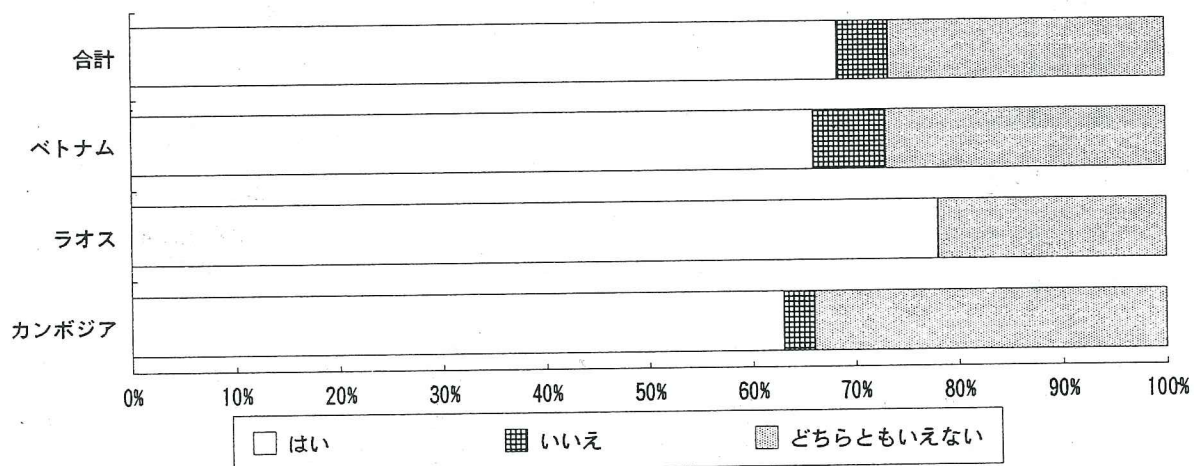
現状を「よい」と答えた者の在住意向



現状を「よくない」と答えた者の在住意向



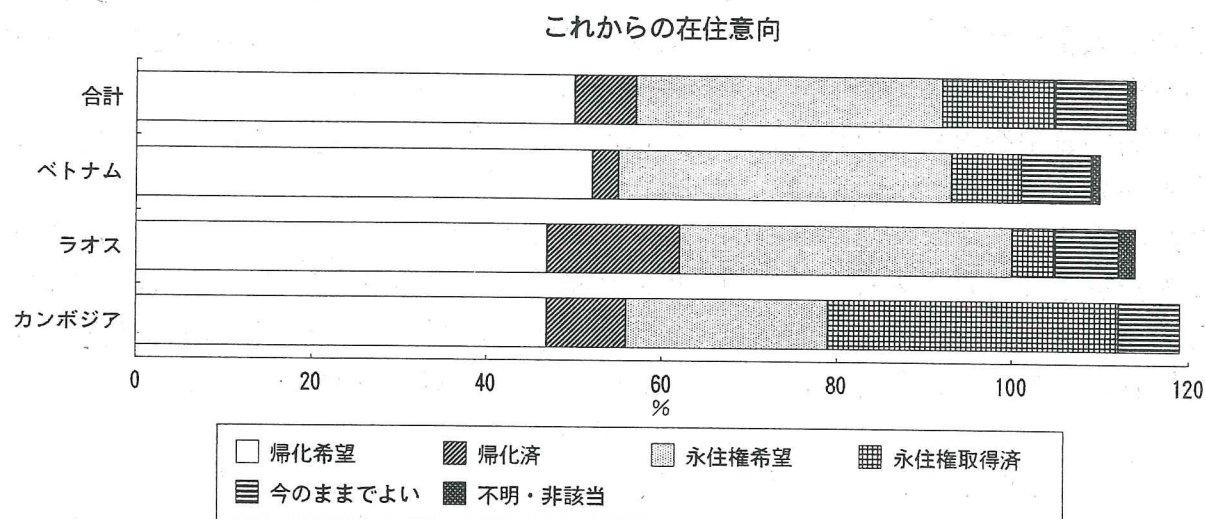
現状を「どちらともいえない」と答えた者の在住意向



Q29-2 「はい」と答えた人

「これからも日本に住みたい」と答えた者は、将来について具体的にどんな希望を持っているのだろうか。

50%は帰化を希望し、35%は永住権取得を希望している。既に帰化又は永住権を取得している者も20%いる。



Q29-3 「いいえ」と答えた人

「将来日本に住む意向が無い」と答えた者のうちベトナム5名、ラオス1名、カンボジア2名が母国帰還を希望している。第三国定住希望者はベトナム3名である。

Q30. その他の意見要望

約半数の者は、特別に意見・要望はないと答えている。残る5割強の者が行政との関連、進学と奨学金等教育関係、住宅問題、難民事業本部へは職業、生活一般、医療等に関して退所直後のきめ細かいアフターケアを望んでいる。

Ⅲ. 調査結果からの考察

1978年我が国にインドシナ難民が初めて定住を許可されてから15年、現在定住難民の数は9千人になろうとしている。この15年間にはアフガンやアフリカ各地で内戦がらみの難民が大量に発生、ベルリンの壁の崩壊と統一ドイツの誕生、ソ連邦の崩壊、東欧諸国の政変に伴う難民の発生等歴史の転換時でもあった。国内的には我が国の人手不足を背景に高い賃金を求めて偽装難民が大量に漂着したり、不法就労外国人の数の著しい増大もあった。

今回の調査は、我が国におけるインドシナ難民の実態を初めて総合的・本格的に個別面接調査をしたものである。揺れ動く世界情勢・母国情勢を映している定住者の姿が見える貴重な資料が得られた。当然のことながら、在日期間が長い程適応が進んでおり「定住者」に絞ったこともあって、概して我が国への定住に満足感が高いことが判明した。

センターを退所してから最長の人はずでに13年経っており、日本各地に散在し、対象者500人の所在を探し出す作業が一番の苦勞であった。冒頭の「インドシナ難民の定住状況調査概要」の結果集計の通り、住所不明は49人（1割弱）で、この種の調査としては好成績といえよう。定住後、海外出国者は47人（1割弱）で、この内訳は第三国へ移住した人、職場から派遣されて海外に駐在している人、海外の親族訪問中の者が含まれている。

回答者384人のうち今後日本に住みたいと答えた者は75%で、定住者の日本適応の可否は、定住者にとっても、受け入れる日本側にとっても重要な要素であり、そのための援助が必要であることが判明した。

回答者の中、日本に帰化した者、永住者が14.6%、帰化希望、永住希望（手続き中を含む）者63.5%を含めると、8割近くの人が、我が国にしっかり根を下ろして生きる覚悟をしている様うかがえる。

今後の諸施策の必要性

以下に定住者の意見要望を踏まえ乍ら、我が国のこれからのインドシナ難民の異文化適応促進への考察を行ってみたい。

(1) 行政関係

家族再会・呼寄せに関する要望が一番多く、ベトナム出身者のみに開かれているODP制度（11頁参照）による呼寄せをラオス、カンボジアも認めてほしいという意見もある。制度上の事情は了解しても、定住難民扱いされるODPと一般入国では、日本入国後の対応が大きく異なることも、ラオス人、カンボジア人にとっては差別と感じている

ようである。

帰化は永住権を得てからでなければ出来ないと思っている人もあり、その両手続きの簡素化と在日出生児には日本国籍を望む声が多かった。原則、夫婦や家族単位でという制度に対し、夫婦の意志を尊重して別姓と同じように国籍も必ずしも同一にしないでよいのではないか、という意見もあった。ベトナムでは結婚による姓の変更がないので（ラオス、カンボジアは選択性）、逆に、周囲の日本人から正式婚姻していないのではないかと言われて傷ついた人々もあり、「日本人のように夫婦同姓にするために早く帰化したい」という人もあった。帰化の動機としては、日本旅券が外国との間を自由に往来するため（ビジネス・企業からの派遣・親族訪問・社内旅行）に好都合というビジネス優先型と、日本で小・中学校教育を受ける子供達の速い同化に対応するための日本人化（親の譲歩）の二つの主な理由が明らかとなった。

社会保障制度は、定住者にとって最も判りにくい（母国では馴染みのない）仕組みで、掛け損になると考える人と、これで本当に罹患した時や、老後が安心なのかと不安を訴える人が多かった。一方、老いて入国したインドシナ難民の救済を「施設」の創設を含め訴えていた。

住宅問題は、職場との距離、広さ、家賃の高さ、家族の増減に従って動けない等さまざまあっても、基本的に数がたりない。民間住宅は外国人にはなかなか貸してくれないので、公営の住宅を増やし、入居の際の保証人の確保に協力してほしいと切実に訴えている。

(2) 教育関係

受験戦争という言葉が定着している我が国に来て、進学に伴う学力と経済の不安が大きい。これと関連して家庭内の日本語力のアンバランス（親は母国語指向、子は日本語のみで母国語排除指向）が、親子関係に微妙な影を落とし、絶対的な権威をもっていた母国の親の地位をゆるがせている。これは又、親の自信喪失や子供への過依存、過剰期待を生むことにもなっている。

何れにしても定住者自身の日本語に対する要求水準と面接者の評価には差がある。当然のことながら日本社会で生活する外国人が、容易に各レベルで学び続けられるような仕組みが必要で、国際化は、この辺りから基礎を固める必要があると思われた。

(3) 職業関係

我が国の景気動向が最も敏感に反映される人々で、最近の不況の影響が表われている。失業・求職中等の人が5.7%いるが、簡単に転職の出来た好景気の時期を知っている人々の安易さもあるが、多くの外国人就労者と競合する職場が多い。そのために定住難民の就職時に「日本人並みと住宅確保」を要求される企業側が、雇用条件のゆるい人に置きかえていく事例もなくはなさそうである。

現在の仕事の満足理由では、人間関係及び給料が最も多く、その他の理由として職住接近や夜間の勉強に便利がよいという点があげられ、その仕事自身に満足しているのではない人が多い。一つのステップとして考え、転職が多いこととも関連があろう。

「労働保険」への加入及び「健康保険と厚生年金」へのセット加入は、将来、年金受給の可能性の少ない外国人就労者も増加している現在、本人たちには現行の制度が必ずしもなじまず加入させるには困難が伴っている。他方、雇用主にとっても未加入にしておく方が、経費節減にもなることから、難民の就労者の一部が現行の社会保険制度に未加入のままになっている。従って、例えば現行の「健康保険」と「厚生年金」のセット加入方式を別々に加入できる方式への改正や短期加入でも掛け金に応じた年金を受けられる方法などを検討する余地があろう。

(4) 保健医療関係

「困っていること」のうち10.2%が病気関係であるが、日本の高度に発達した現代医学に厚い信頼を置いて、親族を日本で治療させたいと望む一方、永年馴染んだ母国の治療を受けたいと願う中高年者もいる。母国の信仰と結びついたような伝統的医療は精神的安定をもたらすかもしれないが、家族間の不信と断絶にもつながっている。

精神的な障害を持っていると思われる人を身近に知っている人が約1割あり、正確な日本国内の発病率は、決して少ないとは言えない。精神障害の治療には言語（それも微妙なニュアンスの理解を含めて）が非常に重要な要素であり、治療者とのコミュニケーションが難しいという理由で、治療を受けられる機会が限定されている。長期にわたる入院治療、そして社会復帰のための中間施設は皆無に等しい。「もし施設が出来たら」の問いに8.6%の人が、長期治療の場をあげており、精神障害者が「身近にいる」殆んどの人が、こうした治療と社会復帰のための施設を求めていることがうかがえる。

こうした「施設」があったら、老人ホーム、養護施設及び宿泊施設に使用したいと言っているのは、我が国に根を下ろし、さまざまな段階を経て経験したり考えたりし、福祉的視野に思いが至るようになったためと思える。

(5) 難民事業本部・定住促進センターへの要望等

センター退所後のアフターケアを充分にしてほしい、特に退所直後のケアが要望されている。

近年多くなった一般外国人と定住難民の違いを一般の日本人のみでなく、行政の窓口が殆んど知らないため困惑することが多い。この点のPRの徹底を望む声が強い。また、僅かではあるが、難民に対する差別やいじめに対する訴え、犯罪を犯した者に対する厳罰を求める彼等自身からの指摘もあった。

一方、来日できたことに対する満足、感謝の言も多かったが、その分、望郷の念と残

した親族への思いが吐露されてもいた。

調査結果でみる限り、定住難民は、個々の問題はあるものの日本定住に着実に適応を示している。入国時の男女数のアンバランスのため、永年若者達が結婚難を訴えていたが、近年再入国許可による出入国が自由になり、帰国又は、呼寄せ結婚が可能になった結果、この種の訴えが殆どなくなっている。しかし、呼寄せ結婚等で来日した人はセンター教育受講対象者ではないため、入国してからの日本語教育の差をどうするかの問題を残している。

定住難民は我が国の国策として内国民待遇が与えられている。しかし、ボートピープルの数は減少傾向にあるものの、本国から旅券を持った“ベトナム難民の家族”が来日して来るようになった現在、各行政窓口はもとより、多くの関係者にとってその取扱いにつき混乱が生じている。これらの問題に関する権威ある行政指導の実施とともに、一般国民の理解と協力を得るための広報活動の拡充が望まれる。

資料

SA: シングルアンサー MA: マルチア **資料2**

1. 結果集計表

実数	全体の構成比 (%)	非該当を除く 構成比 (%)	不明と非該当を除く 構成比 (%)
----	---------------	-------------------	----------------------

- 1 < 性別

- 1) 男性
- 2) 女性
- 不 明
非 該 当
合 計

> ... (SA)

213	(55.5)
171	(44.5)
0	(0.0)
0	(0.0)
384	(100.0)

- 2 < センター別

- 1) 姫路定住促進センター
- 2) 大和定住促進センター
- 3) 国際救援センター
- 不 明
非 該 当
合 計

> ... (SA)

128	(33.3)
145	(37.8)
111	(28.9)
0	(0.0)
0	(0.0)
384	(100.0)

I-2 b < 入所期

- 1) 10期まで
- 2) 20期
- 3) 30期
- 4) 40期
- 5) 50期
- 6) 60期
- 7) 70期
- 8) 80期
- 9) 90期
- 不 明
非 該 当
合 計

> ... (SA)

86	(22.4)
40	(10.4)
41	(10.7)
59	(15.4)
45	(11.7)
27	(7.0)
37	(9.6)
33	(8.6)
16	(4.2)
0	(0.0)
0	(0.0)
384	(100.0)

- 4 < I-3 年令

- 1) 16歳以上20歳以下
- 2) 25歳以下
- 3) 30歳以下
- 4) 35歳以下
- 5) 40歳以下
- 6) 45歳以下
- 7) 50歳以下
- 8) 60歳以下
- 9) 61歳以上
- 不 明
非 該 当
合 計

> ... (SA)

37	(9.6)
57	(14.8)
66	(17.2)
97	(25.3)
67	(17.4)
30	(7.8)
10	(2.6)
14	(3.6)
6	(1.6)
0	(0.0)
0	(0.0)
384	(100.0)

I-4 < 出身国

- 1) ベトナム
- 2) ラオス
- 3) カンボジア
- 不 明
非 該 当
合 計

> ... (SA)

224	(58.3)
80	(20.8)
80	(20.8)
0	(0.0)
0	(0.0)
384	(100.0)

実数	全体の構成比 (%)	非該当を除く 構成比 (%)	不明と非該当を除く 構成比 (%)
----	---------------	-------------------	----------------------

Ⅱ < 現住所 (都府県別)

> ... (SA)

1)	東京都	58	(15.1)
2)	神奈川県	173	(45.1)
3)	千葉県	7	(1.8)
4)	栃木県	1	(0.3)
5)	埼玉県	35	(9.1)
6)	群馬県	6	(1.6)
7)	山梨県	3	(0.8)
8)	静岡県	11	(2.9)
9)	愛知県	1	(0.3)
10)	滋賀県	2	(0.5)
11)	大阪府	19	(4.9)
12)	兵庫県	61	(15.9)
13)	岡山県	1	(0.3)
14)	広島県	5	(1.3)
15)	熊本県	1	(0.3)
	不 該 当	0	(0.0)
	非 該 当	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

明
当
計

Ⅲ-1 < 仕事場 (都府県別)

> ... (SA)

1)	東京都	50	(13.0)	16.3	17.5
2)	神奈川県	121	(31.5)	39.4	42.3
3)	千葉県	5	(1.3)	1.6	1.7
4)	栃木県	1	(0.3)	0.3	0.3
5)	埼玉県	23	(6.0)	7.5	8.0
6)	群馬県	3	(0.8)	1.0	1.0
7)	山梨県	4	(1.0)	1.3	1.4
8)	静岡県	8	(2.1)	2.6	2.8
9)	愛知県	0	(0.0)	0.0	0.0
10)	滋賀県	2	(0.5)	0.7	0.7
11)	大阪府	20	(5.2)	6.5	7.0
12)	兵庫県	43	(11.2)	14.0	15.0
13)	岡山県	1	(0.3)	0.3	0.3
14)	広島県	4	(1.0)	1.3	1.4
15)	熊本県	1	(0.3)	0.3	0.3
	不 該 当	21	(5.5)	6.8	
	非 該 当	77	(20.1)		
	合 計	384	(100.0)	307	286

明
当
計

Ⅲ-2 < 従業員数

> ... (SA)

1)	0人	1	(0.3)	0.3	0.5
2)	1~4人	14	(3.6)	4.6	6.8
3)	5~10人	33	(8.6)	10.7	15.9
4)	11~20人	40	(10.4)	13.0	19.3
5)	21~50人	57	(14.8)	18.6	27.5
6)	51~100人	35	(9.1)	11.4	16.9
7)	101~500人	20	(5.2)	6.5	9.7
8)	501~1000人	5	(1.3)	1.6	2.4
9)	1000人以上	2	(0.5)	0.7	1.0
	不 該 当	100	(26.0)	32.6	
	非 該 当	77	(20.1)		
	合 計	384	(100.0)	307	207

明
当
計

IV-1< 家族形態

> ... (S A)

1)	世帯主	184	(47.9)
2)	家族	200	(52.1)
	不 明	0	(0.0)
	非 該 当	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

IV-2< 入国時の家族構成員

> ... (S A)

1)	1人	60	(15.6)
2)	2人	57	(14.8)
3)	3人	86	(22.4)
4)	4人	64	(16.7)
5)	5人	39	(10.2)
6)	6人	24	(6.3)
7)	7人	26	(6.8)
8)	8人	15	(3.9)
9)	9人	4	(1.0)
10)	10人以上	9	(2.3)
	不 明	0	(0.0)
	非 該 当	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

IV-3< 現在の家族構成員

> ... (S A)

1)	1人	60	(15.6)
2)	2人	50	(13.0)
3)	3人	67	(17.4)
4)	4人	88	(22.9)
5)	5人	64	(16.7)
6)	6人	32	(8.3)
7)	7人	12	(3.1)
8)	8人	6	(1.6)
9)	9人	3	(0.8)
10)	10人	2	(0.5)
	不 明	0	(0.0)
	非 該 当	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

V-1< 区分1

> ... (S A)

1)	ポートピープル	141	(36.7)
2)	ODP	27	(7.0)
3)	海外キャンプ	216	(56.3)
	不 明	0	(0.0)
	非 該 当	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

V-2< N-2A 区分

> ... (S A)

1) ボートピープル	0	(0.0)
2) ODP	0	(0.0)
3) 海外キャンプ	0	(0.0)
4) ボートピープル：定住	141	(36.7)
5) ボートピープル：一時庇護	0	(0.0)
6) ODP：親	5	(1.3)
7) ODP：子供	6	(1.6)
8) ODP：配偶者	10	(2.6)
9) ODP：兄弟	6	(1.6)
10) 海外キャンプ：タイ	156	(40.6)
11) 海外キャンプ：香港	20	(5.2)
12) 海外キャンプ：マレーシア	12	(3.1)
13) 海外キャンプ：インドネシア	1	(0.3)
14) 海外キャンプ：その他	27	(7.0)
不 明	0	(0.0)
非 該 当	0	(0.0)
合 計	384	(100.0)

V-3< 定住条件

> ... (S A)

1) 2-イ	79	(20.6)	36.6	40.3
2) 2-ロ	24	(6.3)	11.1	12.2
3) 2-ローヘ	93	(24.2)	43.1	47.4
4) 2-ヘ	0	(0.0)	0.0	0.0
不 明	20	(5.2)	9.3	
非 該 当	168	(43.8)		
合 計	384	(100.0)	216	196

- VI< 母国での学歴

> ... (S A)

1) 学歴なし	17	(4.4)	4.6
2) 3年以下	35	(9.1)	9.6
3) 6年以下	93	(24.2)	25.4
4) 9年以下	110	(28.6)	30.1
5) 12年以下	90	(23.4)	24.6
6) 15年以下	15	(3.9)	4.1
7) 16年以上	6	(1.6)	1.6
不 明	18	(4.7)	
非 該 当	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	366

- VII< 在留資格

> ... (S A)

1) 定住者	333	(86.7)
2) 自活	0	(0.0)
3) 一時庇護	0	(0.0)
4) 帰化	19	(4.9)
5) 永住	32	(8.3)
不 明	0	(0.0)
非 該 当	0	(0.0)
合 計	384	(100.0)

Ⅷ-1く 出国／脱出からの年数

> ... (S A)

1)	0～	2年	12	(3.1)	3.7
2)	3～	4	45	(11.7)	13.9
3)	5～	6	24	(6.3)	7.4
4)	7～	8	41	(10.7)	12.7
5)	9～	10	69	(18.0)	21.3
6)	11～	12	88	(22.9)	27.2
7)	13～	14	39	(10.2)	12.0
8)	15～	16	3	(0.8)	0.9
9)	17～	18	3	(0.8)	0.9
	不	明	60	(15.6)	
	非	該	0	(0.0)	
	合	計	384	(100.0)	324

Ⅷ-2く 在日年数

> ... (S A)

1)	0～	2年	43	(11.2)	
2)	3～	4	69	(18.0)	
3)	5～	6	40	(10.4)	
4)	7～	8	58	(15.1)	
5)	9～	10	63	(16.4)	
6)	11～	12	102	(26.6)	
7)	13～	14	9	(2.3)	
8)	15～	16	0	(0.0)	
	不	明	0	(0.0)	
	非	該	0	(0.0)	
	合	計	384	(100.0)	

Ⅷ-3く センター退所後の年数

> ... (S A)

1)		1年	34	(8.9)	
2)		2	45	(11.7)	
3)	3～	4	56	(14.6)	
4)	5～	6	43	(11.2)	
5)	7～	8	92	(24.0)	
6)	9～	10	64	(16.7)	
7)	11～	12	49	(12.8)	
8)	13～	14	1	(0.3)	
9)	15～	16	0	(0.0)	
	不	明	0	(0.0)	
	非	該	0	(0.0)	
	合	計	384	(100.0)	

IX-1< 住宅形態

> ... (MA)

1)	都府県営	75	(19.5)
2)	市町営	20	(5.2)
3)	雇用促進住宅	72	(18.8)
4)	公団	9	(2.3)
5)	一戸建貸家	18	(4.7)
6)	自宅	9	(2.3)
7)	社宅	27	(7.0)
8)	社員寮	31	(8.1)
9)	アパート	106	(27.6)
10)	その他	17	(4.4)
11)	浴室なし	1	(0.3)
	不 明	0	(0.0)
	非 該	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

IX-2< 家賃

> ... (SA)

1)	0 円	43	(11.2)	11.6
2)	~1.5万円以下	63	(16.4)	17.0
3)	~3.0万円以下	129	(33.6)	34.9
4)	~5.0万円以下	62	(16.1)	16.8
5)	~7.5万円以下	52	(13.5)	14.1
6)	~10.0万円以下	14	(3.6)	3.8
7)	10.1万円以上	7	(1.8)	1.9
	不 明	14	(3.6)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	370

IX-3< 部屋の広さ

> ... (SA)

1)	6畳以下	18	(4.7)	4.8
2)	1K	34	(8.9)	9.1
3)	1DK	29	(7.6)	7.7
4)	2DK	162	(42.2)	43.2
5)	3DK	91	(23.7)	24.3
6)	3LDK	20	(5.2)	5.3
7)	3LDK以上	19	(4.9)	5.1
8)	2戸以上	0	(0.0)	0.0
9)	その他	2	(0.5)	0.5
	不 明	9	(2.3)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	375

X < 婚姻関係 > ... (S A)

1) 独身のまま	115	(29.9)
2) 独身から日本で結婚	60	(15.6)
3) 独身から海外で結婚	4	(1.0)
4) 既婚/同居のまま	155	(40.4)
5) 既婚/同居から離婚	7	(1.8)
6) 既婚/同居から死別又は別居	2	(0.5)
7) 既婚/別居のまま	14	(3.6)
8) 既婚/別居から同居へ	20	(5.2)
9) その他	7	(1.8)
不 明	0	(0.0)
非 該	0	(0.0)
合 計	384	(100.0)

X I < 宗教 > ... (S A)

1) 仏教	219	(57.0)	72.8
2) カトリック	55	(14.3)	18.3
3) プロテスタント	1	(0.3)	0.3
4) 他のキリスト教	1	(0.3)	0.3
5) カオダイ教	0	(0.0)	0.0
6) イスラム教	1	(0.3)	0.3
7) 祖先崇拜	6	(1.6)	2.0
8) 宗教なし	17	(4.4)	5.6
9) その他	1	(0.3)	0.3
不 明	83	(21.6)	
非 該	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	301

X II < 日本語会話の程度 (調査員の評価) > ... (S A)

1) 自由にできる	102	(26.6)	27.3
2) 不自由しない	163	(42.4)	43.7
3) あまりできない	93	(24.2)	24.9
4) ほとんどダメ	15	(3.9)	4.0
不 明	11	(2.9)	
非 該	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	373

X III < 適応状況 (調査員の評価) > ... (S A)

1) 良く適応している	36	(9.4)	10.9
2) 普通に適応している	255	(66.4)	77.0
3) あまり適応できていない	37	(9.6)	11.2
4) 適応できていない	3	(0.8)	0.9
不 明	53	(13.8)	
非 該	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	331

調査票

< Q1 日本語会話の程度

> ... (S A)

1) 自由にできる	102	(26.6)
2) 不自由しない	142	(37.0)
3) あまりできない	132	(34.4)
4) ほとんどダメ	8	(2.1)
不 明	0	(0.0)
非 該 当	0	(0.0)
合 計	384	(100.0)

< Q2 定住後の日本語の勉強

> ... (M A)

1) 日本語学校	29	(7.6)
2) 学校教育	54	(14.1)
3) 独学	123	(32.0)
4) ボランティア	61	(15.9)
5) 家族から	23	(6.0)
6) その他	28	(7.3)
7) していない	134	(34.9)
不 明	0	(0.0)
非 該 当	0	(0.0)
合 計	384	(100.0)

< Q2-2 勉強をしていない理由

> ... (M A)

1) 時間がない	102	(26.6)	76.1	76.7
2) 金がない	17	(4.4)	12.7	12.8
3) 学校がない	18	(4.7)	13.4	13.5
4) 必要としない	10	(2.6)	7.5	7.5
5) その他	16	(4.2)	11.9	12.0
不 明	1	(0.3)	0.7	
非 該 当	250	(65.1)		
合 計	384	(100.0)	134	133

< Q3 日本語の勉強の希望

> ... (S A)

1) 希望する	293	(76.3)
2) 希望しない	91	(23.7)
不 明	0	(0.0)
非 該 当	0	(0.0)
合 計	384	(100.0)

< Q3-2 どの程度学力をつけたいか > ... (M A)

1) 日常生活	162	(42.2)	55.3	56.1
2) 仕事	144	(37.5)	49.1	49.8
3) 情報	80	(20.8)	27.3	27.7
4) 進学	35	(9.1)	11.9	12.1
5) 交流	76	(19.8)	25.9	26.3
6) その他	13	(3.4)	4.4	4.5
不 明	4	(1.0)	1.4	
非 該 当	91	(23.7)		
合 計	384	(100.0)	293	289

< Q4 日本での最終学歴

> ... (M A)

1)	中学	28	(7.3)	7.4
2)	高校	35	(9.1)	9.3
3)	専門学校	5	(1.3)	1.3
4)	高専	4	(1.0)	1.1
5)	短大	3	(0.8)	0.8
6)	大学	8	(2.1)	2.1
7)	大学院	0	(0.0)	0.0
8)	無	279	(72.7)	74.2
9)	夜間	22	(5.7)	5.9
10)	中退	11	(2.9)	2.9
11)	在学中	24	(6.3)	6.4
12)	その他	13	(3.4)	3.5
	不 明	8	(2.1)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	376

< Q5 進学希望

> ... (M A)

1)	高校	16	(4.2)	4.3
2)	専門学校	37	(9.6)	10.0
3)	高専	1	(0.3)	0.3
4)	短大	2	(0.5)	0.5
5)	大学	17	(4.4)	4.6
6)	大学院	7	(1.8)	1.9
7)	留学	10	(2.6)	2.7
8)	夜間	34	(8.9)	9.2
9)	無	251	(65.4)	67.7
10)	その他	25	(6.5)	6.7
	不 明	13	(3.4)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	371

< Q6 会社の業種

> ... (S A)

1)	建設	13	(3.4)	4.2	4.5
2)	食品	12	(3.1)	3.9	4.2
3)	繊維	6	(1.6)	2.0	2.1
4)	紙／出版	10	(2.6)	3.3	3.5
5)	化学／プラスチック	25	(6.5)	8.1	8.7
6)	皮革	14	(3.6)	4.6	4.9
7)	金属	26	(6.8)	8.5	9.1
8)	機械	38	(9.9)	12.4	13.2
9)	電機	39	(10.2)	12.7	13.6
10)	自動車部品	56	(14.6)	18.2	19.5
11)	その他製造	3	(0.8)	1.0	1.0
12)	運輸	8	(2.1)	2.6	2.8
13)	小売業	20	(5.2)	6.5	7.0
14)	サービス業	17	(4.4)	5.5	5.9
	不 明	20	(5.2)	6.5	
	非 該	77	(20.1)		
	合 計	384	(100.0)	307	287

< Q6-2 職業

> ... (S A)

1) 専門／技術	7	(1.8)	2.3	2.4
2) 事務	10	(2.6)	3.3	3.4
3) 販売／サービス	22	(5.7)	7.2	7.6
4) ガラス／セメント	10	(2.6)	3.3	3.4
5) 金属	7	(1.8)	2.3	2.4
6) 金属加工	90	(23.4)	29.3	31.0
7) 機械／電気	40	(10.4)	13.0	13.8
8) 自動車部品	17	(4.4)	5.5	5.9
9) 食品加工	8	(2.1)	2.6	2.8
10) 繊維／縫製	15	(3.9)	4.9	5.2
11) 紙／印刷	16	(4.2)	5.2	5.5
12) プラスチック	8	(2.1)	2.6	2.8
13) 皮革	13	(3.4)	4.2	4.5
14) その他技能	20	(5.2)	6.5	6.9
15) 建設／労務等	7	(1.8)	2.3	2.4
不明	17	(4.4)	5.5	
非該当	77	(20.1)		
合計	384	(100.0)	307	290

< Q7 在職期間

> ... (S A)

1) 6月未満	43	(11.2)	14.0	14.1
2) 1年未満	40	(10.4)	13.0	13.2
3) 3年未満	110	(28.6)	35.8	36.2
4) 5年未満	52	(13.5)	16.9	17.1
5) 10年未満	48	(12.5)	15.6	15.8
6) 10年以上	11	(2.9)	3.6	3.6
不明	3	(0.8)	1.0	
非該当	77	(20.1)		
合計	384	(100.0)	307	304

< Q8 前月の給料の手取額

> ... (S A)

1) 5万円未満	13	(3.4)	4.2	4.3
2) 10万円未満	63	(16.4)	20.5	20.9
3) 15万円未満	63	(16.4)	20.5	20.9
4) 20万円未満	82	(21.4)	26.7	27.2
5) 30万円未満	64	(16.7)	20.8	21.3
6) 30万円以上	16	(4.2)	5.2	5.3
不明	6	(1.6)	2.0	
非該当	77	(20.1)		
合計	384	(100.0)	307	301

< Q9 今の仕事の満足度

> ... (S A)

1) 満足している	149	(38.8)	48.5	49.2
2) ある程度満足している	125	(32.6)	40.7	41.3
3) 満足していない	29	(7.6)	9.4	9.6
不明	4	(1.0)	1.3	
非該当	77	(20.1)		
合計	384	(100.0)	307	303

< Q9-2 満足度の理由

> ... (MA)

1)	給料	103	(26.8)	33.6	37.3
2)	雇用条件	67	(17.4)	21.8	24.3
3)	人間関係	112	(29.2)	36.5	40.6
4)	職業適性	83	(21.6)	27.0	30.1
5)	3 K	12	(3.1)	3.9	4.3
6)	その他	41	(10.7)	13.4	14.9
	不 明	31	(8.1)	10.1	
	非 該	77	(20.1)		
	合 計	384	(100.0)	307	276

< Q10 仕事をしていますか

> ... (SA)

1)	仕事をしていない	77	(20.1)
2)	仕事をしています	307	(79.9)
	不 明	0	(0.0)
	非 該	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

< Q10 いつから仕事をしていないか > ... (SA)

1)	0年	0	(0.0)	0.0	0.0
2)	1年未満	13	(3.4)	16.9	25.5
3)	2年未満	15	(3.9)	19.5	29.4
4)	3年未満	9	(2.3)	11.7	17.6
5)	4年未満	3	(0.8)	3.9	5.9
6)	5年未満	3	(0.8)	3.9	5.9
7)	6年未満	1	(0.3)	1.3	2.0
8)	7年未満	2	(0.5)	2.6	3.9
9)	8年未満	4	(1.0)	5.2	7.8
10)	8年以上	1	(0.3)	1.3	2.0
	不 明	26	(6.8)	33.8	
	非 該	307	(79.9)		
	合 計	384	(100.0)	77	51

< Q10-2 現在の状況

> ... (MA)

1)	学生	20	(5.2)	26.0	26.3
2)	主婦	34	(8.9)	44.2	44.7
3)	病気	6	(1.6)	7.8	7.9
4)	休職中	1	(0.3)	1.3	1.3
5)	失業	9	(2.3)	11.7	11.8
6)	求職中	13	(3.4)	16.9	17.1
7)	その他	4	(1.0)	5.2	5.3
	不 明	1	(0.3)	1.3	
	非 該	307	(79.9)		
	合 計	384	(100.0)	77	76

< Q10-3 生活費の入手方法

> ... (MA)

1) 親族の扶養	55	(14.3)	71.4	77.5
2) 失業保険	1	(0.3)	1.3	1.4
3) 生活保護	6	(1.6)	7.8	8.5
4) 労災	0	(0.0)	0.0	0.0
5) 友人の世話	1	(0.3)	1.3	1.4
6) 福祉施設在所	1	(0.3)	1.3	1.4
7) 貯金	7	(1.8)	9.1	9.9
8) アルバイト	8	(2.1)	10.4	11.3
9) その他	4	(1.0)	5.2	5.6
不該明	6	(1.6)	7.8	
非該計	307	(79.9)		
合	384	(100.0)	77	71

101 < Q11 転職経験回数

> ... (SA)

1) 0回	121	(31.5)	34.0
2) 1回	80	(20.8)	22.5
3) 2回	70	(18.2)	19.7
4) 3回	50	(13.0)	14.0
5) 4回	21	(5.5)	5.9
6) 5回	10	(2.6)	2.8
7) 6回	1	(0.3)	0.3
8) 7回	1	(0.3)	0.3
9) 8回	1	(0.3)	0.3
10) 9回以上	1	(0.3)	0.3
不該明	28	(7.3)	
非該計	0	(0.0)	
合	384	(100.0)	356

< Q11-2 転職理由

> ... (MA)

1) 給料	75	(19.5)	34.9
2) 雇用条件	61	(15.9)	28.4
3) 人間関係	50	(13.0)	23.3
4) 職業適性	60	(15.6)	27.9
5) 3K	62	(16.1)	28.8
6) その他	6	(1.6)	2.8
不該明	169	(44.0)	
非該計	0	(0.0)	
合	384	(100.0)	215

< Q11-3 公共職業訓練校の経験

> ... (SA)

1) ある	11	(2.9)	3.2
2) ない	333	(86.7)	96.8
不該明	40	(10.4)	
非該計	0	(0.0)	
合	384	(100.0)	344

< Q12 母国文化／宗教行事持続有無 > ... (S A)

1)	母国と同じ	134	(34.9)
2)	ある程度	156	(40.6)
3)	全然していない	94	(24.5)
	不 明	0	(0.0)
	非 該 当	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

< Q13-1 趣味／楽しみ 1 > ... (S A)

1)	音楽	116	(30.2)	30.4
2)	ドライブ	30	(7.8)	7.9
3)	旅行	43	(11.2)	11.3
4)	読書	38	(9.9)	10.0
5)	テレビ	63	(16.4)	16.5
6)	映画ビデオ	11	(2.9)	2.9
7)	デート	0	(0.0)	0.0
8)	スポーツ	26	(6.8)	6.8
9)	仲間との集い	22	(5.7)	5.8
10)	買物	20	(5.2)	5.2
11)	飲酒	5	(1.3)	1.3
12)	パチンコ	0	(0.0)	0.0
13)	その他	5	(1.3)	1.3
14)	無	2	(0.5)	0.5
	不 明	3	(0.8)	
	非 該 当	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	381

< Q13-2 趣味／楽しみ 2 > ... (S A)

1)	音楽	36	(9.4)	9.8
2)	ドライブ	24	(6.3)	6.5
3)	旅行	42	(10.9)	11.4
4)	読書	46	(12.0)	12.5
5)	テレビ	72	(18.8)	19.6
6)	映画ビデオ	37	(9.6)	10.1
7)	デート	5	(1.3)	1.4
8)	スポーツ	34	(8.9)	9.3
9)	仲間との集い	32	(8.3)	8.7
10)	買物	27	(7.0)	7.4
11)	飲酒	3	(0.8)	0.8
12)	パチンコ	4	(1.0)	1.1
13)	その他	4	(1.0)	1.1
14)	無	1	(0.3)	0.3
	不 明	17	(4.4)	
	非 該 当	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	367

< Q13-3 趣味／楽しみ 3

> ... (S A)

1)	音楽	10	(2.6)	3.2
2)	ドライブ	8	(2.1)	2.6
3)	旅行	26	(6.8)	8.4
4)	読書	27	(7.0)	8.7
5)	テレビ	42	(10.9)	13.6
6)	映画ビデオ	26	(6.8)	8.4
7)	デート	5	(1.3)	1.6
8)	スポーツ	39	(10.2)	12.6
9)	仲間との集い	63	(16.4)	20.4
10)	買物	41	(10.7)	13.3
11)	飲酒	10	(2.6)	3.2
12)	パチンコ	7	(1.8)	2.3
13)	その他	4	(1.0)	1.3
14)	無	1	(0.3)	0.3
	不該明	75	(19.5)	
	非該明	0	(0.0)	
	合計	384	(100.0)	309

< Q13 趣味／楽しみ

> ... (M A)

1)	音楽	162	(42.2)	42.3
2)	ドライブ	62	(16.1)	16.2
3)	旅行	111	(28.9)	29.0
4)	読書	111	(28.9)	29.0
5)	テレビ	177	(46.1)	46.2
6)	映画ビデオ	74	(19.3)	19.3
7)	デート	10	(2.6)	2.6
8)	スポーツ	99	(25.8)	25.8
9)	仲間との集い	117	(30.5)	30.5
10)	買物	88	(22.9)	23.0
11)	飲酒	18	(4.7)	4.7
12)	パチンコ	11	(2.9)	2.9
13)	その他	12	(3.1)	3.1
14)	無	4	(1.0)	1.0
	不該明	1	(0.3)	
	非該明	0	(0.0)	
	合計	384	(100.0)	383

< Q14 近所付き合い

> ... (M A)

1)	挨拶程度	259	(67.4)	67.8
2)	行事参加	99	(25.8)	25.9
3)	助け合い	92	(24.0)	24.1
4)	子供同志	82	(21.4)	21.5
5)	友人関係	83	(21.6)	21.7
6)	その他	6	(1.6)	1.6
7)	無	13	(3.4)	3.4
	不該明	2	(0.5)	
	非該明	0	(0.0)	
	合計	384	(100.0)	382

< Q15 近所からの苦情

> ... (MA)

1) ゴミの出し方	15	(3.9)	3.9
2) 騒がしい	18	(4.7)	4.7
3) 自動車関連	6	(1.6)	1.6
4) 子供の事	15	(3.9)	3.9
5) その他	2	(0.5)	0.5
6) 無	337	(87.8)	88.0
不 明	1	(0.3)	
非 該 当	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	383

< Q16 身近で心を病んでいる人の有無 > ... (MA)

1) いない	348	(90.6)	91.3
2) 家族	36	(9.4)	9.4
3) 友人	14	(3.6)	3.7
4) その他	0	(0.0)	0.0
不 明	3	(0.8)	
非 該 当	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	381

< Q17 生活保護の有無

> ... (SA)

1) 受けたことがない	327	(85.2)	86.7
2) 受けている	22	(5.7)	5.8
3) 受けていたことがある	20	(5.2)	5.3
4) 出来れば受けたい	8	(2.1)	2.1
不 明	7	(1.8)	
非 該 当	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	377

< Q17-2 生活保護を受けた理由

> ... (MA)

1) 大家族	15	(3.9)	31.3	32.6
2) 病気	17	(4.4)	35.4	37.0
3) 低収入	15	(3.9)	31.3	32.6
4) 母子／父子家庭	6	(1.6)	12.5	13.0
5) 離婚	3	(0.8)	6.3	6.5
6) 老齢	1	(0.3)	2.1	2.2
7) 失業	0	(0.0)	0.0	0.0
8) 出産	4	(1.0)	8.3	8.7
9) その他	8	(2.1)	16.7	17.4
不 明	2	(0.5)	4.2	
非 該 当	336	(87.5)		
合 計	384	(100.0)	48	46

< Q18 健康保険の加入有無

> ... (SA)

1) 社会保険	248	(64.6)	65.3
2) 国民健康保険	97	(25.3)	25.5
3) その他	11	(2.9)	2.9
4) 不加入	24	(6.3)	6.3
不 明	4	(1.0)	
非 該 当	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	380

< Q19 海外の親族等への援助有無 > ... (S A)

1) 援助している	260	(67.7)	68.2	
2) 援助していない	113	(29.4)	29.7	
3) 該当者無	8	(2.1)	2.1	
不 明	3	(0.8)		
非 該 当	0	(0.0)		
合 計	384	(100.0)	381	

< Q19-2 援助先 > ... (M A)

1) 母国	234	(60.9)	90.0	94.0
2) キャンプ	25	(6.5)	9.6	10.0
3) 第三国	14	(3.6)	5.4	5.6
不 明	11	(2.9)	4.2	
非 該 当	124	(32.3)		
合 計	384	(100.0)	260	249

< Q19-2a 援助金額 万円 > ... (S A)

1) 0円	0	(0.0)	0.0	0.0
2) 5万円未満	50	(13.0)	19.2	20.1
3) 10万円未満	44	(11.5)	16.9	17.7
4) 15万円未満	56	(14.6)	21.5	22.5
5) 20万円未満	15	(3.9)	5.8	6.0
6) 30万円未満	34	(8.9)	13.1	13.7
7) 50万円未満	33	(8.6)	12.7	13.3
8) 100万円未満	11	(2.9)	4.2	4.4
9) 100万円以上	6	(1.6)	2.3	2.4
不 明	11	(2.9)	4.2	
非 該 当	124	(32.3)		
合 計	384	(100.0)	260	249

< Q19-2b 援助物品の金額 万円 > ... (S A)

1) 1万円未満	3	(0.8)	1.2	7.9
2) 3万円未満	11	(2.9)	4.2	28.9
3) 5万円未満	6	(1.6)	2.3	15.8
4) 10万円未満	8	(2.1)	3.1	21.1
5) 20万円未満	7	(1.8)	2.7	18.4
6) 30万円未満	0	(0.0)	0.0	0.0
7) 40万円未満	2	(0.5)	0.8	5.3
8) 40万円以上	1	(0.3)	0.4	2.6
不 明	222	(57.8)	85.4	
非 該 当	124	(32.3)		
合 計	384	(100.0)	260	38

< Q20 来日後の出国有無 > ... (MA)

1) 母国	70	(18.2)
2) 東南アジア	47	(12.2)
3) 北米	24	(6.3)
4) オーストラリア	5	(1.3)
5) ヨーロッパ	7	(1.8)
6) その他	18	(4.7)
7) 出国していない	244	(63.5)
不明	0	(0.0)
該当	0	(0.0)
合計	384	(100.0)

< Q20-2 出国理由 > ... (MA)

1) 観光	32	(8.3)	22.9	23.2
2) 親族訪問	91	(23.7)	65.0	65.9
3) 慶弔／見舞い	16	(4.2)	11.4	11.6
4) 病気治療	0	(0.0)	0.0	0.0
5) 商売／社用	4	(1.0)	2.9	2.9
6) 社員旅行	13	(3.4)	9.3	9.4
7) 結婚	5	(1.3)	3.6	3.6
8) その他	4	(1.0)	2.9	2.9
不明	2	(0.5)	1.4	
該当	244	(63.5)		
合計	384	(100.0)	140	138

< Q21 ODP家族の呼寄せ > ... (MA)

1) 来日済	28	(7.3)	12.5	12.8
2) 手続中	23	(6.0)	10.3	10.5
3) 希望する	48	(12.5)	21.4	21.9
4) 希望しない	55	(14.3)	24.6	25.1
5) 不明	17	(4.4)	7.6	7.8
6) 該当者無	52	(13.5)	23.2	23.7
不明	5	(1.3)	2.2	
該当	160	(41.7)		
合計	384	(100.0)	224	219

< Q21-2 親族等の呼寄せや訪問 > ... (MA)

1) 来日中	13	(3.4)	3.7	
2) 手続中	29	(7.6)	8.4	
3) 希望する	116	(30.2)	33.4	
4) 希望しない	66	(17.2)	19.0	
5) 不明	24	(6.3)	6.9	
6) 該当者無	107	(27.9)	30.8	
不明	37	(9.6)		
該当	0	(0.0)		
合計	384	(100.0)	347	

< Q21-3 呼寄せは誰を

> ... (M A)

1)	配偶者	12	(3.1)	4.0
2)	親	76	(19.8)	25.1
3)	子供	21	(5.5)	6.9
4)	兄弟姉妹	98	(25.5)	32.3
5)	婚約者	7	(1.8)	2.3
6)	その他	33	(8.6)	10.9
7)	無	120	(31.3)	39.6
	不	81	(21.1)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	303

< Q22-1 今困っていること 1

> ... (S A)

1)	経済困難	71	(18.5)	18.7
2)	仕事／職場	30	(7.8)	7.9
3)	住い	71	(18.5)	18.7
4)	日本語	83	(21.6)	21.8
5)	役所の手続き	15	(3.9)	3.9
6)	家庭内の問題	5	(1.3)	1.3
7)	人とのつき合い	2	(0.5)	0.5
8)	教育／進学	12	(3.1)	3.2
9)	離れている家族の事	20	(5.2)	5.3
10)	定住先や出国	0	(0.0)	0.0
11)	結婚	6	(1.6)	1.6
12)	病気	4	(1.0)	1.1
13)	宗教	0	(0.0)	0.0
14)	その他	5	(1.3)	1.3
15)	無	56	(14.6)	14.7
	不	4	(1.0)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	380

< Q22-2 今困っていること 2

> ... (S A)

1)	経済困難	15	(3.9)	6.0
2)	仕事／職場	16	(4.2)	6.4
3)	住い	31	(8.1)	12.4
4)	日本語	62	(16.1)	24.8
5)	役所の手続き	33	(8.6)	13.2
6)	家庭内の問題	5	(1.3)	2.0
7)	人とのつき合い	11	(2.9)	4.4
8)	教育／進学	24	(6.3)	9.6
9)	離れている家族の事	24	(6.3)	9.6
10)	定住先や出国	6	(1.6)	2.4
11)	結婚	2	(0.5)	0.8
12)	病気	17	(4.4)	6.8
13)	宗教	0	(0.0)	0.0
14)	その他	2	(0.5)	0.8
15)	無	2	(0.5)	0.8
	不	134	(34.9)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	250

< Q22-3 今困っていること3

> ... (S A)

1)	経済困難	4	(1.0)	2.1
2)	仕事／職場	5	(1.3)	2.6
3)	住い	13	(3.4)	6.8
4)	日本語	26	(6.8)	13.7
5)	役所の手続き	23	(6.0)	12.1
6)	家庭内の問題	5	(1.3)	2.6
7)	人との付き合い	12	(3.1)	6.3
8)	教育／進学	25	(6.5)	13.2
9)	離れている家族の事	29	(7.6)	15.3
10)	定住先や出国	6	(1.6)	3.2
11)	結婚	6	(1.6)	3.2
12)	病気	18	(4.7)	9.5
13)	宗教	1	(0.3)	0.5
14)	その他	8	(2.1)	4.2
15)	無	9	(2.3)	4.7
	不	194	(50.5)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	190

< Q22 今困っていること

> ... (M A)

1)	経済困難	90	(23.4)
2)	仕事／職場	51	(13.3)
3)	住い	115	(29.9)
4)	日本語	171	(44.5)
5)	役所の手続き	71	(18.5)
6)	家庭内の問題	15	(3.9)
7)	人との付き合い	25	(6.5)
8)	教育／進学	61	(15.9)
9)	離れている家族の事	73	(19.0)
10)	定住先や出国	12	(3.1)
11)	結婚	14	(3.6)
12)	病気	39	(10.2)
13)	宗教	1	(0.3)
14)	その他	15	(3.9)
15)	無	67	(17.4)
	不	0	(0.0)
	非 該	0	(0.0)
	合 計	384	(100.0)

< Q23-1 困った時の相談相手

> ... (S A)

1)	家族	188	(49.0)	50.1
2)	友人	66	(17.2)	17.6
3)	職場の人	32	(8.3)	8.5
4)	センター	31	(8.1)	8.3
5)	ボランティア	7	(1.8)	1.9
6)	在日同国人協会	7	(1.8)	1.9
7)	その他	18	(4.7)	4.8
8)	いない	26	(6.8)	6.9
	不	9	(2.3)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	375

< Q23-2 困った時の相談相手

> ... (S A)

1) 家族	21	(5.5)	9.1
2) 友人	90	(23.4)	38.8
3) 職場の人	37	(9.6)	15.9
4) センター	40	(10.4)	17.2
5) ボランティア	15	(3.9)	6.5
6) 在日同国人協会	13	(3.4)	5.6
7) その他	14	(3.6)	6.0
8) いない	2	(0.5)	0.9
不 明	152	(39.6)	
非 該	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	232

< Q23-3 困った時の相談相手

> ... (S A)

1) 家族	10	(2.6)	7.6
2) 友人	16	(4.2)	12.1
3) 職場の人	24	(6.3)	18.2
4) センター	46	(12.0)	34.8
5) ボランティア	19	(4.9)	14.4
6) 在日同国人協会	5	(1.3)	3.8
7) その他	9	(2.3)	6.8
8) いない	3	(0.8)	2.3
不 明	252	(65.6)	
非 該	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	132

< Q23 困った時の相談相手

> ... (M A)

1) 家族	219	(57.0)	57.5
2) 友人	172	(44.8)	45.1
3) 職場の人	93	(24.2)	24.4
4) センター	117	(30.5)	30.7
5) ボランティア	41	(10.7)	10.8
6) 在日同国人協会	25	(6.5)	6.6
7) その他	41	(10.7)	10.8
8) いない	31	(8.1)	8.1
不 明	3	(0.8)	
非 該	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	381

< Q24 難民／職業相談員に相談有無 > ... (S A)

1) 相談したことがある	120	(31.3)	31.3
2) 相談したことがない	219	(57.0)	57.2
3) 知らない	44	(11.5)	11.5
不 明	1	(0.3)	
非 該	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	383

< Q25-1 利用したい施設 1

> ... (S A)

1)	宿泊施設	43	(11.2)	11.4
2)	寺院教会	52	(13.5)	13.8
3)	娯楽設備	25	(6.5)	6.6
4)	母国語教育	54	(14.1)	14.3
5)	日本語学習	74	(19.3)	19.6
6)	文化行事	19	(4.9)	5.0
7)	長期療養	6	(1.6)	1.6
8)	孤児院	7	(1.8)	1.9
9)	母子／父子寮	4	(1.0)	1.1
10)	老人ホーム	11	(2.9)	2.9
11)	その他	6	(1.6)	1.6
12)	特になし	76	(19.8)	20.2
	不 明	7	(1.8)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	377

< Q25-2 利用したい施設 2

> ... (S A)

1)	宿泊施設	10	(2.6)	4.0
2)	寺院教会	21	(5.5)	8.3
3)	娯楽設備	17	(4.4)	6.7
4)	母国語教育	47	(12.2)	18.7
5)	日本語学習	75	(19.5)	29.8
6)	文化行事	32	(8.3)	12.7
7)	長期療養	10	(2.6)	4.0
8)	孤児院	12	(3.1)	4.8
9)	母子／父子寮	7	(1.8)	2.8
10)	老人ホーム	9	(2.3)	3.6
11)	その他	1	(0.3)	0.4
12)	特になし	11	(2.9)	4.4
	不 明	132	(34.4)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	252

< Q25-3 利用したい施設 3

> ... (S A)

1)	宿泊施設	13	(3.4)	6.8
2)	寺院教会	15	(3.9)	7.9
3)	娯楽設備	12	(3.1)	6.3
4)	母国語教育	15	(3.9)	7.9
5)	日本語学習	21	(5.5)	11.1
6)	文化行事	60	(15.6)	31.6
7)	長期療養	17	(4.4)	8.9
8)	孤児院	10	(2.6)	5.3
9)	母子／父子寮	8	(2.1)	4.2
10)	老人ホーム	11	(2.9)	5.8
11)	その他	4	(1.0)	2.1
12)	特になし	4	(1.0)	2.1
	不 明	194	(50.5)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	190

< Q25 利用したい施設

> ... (MA)

1)	宿泊施設	66	(17.2)	17.2
2)	寺院教会	88	(22.9)	23.0
3)	娯楽設備	54	(14.1)	14.1
4)	母国語教育	116	(30.2)	30.3
5)	日本語学習	170	(44.3)	44.4
6)	文化行事	111	(28.9)	29.0
7)	長期療養	33	(8.6)	8.6
8)	孤児院	29	(7.6)	7.6
9)	母子／父子寮	19	(4.9)	5.0
10)	老人ホーム	31	(8.1)	8.1
11)	その他	11	(2.9)	2.9
12)	特になし	89	(23.2)	23.2
	不 明	1	(0.3)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	383

< Q26-1 ボランティア 団体等への希望 1 > ... (SA)

1)	日本語教育	135	(35.2)	35.6
2)	職場や離転職の相談	40	(10.4)	10.6
3)	行政相談	22	(5.7)	5.8
4)	法律相談	14	(3.6)	3.7
5)	健康相談	10	(2.6)	2.6
6)	精神病者のケア	10	(2.6)	2.6
7)	教育相談	11	(2.9)	2.9
8)	奨学金援助	35	(9.1)	9.2
9)	母国語による情報提供	19	(4.9)	5.0
10)	母国の言語や文化の学習	7	(1.8)	1.8
11)	母国帰還相談	7	(1.8)	1.8
12)	緊急避難の場所	4	(1.0)	1.1
13)	緊急時の貸与金	14	(3.6)	3.7
14)	その他	8	(2.1)	2.1
15)	無	43	(11.2)	11.3
	不 明	5	(1.3)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	379

< Q26-2 ボランティア 団体等への希望 2 > ... (SA)

1)	日本語教育	16	(4.2)	5.7
2)	職場や離転職の相談	37	(9.6)	13.1
3)	行政相談	31	(8.1)	11.0
4)	法律相談	30	(7.8)	10.6
5)	健康相談	20	(5.2)	7.1
6)	精神病者のケア	13	(3.4)	4.6
7)	教育相談	23	(6.0)	8.1
8)	奨学金援助	37	(9.6)	13.1
9)	母国語による情報提供	29	(7.6)	10.2
10)	母国の言語や文化の学習	19	(4.9)	6.7
11)	母国帰還相談	2	(0.5)	0.7
12)	緊急避難の場所	5	(1.3)	1.8
13)	緊急時の貸与金	16	(4.2)	5.7
14)	その他	2	(0.5)	0.7
15)	無	3	(0.8)	1.1
	不 明	101	(26.3)	
	非 該	0	(0.0)	
	合 計	384	(100.0)	283

＜ Q26-3 ＊ランディア 団体等への希望 3 ＞ ... (S A)

1)	日本語教育	11	(2.9)	4.8
2)	職場や離転職の相談	9	(2.3)	3.9
3)	行政相談	13	(3.4)	5.6
4)	法律相談	11	(2.9)	4.8
5)	健康相談	17	(4.4)	7.4
6)	精神病者のケア	6	(1.6)	2.6
7)	教育相談	15	(3.9)	6.5
8)	奨学金援助	45	(11.7)	19.5
9)	母国語による情報提供	42	(10.9)	18.2
10)	母国の言語や文化の学習	17	(4.4)	7.4
11)	母国帰還相談	8	(2.1)	3.5
12)	緊急避難の場所	7	(1.8)	3.0
13)	緊急時の貸与金	20	(5.2)	8.7
14)	その他	2	(0.5)	0.9
15)	無	8	(2.1)	3.5
	不	153	(39.8)	
	非	0	(0.0)	
	合	384	(100.0)	231
	明			
	該			
	当			
	計			

＜ Q26 ＊ランディア／団体等への希望 ＞ ... (M A)

1)	日本語教育	162	(42.2)	42.4
2)	職場や離転職の相談	86	(22.4)	22.5
3)	行政相談	66	(17.2)	17.3
4)	法律相談	55	(14.3)	14.4
5)	健康相談	47	(12.2)	12.3
6)	精神病者のケア	29	(7.6)	7.6
7)	教育相談	49	(12.8)	12.8
8)	奨学金援助	117	(30.5)	30.6
9)	母国語による情報提供	90	(23.4)	23.6
10)	母国の言語や文化の学習	43	(11.2)	11.3
11)	母国帰還相談	17	(4.4)	4.5
12)	緊急避難の場所	16	(4.2)	4.2
13)	緊急時の貸与金	50	(13.0)	13.1
14)	その他	12	(3.1)	3.1
15)	無	54	(14.1)	14.1
	不	2	(0.5)	
	非	0	(0.0)	
	合	384	(100.0)	382
	明			
	該			
	当			
	計			

＜ Q27 日本での暮らしの状況 ＞ ... (S A)

1)	よい	183	(47.7)	
2)	よくない	12	(3.1)	
3)	どちらともいえない	189	(49.2)	
	不	0	(0.0)	
	非	0	(0.0)	
	合	384	(100.0)	
	明			
	該			
	当			
	計			

＜ Q28 これからの暮らしの状況 ＞ … (S A)

1) もっとよくなる	174	(45.3)	45.4
2) 変わらない	62	(16.1)	16.2
3) 悪くなる	10	(2.6)	2.6
4) わからない	137	(35.7)	35.8
不 明	1	(0.3)	
非 該 当	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	383

＜ Q29 これからの在留意向 ＞ … (S A)

1) はい	287	(74.7)
2) いいえ	13	(3.4)
3) どちらともいえない	84	(21.9)
不 明	0	(0.0)
非 該 当	0	(0.0)
合 計	384	(100.0)

＜ Q29-2 希望在住資格 ＞ … (M A)

1) 帰化希望	143	(37.2)	49.8	50.4
2) 帰化済	20	(5.2)	7.0	7.0
3) 永住権希望	101	(26.3)	35.2	35.6
4) 永住済	36	(9.4)	12.5	12.7
5) 今のままでよい	22	(5.7)	7.7	7.7
不 明	3	(0.8)	1.0	
非 該 当	97	(25.3)		
合 計	384	(100.0)	287	284

＜ Q29-3 希望進路 ＞ … (S A)

1) 母国帰還	8	(2.1)	61.5	66.7
2) 第三国定住	3	(0.8)	23.1	25.0
3) わからない	0	(0.0)	0.0	0.0
4) その他	1	(0.3)	7.7	8.3
不 明	1	(0.3)	7.7	
非 該 当	371	(96.6)		
合 計	384	(100.0)	13	12

＜ Q30 その他の意見要望 (自由表記) ＞ … (M A)

1) 職業	18	(4.7)	9.0
2) 生活	13	(3.4)	6.5
3) 日本語	26	(6.8)	12.9
4) 教育	37	(9.6)	18.4
5) 住宅	34	(8.9)	16.9
6) 医療	9	(2.3)	4.5
7) 行政	77	(20.1)	38.3
8) 本部／センターなどへの要望	31	(8.1)	15.4
9) その他	22	(5.7)	10.9
不 明	183	(47.7)	
非 該 当	0	(0.0)	
合 計	384	(100.0)	201

我が国に在住するインドシナ難民の生活状況調査
実施要領(財) アジア福祉教育財団
難民事業本部

1. 調査目的

アジア福祉教育財団難民事業本部は、増加するインドシナ難民の救援活動を行うため、昭和54年12月から順次受け入れ施設を開設し、今日まで8,089人のインドシナ難民を施設に受け入れ日本語教育、社会適応指導、職業紹介などを実施して全国各地に定住・自活させてきました。

これら各地に生活しているインドシナ難民の意識及び生活等の実態を把握するとともに、日本の地域社会に適応するための諸問題を明らかにすることにより、今後の難民定住事業に資するものです。

2. 調査主管

難民事業本部に実施プロジェクトチームを設置し、各センターの難民相談員、職業相談員等を中心に実施に当たる。

3. 調査日程

平成4年5月～9月 調査準備（調査票作成、対象者選定、調査地区策定）

平成4年10月 調査実施、調査票回収点検

平成4年11月～5年3月 調査結果集計分析、報告書作成

4. 調査対象者

日本の各地で生活しているインドシナ難民のうち、3センター退所者で16才以上の者5416名の中から無作為抽出し、500名（ベトナム300，ラオス100，カンボジア100）を対象とする。

5. 調査方法

調査票にもとづき、個人に直接面接し聴き取り調査により行う。

6. 調査項目

- | | |
|------------------|------------------------|
| (1) 家族関係 | 家族構成、入国形態、家族状況等 |
| (2) 住 宅 | 種類、面積、家賃、入居実態等 |
| (3) 教 育 | 学歴、日本語の理解度、日本語教育、進学状況等 |
| (4) 就職状況 | 雇用条件、仕事への満足度、離転職理由等 |
| (5) 医療、保険 | 生活保護、保険加入等 |
| (6) 出国、呼寄 | 出国状況、親族呼び寄せ、母国との交流や援助等 |
| (7) 将来の希望等 | 楽しみ、不安、希望施設、帰化永住等 |
| (8) その他定住生活上の諸問題 | |

7. 調査報告

電算処理により報告書を作成する。

インドシナ難民定住状況調査 [調査票]

難民事業本部

調査No. 資料2

整理No.

チェック日 月 日 担当 調査員 調査日 1992 年 10 月 日 ()

補完日 月 日 担当 面接場所 午前 時 分から
午後 時 分まで

I. 氏名

(I-1) (I-2)

(I-4)

フリガナ
名前

①男 ①H

①V

②Y 期 番

②L

②女 ③K

③C

(別名) -----

(I-3)

生年月日 19 年 月 日 才

II. 住所

フェイスシート

①: Rカード (記載日 年 月) (TEL - -)

(〒 -)

県 市

目標、
目印

② ① (月 日) ② (月 日) ③ (月 日)

(〒 -)

(TEL - -)

県 市

目標、
目印

III. 仕事

③: Rカード (記載日 年 月)

従業員数

会社名

(自営) 工場名 担当

所在地 (〒 -) 電話 (- -)

県

市

目標、
目印

④ ① (月 日) ② (月 日) ③ (月 日)

会社名

従業員数

(自営) 工場名 担当

所在地 (〒 -) 電話 (- -)

県

市

目標、
目印

IV. 家族

①世帯主 ②家族 (世帯主

) ③独身 ④同居の人数 人
(含本人)

V. 入国日 19 年 月 日

V-2. 区分 ①ボートピープル: (1)定住 (2)一時庇護 センター入所までの年数 年

②ODP : その呼寄人 (1)親 (2)子 (3)配偶者 (4)兄弟

③海外キャンプ : (1)タイ (2)香港 (3)マレーシア (4)インドネシア (5)その他

V-3. 定住条件 ①2-イ ②2-ロ ③2-ローヘ ④2-ハ

VI. 母国での学歴 年、母国での職業 宗教

VII. 在留資格 ①定住者 ②自活 ③一時庇護 ④帰化 (年 月) ⑤永住 (年 月)

VIII. (1)出国, 脱出からの年数 年 (2)在日年数 年 (3)センター退所後の年数 年

IX. 住宅 ①都府県営 ②市町営 ③雇用促進住宅 ④公団 ⑤一戸建貸家 ⑥自宅

⑦社宅 ⑧社員寮 ⑨アパート ⑩その他 () ⑪浴室なし

(2)家賃 円 (3)部屋数 K, DK, (広さ約 m²)

I-1	男 女
I-2	センター
I-2	期
I-3	才
I-4	
II	〒
III	〒
III	人数
IV	
IV	同居 人
V-2	
V-3	
VI	年
VII	
VIII-1	
VIII-2	
VIII-3	
IX	
IX-2	万円
IX-3	m ²
X	結婚
X I	宗教
X II	日本語
X III	適応状況

X. 家族

[illegible]

*上欄 退所時の状況

下欄 退所後の変化（移動、結婚、出生、就職、その他）更なる変化は記入の上アンダーラインを引くこと

+ + + + +

＜調査員のコメント＞

1. 日本語会話はどの程度 ①自由にできる ②不自由しない ③あまり出来ない ④ほとんどダメ

- ## 2. 現在の日本での暮らしの状況、特に適応状況について

調 査 票

☆マーク：該当する答えは幾つでも挙げてください
 ◎マーク：希望する順に3つ挙げてください
 それ以外：1つだけ答えてください

H Y K - -

回答欄

1. 日本語会話はどの程度 ①自由にできる ②生活に不自由しない ③少し出来る ④ほとんどダメ
2. 定住後の日本語の勉強は ①日本語学校 ②学校教育 ③独学 ④ボランティア ⑤家族から
 ⑥その他() ⑦していない
- 2-2. していない理由は ①時間がない ②金がない ③学校がない ④必要としない
 ⑤その他()
3. 日本語の勉強の希望は ①有 ②無
- 3-2. どの程度の語学力をつけたいか ①日常生活 ②仕事 ③情報 ④進学 ⑤交流
 ⑥その他()
4. 日本での最終学歴 ①中学 ②高校 ③専門学校 ④高専 ⑤短大 ⑥大学 ⑦大学院 ⑧無
 ⑨夜間 ⑩中退 ⑪在学中 ⑫その他()
5. 進学希望 ①高校 ②専門学校 ③高専 ④短大 ⑤大学 ⑥大学院 ⑦留学
 ⑧夜間 ⑨無 ⑩その他()

<仕事についている人に 6～9>

6. ①会社の業種 () コードNo. _____
 ②あなたの職業 () コードNo. _____

7. 在職期間 ①6月未満 ②1年未満 ③3年未満 ④5年未満 ⑤10年未満 ⑥10年以上

8. 前月の給与の手取額 ①5万円以下 ②10万円以下 ③15万円以下
 ④20万円以下 ⑤30万円以下 ⑥30万円以上

9. 今の仕事に満足していますか ①はい ②ある程度 ③いいえ
 9-2. その理由は ①給料 ②雇用条件 ③人間関係 ④職業適性 ⑤3K
 ⑥その他()

<仕事をしていない人に 10のみ> いつから _____ 年 _____ 月 ~

10. ①学生 ②主婦 ③病気 ④休職中 ⑤失業 ⑥求職中 ⑦その他()

10-2. 生活費はどの様にしていますか

- ①親族の扶助 ②失業保険 ③生活保護 ④労災 ⑤友人の世話 ⑥福祉施設在所
 ⑦貯金 ⑧アルバイト ⑨その他()

11. 転職の経験 ①有 回数 _____ 回 ②無 (短期アルバイトを除く)

- 11-2. 転職の理由は ①給料 ②雇用条件 ③人間関係 ④職業適性 ⑤3K その他

- 11-3. 公共職業訓練校の経験 ①有 ②無 科目()

1	
☆ 2	
☆ 2-2	
3	
◎ 3-2	
☆ 4	
☆ 5	
6	業種 職種
7	
8	
9	
☆ 9-2	
10	年
☆ 10	
☆ 10-2	
11	回
☆ 11-2	
11-3	

12. 母国の文化、宗教行事を日本でも続けていますか ①母国と同じ ②ある程度 ③全然していない
13. 趣味や楽しみは（3つまで順に） ①音楽 ②ドライブ ③旅行 ④読書 ⑤テレビ ⑥映画ビデオ
⑦デート ⑧スポーツ ⑨仲間との集い ⑩買い物 ⑪飲酒
⑫パチンコ ⑬その他（ ） ⑭無
14. 近所付き合いは ①挨拶程度 ②行事参加 ③助け合い ④子供同士 ⑤友人関係
⑥その他（ ） ⑦無
15. 近所から苦情はありますか ①ゴミの出し方 ②騒がしい ③自動車関連 ④子供の事
⑤その他（ ） ⑥無
16. 身近な人で心の病に苦しんでいる人はいますか ①いない
②いる→（1）家族（2）友人（3）その他
17. 生活保護 ①受けていない ②受けている約____万円 ③受けたことがある ④受けたい
- 17-2. <②～④の人に> どうして ①大家族 ②病気 ③低収入 ④母子、父子家庭 ⑤離婚
⑥高齢 ⑦失業 ⑧出産 ⑨その他（ ）
18. 健康保険の加入 ①社会保険 ②国民健康保険 ③その他（ ） ④不加入
19. 海外の親族等へ援助をしていますか ①有 ②無 ③該当者無
- 19-2. ①の人はどこへ ①母国 ②キャンプ ③第三国 お金：合計約____万円／年，
品物：（ ），約____万円相当／年
20. 来日後、出国した事がありますか
①母国 ②東南アジア ③北米 ④オーストラリア ⑤ヨーロッパ ⑥その他（ ） ⑦無
____回 ____回 ____回 ____回 ____回 ____回
- 20-2. 出国の理由 ①観光 ②親族訪問 ③慶弔、見舞い ④病気治療 ⑤商売、社用
⑥社員旅行 ⑦結婚 ⑧その他（ ）
21. ODP家族の呼寄 ①来日済 ②手続中 ③希望する ④希望しない ⑤不明 ⑥該当者なし
- 21-2. 親族等の呼寄や訪問 ①来日中 ②手続中 ③希望する ④希望しない ⑤不明
⑥該当者なし
- 21-3. 呼寄は誰を ①配偶者 ②親 ③子供 ④兄弟姉妹 ⑤婚約者 ⑥その他（ ）
⑦無

12	
◎13	① ② ③
☆14	
☆15	
☆16	
17	
☆17-2	
18	
19	
☆19-2	
19-2	万円 万円 相当
19	
☆20	
☆20-2	
☆21	
☆21-2	
☆21-3	

22. 今、困っていること（答は3つまで順に）
 ①経済困難 ②仕事、職場 ③住まい ④日本語 ⑤役所の手続き ⑥家庭内の問題
 ⑦人との付き合い ⑧教育、進学 ⑨離れている家族のこと ⑩定住先や出国 ⑪結婚
 ⑫病気 ⑬宗教 ⑭その他（ ） ⑮無
23. 困ったときの相談相手は（答は3つまで順に）
 ①家族 ②友人 ③職場の人 ④センター ⑤ボランティア ⑥在日同国人協会
 ⑦その他（ ） ⑧いない
24. 定住後センターの難民相談員、職業相談員に相談したこと ①有 ②無 ③知らない
25. もし、自分達の自由に利用できる施設があれば何に利用し役に立てたいですか（3つまで順に）
 ①宿泊施設 ②寺院教会 ③娯楽設備 ④母国語教育 ⑤日本語学習 ⑥文化行事
 ⑦長期療養 ⑧孤児院 ⑨母子、父子寮 ⑩老人ホーム ⑪その他（ ）
 ⑫特になし
26. 政府、難民事業本部やボランティア団体に何を希望しますか（3つまで順に）
 ①日本語教育 ②職場や離転職の相談 ③行政相談 ④法律相談 ⑤健康相談
 ⑥精神病患者のケア ⑦教育相談 ⑧奨学金援助 ⑨母国語による情報提供
 ⑩母国の言語や文化の学習 ⑪母国帰還相談 ⑫緊急避難の場所 ⑬緊急時の貸与金
 ⑭その他（ ） ⑮無
27. 現在のあなたの日本での暮らしの状況を、どう感じますか
 ①よい ②よくない ③どちらともいえない
28. これからの日本での暮らしの状況を総合的にみて、どう思いますか
 ①もっとよくなる ②変わらない ③わるくなる ④わからない
29. これからも日本に長く住みたいですか ①はい ②いいえ ③どちらとも決めていない
- 29-2. ①の人→ ①帰化希望 ②帰化済 ③永住権希望 ④永住済 ⑤今のままでよい
- 29-3. ②の人→ ①母国帰還 ②第三国定住 ③わからない ④その他（ ）
30. その他の意見、要望

◎22	① ② ③
◎23	① ② ③
24	
◎25	① ② ③
◎26	① ② ③
27	
28	
29	
☆ 29-2	
29-3	
30	有 無

ご協力ありがとうございました。

ĐỐI VỚI NHỮNG CÂU HỎI CÓ DẤU SAO (☆) CÓ THỂ TRẢ LỜI VỚI NHIỀU CÂU
DẤU KHOANH TRÒN (○) TRẢ LỜI THEO NGUYÊN VONG TUẦN TỰ TRÊN XƯNG DƯỚI
NGOÀI RA, VỚI NHỮNG CÂU KHÁC XIN TRẢ LỜI CHỈ VỚI MỘT CÂU.

調査票
ベトナム語版

1. Trình độ đàm thoại tiếng Nhật của bạn:
 - ① Có thể diễn đạt tự do như mình muốn
 - ② Không gặp trở ngại trong cuộc sống hằng ngày
 - ③ Nói được chút ít
 - ④ Hầu như không nói được
- ☆2. Việc học tập tiếng Nhật sau khi định cư:
 - ① Ở trường Nhật Ngữ
 - ② Ở trường học phổ thông
 - ③ Tự học
 - ④ Tự thầy cô thiện nguyện
 - ⑤ Tự gia đình
 - ⑥ Ngoài ra ()
 - ⑦ Không học
- ☆2-2 Nếu trả lời KHÔNG xin cho biết lý do:
 - ① Không có thời gian
 - ② Gặp khó khăn về vấn đề học phí
 - ③ Không có trường
 - ④ Thấy không cần thiết
 - ⑤ Ngoài ra ()
3. Nguyên vọng về việc học tiếng Nhật:
 - ① Có
 - ② Không
- ◎3-2 Muốn học tiếng Nhật đến trình độ nào:
 - ① Muốn thuận lợi hơn trong cuộc sống sinh hoạt hằng ngày
 - ② Cho công ăn việc làm
 - ③ Muốn biết được các tin tức (báo chí, thời sự...)
 - ④ Muốn học cao hơn
 - ⑤ Cho việc giao lưu, giao tiếp
 - ⑥ Ngoài ra ()
- ☆4. Học lịch cuối cùng tại Nhật:
 - ① Trung học cấp II
 - ② Trung học cấp III
 - ③ Trường cao đẳng chuyên môn (khóa trình 5 năm)
 - ④ Trường đại học đoản kỳ (2 năm)
 - ⑤ Trường chuyên môn
 - ⑥ Đại học
 - ⑦ Đại học viện
 - ⑧ Không
 - ⑨ Trường buổi tối
 - ⑩ Bỏ học nửa chừng
 - ⑪ Hiện đang học
 - ⑫ Ngoài ra ()
- ☆5. Muốn được học lên:
 - ① Cấp III
 - ② Trường chuyên môn
 - ③ Trường cao đẳng chuyên môn
 - ④ Đại học đoản kỳ
 - ⑤ Đại học
 - ⑥ Đại học viện
 - ⑦ Du học
 - ⑧ Trường buổi tối
 - ⑨ Không
 - ⑩ Ngoài ra ()
- < TỪ CÂU 6 ĐẾN CÂU 9 DÀNH CHO NHỮNG AI HIỆN CÓ-ĐI LÀM >
 6.
 - ① Loại công việc của hãng ()
 - ② Phân công việc bạn hiện làm ()
 7. Bạn làm ở hãng hiện tại được bao lâu:
 - ① dưới nửa năm
 - ② dưới 1 năm
 - ③ dưới 3 năm
 - ④ dưới 5 năm
 - ⑤ dưới 10 năm
 - ⑥ trên 10 năm
 8. Tiền lương thu nhập được vào tháng trước:
 - ① dưới 50.000 yen
 - ② dưới 100.000 yen
 - ③ dưới 150.000 yen
 - ④ dưới 200.000 yen
 - ⑤ dưới 300.000 yen
 - ⑥ trên 300.000 yen
 9. Bạn có thỏa mãn với công việc hiện làm hay không?
 - ① Thỏa mãn
 - ② Tam được
 - ③ Không
- ☆9-2 Nếu trả lời KHÔNG xin cho biết lý do:
 - ① Vì lương bổng
 - ② Vì điều kiện thuê dụng
 - ③ Vì quan hệ giữa con người với nhau
 - ④ Vì công việc không thích hợp
 - ⑤ Công việc cực-dở-nguy hiểm
 - ⑥ Ngoài ra ()
- < ĐỐI VỚI NHỮNG AI HIỆN KHÔNG-ĐI LÀM, CHỈ TRẢ LỜI CÂU SỐ 10. >
 Không đi làm kể từ tháng _____ năm _____
 - ☆10. Hiện tại:
 - ① là học sinh
 - ② nội trợ
 - ③ đang bệnh
 - ④ đang nghỉ việc tạm thời
 - ⑤ thất nghiệp
 - ⑥ đang tìm việc
 - ⑦ Ngoài ra ()
 - ☆10-2 Phí sinh hoạt hiện như thế nào?
 - ① Nhận sự giúp đỡ từ gia đình
 - ② từ bảo hiểm thất nghiệp
 - ③ từ tiền trợ cấp xã hội
 - ④ từ bảo hiểm lao động
 - ⑤ do bạn bè giúp đỡ
 - ⑥ hiện sống trong cơ quan phúc lợi
 - ⑦ tiền để dành
 - ⑧ đi làm thêm
 - ⑨ Ngoài ra ()
 11. -Đôi hăng:
 - ① Có Số lần _____ (Không kể loại công việc theo lương giờ ngắn hạn)
 - ② Không
 - ☆11-2 Lý do đôi hăng:
 - ① Lương bổng
 - ② Điều kiện thuê dụng
 - ③ Quan hệ con người
 - ④ Công việc không thích hợp
 - ⑤ Công việc cực-dở-nguy hiểm
 - ⑥ Ngoài ra ()
 - 11-3 Bạn có từng học ở trường dạy nghề không?
 - ① Có
 - ② Không Môn gì _____

12. Đến Nhật, bạn có còn tiếp tục duy trì nền văn hóa, các nghi lễ tôn giáo nước mình không?
- ① Vẫn như khi còn ở quê hương ② Có duy trì ít nhiều ③ Hoàn toàn không
- ☆13. Sở thích bạn và các thú vui: (Xin trả lời 3 câu, theo tuần tự.)
- ① Âm nhạc ② Lái xe ③ Du lịch ④ Đọc sách ⑤ Tivi
⑥ Phim Video ⑦ Hẹn hò người yêu ⑧ Thể thao ⑨ Gặp gỡ tụ họp bạn bè
⑩ Mua sắm ⑪ Rượu chè ⑫ Pachinko ⑬ Ngoài ra () ⑭ Không
- ☆14. Việc giao tiếp với hàng xóm chung quanh:
- ① Đại khái chào hỏi ② Tham gia các nghi lễ ③ Cùng giúp đỡ lẫn nhau
④ Trẻ con cũng chơi với nhau ⑤ Quan hệ với tính cách bạn bè ⑥ Ngoài ra ()
⑦ Không
- ☆15. Bạn có bị hàng xóm than phiền, phàn nàn gì không?
- ① Về việc bỏ rác ② Ôn ào ③ Về xe cộ (đậu xe bừa bãi, làm ồn ào...)
④ Về chuyện của trẻ con ⑤ Ngoài ra () ⑥ Không
- ☆16. Quyền thuộc bạn có ai hiện đang đau khổ về bệnh tâm trí không?
- ① Không có ② Có → (1) Người trong gia đình (2) Bạn bè (3) Ngoài ra
17. Việc nhận tiền trợ cấp xã hội:
- ① Chưa nhận bao giờ ② Đang nhận () yen ③ Đã nhận trong quá khứ ④ Muốn nhận
- ☆17-2 <Những ai trả lời từ ②~④> cho biết lý do:
- ① Gia đình đông ② Bệnh hoạn ③ Lợi tức thấp ④ Gia đình thiếu cha (me)
⑤ Ly hôn ⑥ Tuổi già ⑦ Thất nghiệp ⑧ Sinh nở ⑨ Ngoài ra ()
18. Việc gia nhập bảo hiểm sức khỏe:
- ① Bảo hiểm xã hội ② Bảo hiểm sức khỏe quốc dân ③ Ngoài ra () ④ Không vào
19. Bạn có giúp đỡ gì cho thân nhân ở hải ngoại không?
- ① Có ② Không ③ Không có thân nhân
- ☆19-2 Những ai trả lời CÓ, xin cho biết gửi đi đâu:
- ① Gửi về quê hương ② Gửi cho trại tỵ nạn ③ Thân nhân đã định cư ở nước khác
- Hiện kim _____ yen / một năm
Phẩm vật _____ tính thành tiền khoảng _____ yen / một năm
- ☆20. Sau khi đến Nhật, có ra khỏi nước Nhật lần nào không?
- ① Việt Nam ② Đông Nam Á ③ Bắc Mỹ ④ Úc ⑤ Âu châu ⑥ Ngoài ra ⑦ Không
(_____ lần) (_____ lần) (_____ lần) (_____ lần) (_____ lần) (_____ lần)
- ☆20-2 Lý do đi
- ① Du lịch ② Thăm thân nhân ③ Vì các việc ưu hi (cưới hỏi, tang chay, thăm bệnh)
④ Đi chữa bệnh ⑤ Buôn bán ⑥ Du lịch do nổi làm việc tổ chức
⑦ Để kết hôn ⑧ Ngoài ra ()
- ☆21. Việc đoàn tụ gia đình theo hình thức hợp pháp (ODP)
- ① Đã bảo lãnh đến Nhật ② Đang làm thủ tục ③ Muốn bảo lãnh ④ Không muốn bảo lãnh
⑤ Không rõ ⑥ Không có thân nhân trong diện này
- ☆21-2 Việc bảo lãnh thân nhân (ngoài diện đoàn tụ) và cho thân nhân qua Nhật thăm viếng:
- ① Thân nhân hiện đang ở Nhật ② Đang làm thủ tục ③ Muốn bảo lãnh trong tương lai
④ Không muốn bảo lãnh ⑤ Không rõ ⑥ Không có thân nhân trong diện này
- ☆21-3 Người được bảo lãnh:
- ① Vợ /Chồng ② Cha mẹ ③ Con cái ④ Anh chị em ⑤ Vợ hôn phu (thê)
⑥ Ngoài ra () ⑦ Không có

- ◎22. Hiện tại, bạn gặp khó khăn gì? (Xin trả lời 3 câu theo tuần tự)
- ① Khó khăn về kinh tế, tài chánh ② Trên công việc, hàng xuống ③ Nhà cửa
 - ④ Tiếng Nhật ⑤ Về các thủ tục hành chánh ⑥ Chuyện trong gia đình
 - ⑦ Về mối quan hệ giữa người với người ⑧ Về giáo dục, học hành
 - ⑨ Về người thân ở xa ⑩ Về nơi định cư, rời khỏi nước Nhật ⑪ Lập gia đình
 - ⑫ Bệnh tật ⑬ Tôn giáo ⑭ Ngoài ra () ⑮ Không có
- ◎23. Khi bạn gặp chuyện khó khăn, bạn thường nhờ ai giúp đỡ, bạn bạc dùm?
- ① Người gia đình ② Bạn bè ③ Người cùng chỗ làm việc ④ Trung tâm
 - ⑤ Người làm thiện nguyện ⑥ Hiệp hội người Việt tại Nhật
 - ⑦ Ngoài ra () ⑧ Không có ai
24. Sau khi ra định cư, bạn có nhờ nhân viên cố vấn tỵ nạn hoặc nhân viên cố vấn nghề nghiệp trong các trung tâm giúp đỡ bao giờ chưa?
- ① Có ② Không ③ Không biết về điều đó
- ◎25. Nếu như có cơ sở công cộng gì có thể tự do sử dụng và có ích cho bạn, bạn nghĩ đó là gì?
- ① Nơi tạm trú khi có chuyện khẩn cấp ② Chùa / Nhà thờ ③ Nơi giải trí
 - ④ Nơi học tiếng Việt ⑤ Nơi học tiếng Nhật
 - ⑥ Nơi tổ chức các hình thức văn hóa, nghi lễ...
 - ⑦ Nơi dưỡng bệnh lâu dài ⑧ Cơ nhi viện ⑨ Nơi cư trú cho gia đình thiếu mẹ hoặc cha
 - ⑩ Trại dưỡng lão ⑪ Ngoài ra () ⑫ Không có
- ◎26. Bạn mong mỏi gì về chính phủ Nhật, Tổng bộ tỵ nạn, các đoàn thể thiện nguyện làm từ đây?
- ① Về việc giáo dục tiếng Nhật ② Bần bạc cho về chuyện nơi làm việc và việc đổi hàng
 - ③ Bần bạc, giúp đỡ về các thủ tục hành chánh ④ Thảo luận về pháp luật
 - ⑤ Bần bạc cho về vấn đề sức khỏe ⑥ Việc giúp đỡ những người mắc bệnh thần kinh
 - ⑦ Bần bạc về vấn đề giáo dục ⑧ Giúp đỡ về tiền học bổng
 - ⑨ Cung cấp cho các tin tức (báo chí, truyền thông truyền tin) bằng tiếng Việt
 - ⑩ Học tập về ngôn ngữ và văn hóa Việt ⑪ Thảo luận về việc hồi hương
 - ⑫ Nơi có thể lánh nạn ⑬ Về việc mượn tiền bạc khi khẩn cấp
 - ⑭ Ngoài ra () ⑮ Không
27. Hiện tại, bạn cảm nhận thế nào về tình hình cuộc sống mình tại Nhật?
- ① Tốt ② Không tốt ③ Không tốt cũng không xấu
28. Nhìn một cách tổng quát, bạn nghĩ thế nào về cuộc sống bạn từ đây ở Nhật?
- ① Từ đây sẽ tốt hơn ② Không thay đổi ③ Tệ hơn ④ Không biết
29. Bạn có muốn sống lâu dài ở Nhật từ đây không?
- ① Muốn ② Không muốn ③ Chưa quyết định phía nào cả.
- ◎29-2 Những ai đã trả lời ①, xin trả lời tiếp.
- ① Muốn xin nhập quốc tịch ② Đã nhập quốc tịch ③ Muốn xin vĩnh trú
 - ④ Đã xin vĩnh trú ⑤ Muốn để nguyên như hiện tại
- 29-3 Những ai đã trả lời ②, xin trả lời tiếp.
- ① Muốn hồi hương ② Muốn định cư ở nước khác ③ Không biết lý do
 - ④ Ngoài ra ()
30. Xin cho biết thêm về ý kiến bạn hoặc những nguyện vọng khác của mình:

XIN THÀNH THẬT CẢM ƠN SỰ HIỆP LỰC CỦA QUÝ BẠN !

ຄຳຖາມເຄື່ອງໝາຍກາດາວ ໃຫ້ຕອບຫລາຍເທົ່າໃດກໍໄດ້
ຄຳຖາມເຄື່ອງໝາຍວົງມົນ ໃຫ້ຕອບແຕ່ ໓ ຂໍ້ເທົ່ານັ້ນ
ມອກຈາກນັ້ນໃຫ້ຕອບແຕ່ຂໍ້ດຸ່ວ

調査票
ラオス語版

1. 1. ພາສາຍີ່ປຸ່ນເວົ້າໄດ້ປະມານເທົ່າໃດ 1 ສາມາດເວົ້າໄດ້ 2 ເວົ້າໄດ້ແຕ່ປະສານ 3 ບໍ່ໄດ້ປານໃດ 4 ບໍ່ໄດ້ຈັກນ້ອຍ
- ☆2. 6. ໄປເຮັດການແລ້ວໄດ້ຮຽນພາສາຍີ່ປຸ່ນບໍ່ 1 ໂຮງຮຽນພາສາຍີ່ປຸ່ນ 2 ໄປຮຽນໂຮງຮຽນ 3 ຮຽນດ້ວຍຕົວເອງ 4 ຮຽນດ້ວຍອາສາສະມັກສອນ 5 ຄອບຄົວ 6 ອື່ນໆ 7 ບໍ່ຮຽນ
- ☆2-2 6-໔ ເປັນຫຍັງບໍ່ໄດ້ຮຽນ 1 ບໍ່ມີເວລາ 2 ບໍ່ມີເງິນ 3 ບໍ່ມີໂຮງຮຽນ 4 ບໍ່ຈຳເປັນ 5 ອື່ນໆ
3. ໓. ມີຄວາມຫວັງຢາກຈະຮຽນພາສາຍີ່ປຸ່ນບໍ່ 1 ມີ 2 ບໍ່ມີ
- ◎3-2 ໓-໒ ຄວາມສາມາດຢາກຈະເວົ້າໄດ້ຂະໜາດໃດ 1 ການຄອງຊີບ 2 ດ້ານວຽກງານ 3 ຂ່າວສານ 4 ໄປໂຮງຮຽນ 5 ຄົບຄ້າສະມາຄົມ 6 ແລະຢ່າງອື່ນໆ
- ☆4. ໔. ຮຽນຈົບຢູ່ໃນຍີ່ປຸ່ນຂະໜາດໃດ 1 ມັດທະຍົມ 2 ອຸດົມ 3 ຮ/ຮວິຊາສະເພາະ 4 ອຸດົມວິຊາສະເພາະ 5 ບໍ່ 6 ມະຫາວິທະຍາໄລ 6 ມະຫາວິທະຍາໄລ 7 ມະຫາວິທະຍາໄລຂັ້ນປະລິນຍາໂທ 8 ບໍ່ມີ 9 ຮ/ຮກາງຄືນ 10 ເຊົາຮຽນກາງທາງ 11 ກຳລັງຮຽນ 12 ອື່ນໆ
- ☆5. ໕. ຢາກຮຽນຕໍ່ບໍ່ 1 ອຸດົມ 2 ຮ/ຮວິຊາສະເພາະ 3 ອຸດົມວິຊາສະເພາະ 4 ບໍ່ 5 ມະຫາວິທະຍາໄລ 6 ມະຫາວິທະຍາໄລຂັ້ນປະລິນຍາໂທ 7 ຢາກໄປຕໍ່ຕ່າງປະເທດ 8 ຮ/ຮກາງຄືນ 9 ບໍ່ມີ 10 ອື່ນໆ
- < ສຳລັບຜູ້ເຮັດການຢູ່ປະຈຸບັນໃຫ້ຕອບຂໍ້ ໖ ເຖິງຂໍ້ ໙ >
6. ໖. 1 ວຽກຂອງບໍລິສັດ () 2 ວຽກທີ່ເຈົ້າເຮັດຕົວຈິງ ()
7. ໗. ໄດ້ເຮັດມາດົນປານໃດ 1 ໖ ເດືອນ 2 ໑ ປີ 3 ໓ ປີ 4 ໔ ປີ 5 ໑໐ ປີ 6 ໑໐ ປີຂຶ້ນໄປ
8. 8. ເງິນເດືອນທີ່ໄດ້ຮັບຕົວຈິງຫລາຍປານໃດ 1 ຕ່ຳກ່ວາ ໔ ພັນເຢັນ 2 ຕ່ຳກ່ວາ ໑໐ ພັນເຢັນ 3 ຕ່ຳກ່ວາ ໑໔ ພັນເຢັນ 4 ຕ່ຳກ່ວາ ໒໐ ພັນເຢັນ 5 ຕ່ຳກ່ວາ ໓໐ ພັນເຢັນ 6 ຫລາຍກ່ວາ ໓໐ ພັນເຢັນ
9. ໙. ວຽກປະຈຸບັນນີ້ພໍໃຈເຮັດຢູ່ບໍ່ 1 ພໍໃຈ 2 ພໍໃຈຢູ່ນ້ອຍໜຶ່ງ 3 ບໍ່ພໍໃຈ
- ☆9-2 ໙-໒ ຖ້າບໍ່ພໍໃຈເຫດຜົນມີຫຍັງ 1 ເງິນເດືອນ 2 ກ່ຽວກັບສັນຍາຕ່າງໆ 3 ຄວາມສຳພັນລະຫວ່າງກັບຄົນ 4 ບໍ່ຖືກກັບວຽກງານ 5 ໜັກ, ເບື້ອນແລະອັນຕະລາຍ 6 ອື່ນໆ
- < ສຳລັບຜູ້ທີ່ໄດ້ເຮັດການໃຫ້ຕອບແຕ່ຂໍ້ ໑໐ ເທົ່ານັ້ນ > ບໍ່ໄດ້ເຮັດການຕັ້ງແຕ່ປີໃດ _____ ເດືອນໃດ _____
- ☆10. 10. 1 ເປັນນັກຮຽນ 2 ເປັນແມ່ເຮືອນ 3 ບໍ່ສະບາຍ 4 ກຳລັງພັກຜ່ອນ 5 ວ່າງງານ 6 ກຳລັງຊອກຫາວຽກຢູ່ 7 ອື່ນໆ ()
- ☆10-2 10-໒ ການໄຊ້ຊີວິດຢູ່ກິນປະຈຸບັນເຮັດແນວໃດ
- 1 ແມ່ຍາດພີ່ນ້ອງຊ່ວຍເຫຼືອ 2 ກິນເງິນວ່າງງານ 3 ເອົາເງິນສົງເຄາະຊີວິດ 4 ປະກັນໄພອຸບັດຕິເຫດເວລາເຮັດການ 5 ພູ້ເພື່ອນຊ່ວຍເຫຼືອ 6 ອາໄສຢູ່ທີ່ບ່ອນຮັບລ້ຽງ 7 ກິນເງິນຝາກທະນະຄານ 8 ເຮັກວຽກອາລົບປ່າ 9 ອື່ນໆ ()
11. 11. ເຖິງອອກການບໍ່ 1 ເຖິງ ຈັກເທື່ອ () 2 ບໍ່ເຖິງ < ສຳລັບຜູ້ເຮັດວຽກອາລົບປ່າປັດຈຸບັນ >
- ☆11-2 11-໒ ເຫດຜົນອອກການໃດ 1 ເຮືອງເງິນເດືອນ 2 ກ່ຽວກັບສັນຍາຕ່າງໆ 3 ຄວາມສຳພັນລະຫວ່າງກັບຄົນ 4 ບໍ່ຖືກກັບວຽກງານ 5 ໜັກ, ເບື້ອນ, ອັນຕະລາຍແລະອື່ນໆ
- 11-໓ ໄດ້ເຂົ້າໂຮງຮຽນວິຊາສະເພາະຂອງລັດບໍ່ 1 ໄດ້ເຂົ້າຮຽນ 2 ບໍ່ໄດ້ເຂົ້າ ຖ້າໄດ້ເຂົ້າຮຽນວິຊາຫຍັງ ()

12. ໑໒. ຢູ່ຍີ່ປຸ່ນນີ້ປະເພນີແລະສາສນາຂອງປະເທດຕົວເອງຍັງນັບຖືຢູ່ 1ນັບຖືຢູ່ 2ນັບຖືຢູ່ນ້ອຍໜຶ່ງ 3ບໍ່ນັບຖືເລີຍ
໑3. ໑໓. ແນວຕົວເອງມັກແລະນິຍົມທີ່ສຸດແມ່ນຫຍັງ (ໃນນີ້ໃຫ້ຕອບ ໓ ຂໍ້) 1ດິນຕຣີ 2ຂັບລົດໄປຫລິ້ນ 3ໄປທ່ອງທ່ຽວ 4ອ່ານປຶ້ມ 5ເບິ່ງໂທຣະທັດ 6ຊົມເມ່າ 7ໄປທ່ຽວຫລິ້ນນ້ຳຊູ້ແຟນ 8ກິລາ 9ໄປຫາໝູ່ດຽວກັນ 10ໄປຊື້ຂອງ 11ກິນເຫລົ້າ 12ໄປຫລິ້ນປະຈຶ່ງໂກ 13ອື່ນໆ () 14ບໍ່ມີ
໑4. ໑໔. ການຄົບຄ້າສະມາຄົມກັບຄົນບ້ານໄກ້ເຮືອນຄົງເປັນແນວໃດ 1ຖາມສະບາຍດີກັນຊຶ່ງ 2ປະຊຸມເຮືອງຕ່າງໆຕາມ ປະເພນີຂອງຊາວບ້ານ 3ຊ່ວຍເຫຼືອຊຶ່ງກັນແລະກັນ 4ເດັກນ້ອຍຫລິ້ນກັບເດັກນ້ອຍ 5ເປັນໝູ່ຄູ່ກັນເທົ່ານັ້ນ 6ອື່ນໆ () ໗ບໍ່ມີ
໑5. ໑໕. ຄົນບ້ານໄກ້ເຮືອນຄົງມາຕຸ້ກເຕືອນບໍ່ 1ກ່ຽວກັບການຖິ້ມຂີ້ເຫຍື້ອ 2ກ່ຽວກັບຟືດແຊວ 3ກ່ຽວກັບເຮືອງລົດ 4ກ່ຽວກັບເຮືອງເດັກນ້ອຍ 5ອື່ນໆ () 6ບໍ່ມີ
໑6. ໑໖. ໃນຍາດພີ່ນ້ອງຂອງເຈົ້າມີຄົນເສຍຈິດເປັນໂຮກປະສາດບໍ່ 1ບໍ່ມີ 2ມີ (1)ຄົນໃນຄອບຄົວ (2)ຄົນເປັນໝູ່ກັນ (3)ຜູ້ອື່ນໆ
17. ໑໗. ເຖິງເອົາເງິນຈາກປະຊາສົງເຄາະຢູ່ບໍ່ 1ບໍ່ເຖິງເອົາ 2ກຳລັງເອົາ (ຈັກໝື່ນເປັນ) 3ແຕ່ກ່ອນນີ້ເຖິງເອົາ 4ຢາກໄດ້
- ໑7-2 ໑໗-໒ ຜູ້ທີ່ໄດ້ຕອບຂໍ້ 2 ແລະ ຂໍ້ 4 ເປັນຫຍັງຈຶ່ງຢາກໄດ້ 1ຄອບຄົວຫລາຍຄົນ 2ເຈັບປ່ວຍ 3ເງິນເດືອນນ້ອຍ 4ມີແຕ່ແມ່ຫລືພໍ່ກັບລູກ 5ຢ່າຮ້າງກັນ 6ອາຍຸຫລາຍ 7ບໍ່ມີການເຮັດ 8ກຳລັງອອກລູກນ້ອຍ 9ອື່ນໆ ()
18. ໑໘. ໄດ້ເຂົ້າປະກັນໄພສຸກພາບຕ່າງໆບໍ່ 1ປະກັນໄພຂອງບໍລິສັດ 2ປະກັນໄພຂອງລັດຖະບານ 3ອື່ນໆ () 4ບໍ່ໄດ້ເຂົ້າ
19. ໑໙. ໄດ້ສົ່ງເງິນຫລືສິ່ງເຄື່ອງຂອງໃຫ້ຍາດພີ່ນ້ອງຢູ່ຕ່າງປະເທດບໍ່ 1ໄດ້ສົ່ງ 2ບໍ່ໄດ້ສົ່ງ 3ບໍ່ມີພີ່ນ້ອງ
- ໑9-2 ໑໙-໒ ສົ່ງໄປໃຫ້ຜູ້ໃດ 1ສົ່ງໄປປະເທດຕົວເອງ 2ສົ່ງໄປສູນ 3ສົ່ງໄປປະເທດທີ່ ໓ ຈຳນວນເງິນທີ່ສົ່ງ () ໝື່ນເປັນ/ຕໍ່ນຶ່ງປີ. ເຄື່ອງຂອງສະໝິດໃດ () ຕົກເປັນເງິນປະມານ () ໝື່ນເປັນ/ຕໍ່ນຶ່ງປີ.
໑20. ໒໐. ຕັ້ງແຕ່ເຂົ້າມາຍີ່ປຸ່ນແລ້ວເຖິງໄປຕ່າງປະເທດບໍ່ 1ປະເທດຂອງຕົວເອງ 2ເອເຊຍ 3ອາເມຣິກາ 4ອົດສະຕາລີ 5ຢູໂລບ 6ອື່ນໆ () 7ບໍ່ມີ ໄປຈັກເທື່ອ () () () () () ()
- ໑20-2 ໒໐-໒ ຕະຫຼອດຜົນຂອງການໄປ 1ທ່ອງທ່ຽວ 2ໄປຫາພີ່ນ້ອງ 3ໄປຫາຜູ້ເຈັບແລະຕາຍ 4ໄປປົວພະຍາດຕົນເອງ 5ການຄ້າຂາຍ 6ທ່ອງທ່ຽວນ້ຳບໍລິສັດ 7ແຕ່ງງານ 8ອື່ນໆ ()
໑21. ໒໑. ຢາກປະກັນຄອບຄົວມາຍີ່ປຸ່ນບໍ່ (ເປັນໂຄງການ O. D. P ສຳລັບຄົນຫວຽດນາມ) 1ໄດ້ມາແລ້ວ 2ກຳລັງປະກັນມາ 3ຢາກປະກັນມາ 4ບໍ່ຢາກປະກັນມາ 5ບໍ່ຮູ້ຈັກ 6ບໍ່ມີພີ່ນ້ອງ
- ໑21-2 ໒໑-໒ ຢາກປະກັນຄອບຄົວມາຍີ່ປຸ່ນບໍ່ 1ໄດ້ມາແລ້ວ 2ກຳລັງປະກັນມາ 3ຢາກປະກັນມາ 4ບໍ່ຢາກປະກັນມາ 5ບໍ່ຮູ້ຈັກ 6ບໍ່ມີພີ່ນ້ອງ
- ໑21-3 ໒໑-໓ ຢາກປະກັນຜູ້ໃດ 1ຜົວຫລືເມຍ 2ພໍ່ແລະແມ່ 3ລູກ 4ອ້າຍແລະນ້ອງ 5ຄູ່ໝັ້ນ 6ຜູ້ອື່ນໆ () 7ບໍ່ມີ

- ◎22. ໒໒. ປະຈຸບັນນີ້ມີບັນຫາແລະຄວາມລຳບາກຫຍັງແດ່ (ໃນນີ້ໃຫ້ຕອບແຕ່ ໓ ຂໍ້)
 1 ກ່ຽວກັບເສຖະກິດ 2 ກ່ຽວກັບວຽກງານ 3 ບັນຫາເຮືອນຢູ່ 4 ພາສາຍີ່ປຸ່ນ 5 ກ່ຽວກັບໜັງສືໂຮງການເມືອງ
 6 ບັນຫາໃນຄອບຄົວ 7 ຄວາມສຳພັນລະຫວ່າງກັບຄົນ 8 ການສຶກສາ 9 ຄອບຄົວຢູ່ທ້າງໄກກັນ 10 ກ່ຽວກັບ
 ການຕັ້ງຖິ່ນຖານ 11 ການແຕ່ງງານ 12 ການເຈັບປ່ວຍ 13 ສາສນາ 14 ອື່ນໆ () 15 ບໍ່ມີ
- ◎23. ໒໓. ເວລາມີບັນຫາລຳບາກມີຜູ້ທີ່ປຶກສາບໍ່ 1 ປຶກສາກັບຄອບຄົວ 2 ກັບໝູ່ເພື່ອນ 3 ຄົນໃນບໍລິສັດ 4 ປຶກສາກັບສູນ
 5 ອາສາສະມັກ 6 ສະມາຄົມຄົນລາວ 7 ອື່ນໆ () 8 ບໍ່ມີ
24. ໒໔. ປະຈຸບັນນີ້ມີບັນຫາຢາກຈະປຶກສາກັບເຈົ້າໜ້າທີ່ສູນບໍ່ 1 ມີ 2 ບໍ່ມີ 3 ບໍ່ຮູ້ຈັກ
- ◎25. ໒໕. ຖ້າວ່າມີສຳນັກບໍລິການຕັ້ງຂຶ້ນສຳລັບພວກທ່ານແລ້ວທ່ານຕ້ອງການຢາກໄຊ້ເຮັດຫຍັງ (ໃນນີ້ໃຫ້ຕອບ ໓ ຂໍ້)
 1 ຫ້ອງນອນ 2 ວັດແລະໂບດ 3 ບ່ອນຫລິ້ນ 4 ບ່ອນຮຽນພາສາປະເທດຕົວເອງ 5 ບ່ອນຮຽນພາສາຍີ່ປຸ່ນ
 6 ຫໍວັດທະນາທັມ 7 ບ່ອນພັກຜ່ອນເວລາຍາວ 8 ໂຮງລ້ຽງເດັກກຳພ້າ 9 ໜັກແມ່ຫລືພໍ່ກັບລູກ 10 ໜັກຜູ້ເຖົ້າ
 11 ອື່ນໆ () 12 ບໍ່ມີ
- ◎26. ໒໖. ມີຄວາມຫວັງຫຍັງນຳລັດຖະບານ, ອົງການສູນກາງໂຕກຽວແລະອົງການອາສາສະມັກບໍ່ (ໃນນີ້ໃຫ້ຕອບ ໓ ຂໍ້)
 1 ການຮຽນພາສາຍີ່ປຸ່ນ 2 ກ່ຽວກັບການປ່ຽນງານໃໝ່ 3 ກ່ຽວກັບໂຮງການເມືອງ 4 ກ່ຽວກັບກິດໝາຍ
 5 ກ່ຽວກັບສຸກພາບ 6 ການເບິ່ງແຍງຜູ້ເຈັບປ່ວຍດ້ານຈິດໃຈ 7 ການສຶກສາ 8 ເງິນທຶນສຶກສາ 9 ຂ່າວສານເປັນ
 ພາສາລາວ 10 ການຮຽນພາສາແລະວັດທະນາທັມລາວ 11 ການກັບປະເທດລາວ 12 ບ່ອນລີ້ໄຟສຸກເສີນ
 13 ການຊ່ວຍເຫຼືອດ້ານເງິນດ່ວນເວລາສຸກເສີນ 14 ອື່ນໆ () 15 ບໍ່ມີ
27. ໒໗. ປະຈຸບັນນີ້ການລ້ຽງຊີວິດຂອງເຈົ້າຢູ່ຍີ່ປຸ່ນເປັນແນວໃດ 1 ດີ 2 ບໍ່ດີ 3 ພໍປານກາງ
28. ໒໘. ຕໍ່ໄປການລ້ຽງຊີວິດຢູ່ຍີ່ປຸ່ນຄິດວ່າເປັນແນວໃດ 1 ດີຂຶ້ນ 2 ບໍ່ປ່ຽນແປງ 3 ບໍ່ດີລົງ 4 ບໍ່ເຂົ້າໃຈ
29. ໒໙. ຢາກຢູ່ຍີ່ປຸ່ນດົນບໍ່ 1 ເຮື້ 2 ບໍ່ 3 ຍັງບໍ່ໝັ້ນໄດ້ຕັດສິນໃຈ
- ◎29-2 ໒໙-໒. (ຜູ້ທີ່ໄດ້ຕອບຂໍ້ 1 ນັ້ນ) 1 ຕ້ອງການສັນຊາດຍີ່ປຸ່ນ 2 ຕັດສິນຊາດແລ້ວ 3 ຕ້ອງການຂໍຢູ່ຍີ່ປຸ່ນແບບຍາວນານ
 4 ຂໍຢູ່ຍາວນານໄດ້ແລ້ວ 5 ຢູ່ແບບປະຈຸບັນນີ້ດີກ່ວາ
- 29-3 ໒໙-໓. (ຜູ້ທີ່ໄດ້ຕອບຂໍ້ 2 ນັ້ນ) 1 ຢາກກັບປະເທດຕົວເອງ 2 ຢາກໄປປະເທດທີ່ ໓ 3 ບໍ່ຮູ້ຈັກ 4 ອື່ນໆ ()
30. ໓໐. ນອກຈາກນີ້ມີຫຍັງຢາກຈະເອົາອີກບໍ່, ໃຫ້ຂຽນໃສ່.

ຂໍຂອບໃຈຫລາຍໆ.

លិខិតពិនិត្យអង្កេត

កន្លែងសំនួរដែលមានសញ្ញា ☆ នេះគឺអាចឆ្លើយប៉ុន្មានក៏បានដែរ
កន្លែងសំនួរដែលមានសញ្ញា © នេះគឺអាចឆ្លើយបានត្រឹមបីសំនួរទេ
ចំពោះសំនួរណាដែលមានបំណងចង់ឆ្លើយជាងគេ ។
ស្រាវជ្រាវដែលមានដូចខាងលើនេះ សូមឆ្លើយតែមួយបានហើយ

調査票
カンボジア語版

1. ១. អាចនិយាយភាសាជប៉ុនដល់កំរិតណាដែរ 1 អាចនិយាយបានដោយសេរី 2 អាចនិយាយគ្រាន់ប្រើការបាន 3 មិនសូវចេះ 4 មិនចេះសឹងតែទាំងអស់ ។
- ☆2. ២. ក្រោយពេលដែលចេញពីមជ្ឈមណ្ឌលទៅតើមានរឿងភាសាជប៉ុនទេ 1 សាលាភាសាជប៉ុន 2 សាលាអប់រំ 3 រឿងខ្លួនឯង 4 រឿងពីក្រុមអ្នកស្ម័គ្រចិត្ត 5 រឿងពីគ្រួសារ 6 ផ្សេងៗទៀត () 7 អត់រឿងទេ ។
- ☆2-2 ២-២ មូលហេតុដែលមិនរឿង : 1 គ្មានពេលវេលា 2 គ្មានប្រាក់កាត់ 3 គ្មានសាលារៀន 4 មិនជាការចាំបាច់ 5 ផ្សេងៗទៀត () ។
3. ៣. តើមានបំណងចង់រៀនភាសាជប៉ុនដែរឬទេ : 1 មាន 2 គ្មាន ។
- ©3-2 ៣-២ តើចង់រៀនភាសាជប៉ុនទីបានចេះត្រឹមកំរិតណា : 1 សម្រាប់ជីវភាពរស់នៅប្រចាំថ្ងៃ 2 សម្រាប់ការងារ ។
3 សម្រាប់ចង់ដឹងអំពីហេតុការណ៍ 4 សម្រាប់បន្តការសិក្សាទៅថ្នាក់ជាន់ខ្ពស់ទៀត 5 សម្រាប់ធ្វើការទាក់ទងគ្នា 6 ផ្សេងៗទៀត () ។
- ☆4. ៤. ចប់ការសិក្សាក្នុងប្រទេសជប៉ុនត្រឹមណា : 1 អនុវិទ្យាល័យ 2 វិទ្យាល័យ 3 សាលាបច្ចេកទេស 4 សាលាបច្ចេកទេសជាន់ខ្ពស់ដែលសិក្សាចំនួន៥ឆ្នាំ 5 សាកលវិទ្យាល័យសិក្សាពីរឆ្នាំ 6 សាកលវិទ្យាល័យ 7 អនុបណ្ឌិត 8 គ្មាន 9 រៀនសាលាបឋម 10 ឈប់សិក្សានៅពាក់កណ្តាលឆ្នាំសិក្សា 11 កំពុងសិក្សា 12 ផ្សេងៗទៀត () ។
- ☆5. ៥. តើមានបំណងចង់បន្តការសិក្សាទៅថ្នាក់ជាន់ខ្ពស់ទៀតទេ : 1 វិទ្យាល័យ 2 សាលាបច្ចេកទេស 3 សាលាបច្ចេកទេសជាន់ខ្ពស់សិក្សាចំនួន៥ឆ្នាំ 4 សាកលវិទ្យាល័យសិក្សាពីរឆ្នាំ 5 សាកលវិទ្យាល័យ 6 អនុបណ្ឌិត 7 ទៅសិក្សានៅឯបរទេស 8 សិក្សាសាលាបឋម 9 គ្មាន 10 ផ្សេងៗទៀត () ។
< សំណួរទី៦នេះសម្រាប់អ្នកដែលមានការងារធ្វើ ពីទី៦ទៅដល់ទី៩ >
6. ៦. 1 រោងចក្រធ្វើអ្វី () 2 កិច្ចការរបស់អ្នកធ្វើខាងអី ()
7. ៧. ចាប់ពីធ្វើការមកចំនួនប៉ុន្មានខែឆ្នាំ : 1 ប្រាំមួយខែ 2 មួយឆ្នាំ 3 បីឆ្នាំ 4 ប្រាំឆ្នាំ 5 ដប់ឆ្នាំ 6 ដប់ឆ្នាំឡើងទៅ ។
8. ៨. ប្រាក់ខែដែលទទួលបានដល់ដៃកាលពីមុនបានប៉ុន្មាន : 1 ប្រាំម៉ឺនចុះក្រោម 2 ដប់ម៉ឺនចុះក្រោម 3 ដប់ប្រាំម៉ឺនចុះក្រោម 4 ម៉ឺនចុះក្រោម 5 សាមសិបម៉ឺនចុះក្រោម 6 សាមសិបម៉ឺនឡើងលើ ។
9. ៩. តើពេញចិត្តនឹងការងារសព្វថ្ងៃនេះទេ : 1 ពេញចិត្ត 2 ពេញចិត្តខ្លះដែរ 3 អត់ពេញចិត្តទេ ។
- ☆9-2 ៩-២ មូលហេតុដែលមិនពេញចិត្ត : 1 បញ្ហាប្រាក់ខែ 2 លក្ខណៈនៃការទទួលយកធ្វើការ 3 បញ្ហាទំនាក់ទំនងរវាងមនុស្សនិងមនុស្ស 4 ការងារដែលមិនត្រូវនឹងខ្លួន 5 ការងារគ្រិត ការងារដែលប្រកបទៅដោយគ្រោះថ្នាក់ ការងារហួសពីសមត្ថភាព ដែលអាចធ្វើបាន 6 ផ្សេងៗទៀត () ។
< សំនួរទី១០គឺសម្រាប់អ្នកដែលអត់ការងារធ្វើ > ពីកាលណាមក ខែណា ឆ្នាំណា
- ☆10. ១០. 1 និសិទ្ធ 2 មេចុះ 3 មានធម្មី 4 កំពុងឈប់សម្រាកការងារ 5 អត់ការងារធ្វើ 6 កំពុងស្វែងរកការងារ 7 ផ្សេងៗទៀត () ។
- ☆10-2 ១០-២ ប្រាក់ជីវភាពរស់នៅធ្វើដូចម្តេចដែរ : 1 ជំនួយពីបងប្អូន 2 ជំនួយពីកន្លែងជាន់របស់ការងារនៅពេលគ្មានការងារធ្វើ ។
3 ប្រាក់ឧបត្ថម្ភជីវភាពពីរដ្ឋ 4 ប្រាក់ជាន់របស់ពេលមានគ្រោះថ្នាក់អ្វីមួយសម្រាប់អ្នកធ្វើការ 5 ជំនួយពីមិត្តភក្តិ 6 សព្វថ្ងៃរស់នៅក្នុងមជ្ឈមណ្ឌលសុខមាលភាព 7 ប្រាក់សន្សំ 8 ធ្វើការក្រៅម៉ោង 9 ផ្សេងៗទៀត () ។
11. ១១. ធ្លាប់ប្តូរការងារដែរឬទេ : 1 ធ្លាប់ ប៉ុន្មានដង _____ ដង 2 អត់ធ្លាប់ (សំនួរទី១២នេះបើអ្នកណាធ្វើការក្រៅម៉ោងដែលមានកំណត់គេឱ្យមួយរយៈខ្លីនុះមិនបាច់ឆ្លើយទេ ។
- ☆11-2 ១១-២ មូលហេតុអ្វីបានជាប្តូរការងារ : 1 បញ្ហាប្រាក់ខែ 2 លក្ខណៈនៃការទទួលយកធ្វើការ 3 ទំនាក់ទំនងរវាងមនុស្សនិងមនុស្ស 4 ការងារដែលមិនត្រូវនឹងយើង 5 ការងារគ្រិត ការងារដែលប្រកបទៅដោយគ្រោះថ្នាក់ ការងារដែលហួសពីសមត្ថភាព ដែលអាចធ្វើបាន
- 11-3 ១១-៣ មានធ្លាប់ចូលសាលាហ្វឹកហ្វឺនការងារដែរឬទេ : 1 មាន 2 គ្មាន បើមានធ្លាប់ចូលសាលាហ្វឹកហ្វឺនការងារតើចូល ហាត់ខាងផ្នែកអ្វី () ។

12. ១២. ទោះជានៅជំនឿក៏ដោយ តើនៅតែបន្តការសាងសង់និងវប្បធម៌របស់មាតុភូមិខ្លួនទេ : 1សារពន្ធនាគារនៅស្រុកកំណើត
របស់ខ្លួន 2នៅបន្តរៀន 3អត់មានបន្តទេ ។
13. ១៣. ចំណង់ចំណូលការសប្បាយនិងអ្វី : (ឆ្លើយបានត្រឹមបីសំណួរ) 1ភ្លេងតន្ត្រី 2ការបើកឡាន 3ដើរលេងទៅកន្លែងឆ្ងាយ 4ការ
អានសៀវភៅ 5ចូលចិត្តមើលទូរទស្សន៍ 6ចូលចិត្តមើលកូន 7ដើរលេងជាមួយសង្សារ 8ចូលចិត្តលេងកីឡា 9ជួបជុំមិត្តភក្តិ
10ចូលចិត្តទិញវត្ថុ 11ចូលចិត្តផឹកស្រា 12ប៉ាឌីងកូ 13ផ្សេងៗទៀត 14ដូចជាគ្មានចូលចិត្តទៅលើអ្វីមួយទេ ។
14. ១៤. មានរបរអាននិងអ្នកជិតខាងដែរឬទេ : 1នៅពេលជួបគ្រាន់តែសារពន្ធនិងគួរសមខ្លះៗ 2ចូលរួមក្នុងពិធីបុណ្យអ្វីមួយដែលគេហៅ
3នៅពេលមានបញ្ហាអ្វីមួយចេះជួយគ្នាទៅវិញទៅមក 4ក្មេងខ្មាន់ដូចគ្នា 5របរអានជាមិត្ត 6ផ្សេងៗទៀត() 7គ្មាន។
15. ១៥. មានដែលទទួលការហាមប្រាមពីសំណាក់អ្នកជិតខាងដែរឬទេ : 1របៀបចោលសំរាម 2អ្វីអ្វីខ្លាំង 3ទាក់ទងនឹងរឿងឡាន
4រឿងកូនក្មេង 5ផ្សេងៗទៀត() 6គ្មាន ។
16. ១៦. អ្នកដែលរស់នៅជិតអ្នកតើមានជំងឺធារាអ្នកណាមានជំងឺខ្លាំងធ្ងន់ធ្ងរដែរឬទេ : 1អត់មានទេ 2មាន→ 1ក្នុងគ្រួសាររបស់ខ្លួន
2មិត្តភក្តិ 3ផ្សេងៗទៀត () ។
17. ១៧. មានទទួលការឧបត្ថម្ភជីវភាពពីរដ្ឋដែរឬទេ : 1អត់មានទទួលទេ 2កំពុងទទួល បើទទួលប្រហែលជាប៉ុន្មានម៉ឺនយ៉េន () ម៉ឺន
3ធ្លាប់បានទទួល 4ចង់ទទួល ។
- 17-2១-2-២<សម្រាប់អ្នកដែលឆ្លើយនិងសំណួរទី2ទៅទី4> ហេតុអ្វីបានជាទទួលប្រាក់ឧបត្ថម្ភជីវភាពពីរដ្ឋ : 1ក្នុងគ្រួសារមានគ្នាច្រើន
2មានជំងឺ 3ប្រាក់ខែថោក 4ម៉ែម៉ាយមានកូនឬពោះម៉ាយមានកូន 5លែងលះគ្នា 6ចាស់ជរា 7អត់មានការងារធ្វើ
8សម្រាលកូន 9ផ្សេងៗទៀត() ។
18. ១៨. មានចូលហូរកេនធានាសុខភាពដែរឬទេ : 1ចូលខាងធានារ៉ាប់រងសង្គម2ចូលខាងធានារ៉ាប់រងប្រជាពលរដ្ឋ (3ផ្សេងៗទៀត ()
4អត់មានចូលទេ ។
19. ១៩. តើមានជួយជំនួយទៅបងប្អូននៅឯប្រទេសក្រៅដែរឬទេ : 1មាន 2គ្មាន 3គ្មានមនុស្សស្គាល់ ។
- 19-2១-៤-២សម្រាប់អ្នកដែលឆ្លើយថា(មាន)តើជួយទៅខាងប្រទេសណា : 1ទៅមាតុភូមិរបស់ខ្លួន 2ទៅឯជំរុញស្នូន 3ទៅឯប្រទេស
ទីបី . ចំនួនលុយដែលធ្វើទៅសរុបទាំងអស់ប្រហែលជាប៉ុន្មានក្នុងមួយឆ្នាំ _____ ម៉ឺនយ៉េន , របស់របរនាំទៅ() ប្រហែលជា
() ម៉ឺនយ៉េនក្នុងមួយឆ្នាំ ។
20. 20. ចាប់តាំងពីមករស់នៅក្នុងស្រុកជំនឿនេះ មានដែលធ្លាប់ចេញទៅប្រទេសក្រៅដែរឬទេ :
1ទៅមាតុភូមិកំណើត 2អាស៊ីប៉ែកអគ្នេយ៍ 3អាមេរិកខាងជើង 4អូស្ត្រាលី 5អឺរ៉ុប 6ផ្សេងៗទៀត() 7គ្មាន ។
ទៅប៉ុន្មានដង() ដង, () ដង, () ដង, () ដង, () ដង, () ដង ។
- 20-2 20-2មូលហេតុដែលចេញទៅប្រទេសក្រៅ : 1ទស្សន៍ 2ទៅលេងបងប្អូន 3ទៅប្រាសាទឬទៅធ្វើបុណ្យខ្មោច 4ទៅព្យាបាលជំងឺ
5ទៅធ្វើជំនួញ . កិច្ចការរោងចក្រ 6ការទស្សន៍សម្រាប់បុគ្គលិករោងចក្រ 7ទៅរៀបអាពាហ៍ពិពាហ៍ 8ផ្សេងៗទៀត() ។
21. 21. ការប្តឹងសុំយកគ្រួសារ : 1បានមកដល់ហើយ 2កំពុងដាក់ពាក្យសុំ 3មានបំណងចង់ប្តឹង 4គ្មានបំណង 5គ្មានដំណឹង .
6គ្មានអ្នកស្គាល់ ។
- 21-2 21-2ការប្តឹងសុំយកព្រាតិសន្តានឬអ្នកមកលេង : 1ឥឡូវនេះនៅក្នុងស្រុកជំនឿនេះ 2កំពុងដាក់ពាក្យសុំ 3មានបំណងចង់ប្តឹង
4គ្មានបំណង 5គ្មានដំណឹង 6គ្មានអ្នកស្គាល់ ។
- 21-3 21-3តើប្តឹងយកអ្នកណា : 1គ្រួសារ 2ឪពុកម្តាយ 3កូន 4បងប្អូនប្រុស ស្រី 5គូដណ្តឹង 6ផ្សេងៗទៀត() 7គ្មាន ។

- ©22. ២២. ឥឡូវនេះតើមានពិបាកក្នុងរឿងបញ្ហាអ្វីមួយទេ : (ឆ្លើយបានត្រឹមបីសំនួរ) 1 ពិបាករឿងជីវភាព 2 បញ្ហាសាងសង់. កន្លែងធ្វើការ។
3 បញ្ហាទីលំនៅ 4 បញ្ហាភាសា 5 ពេលធ្វើក្រដាសស្នាមនៅសាលាក្រុង 6 បញ្ហាក្នុងគ្រួសារ 7 ការរាប់អានមនុស្ស 8 ការអប់រំ
ឬបន្តការសិក្សា 9 បញ្ហាគ្រួសារដែលបែកខ្ចាត់ 10 ការរស់នៅតែទៅថ្ងៃមុខឬការចេញទៅប្រទេសក្រៅ 11 បញ្ហារៀបអពាហ៍ពិពាហ៍
12 បញ្ហាជម្ងឺ 13 សាសនា 14 ផ្សេងៗទៀត () 15 គ្មានបញ្ហាអ្វីទេ ។
- ©23. ២៣. នៅពេលមានបញ្ហាពិបាកអ្វីមួយតើពិគ្រោះជាមួយអ្នកណា : (ឆ្លើយបានត្រឹមបី) 1 ពិគ្រោះជាមួយគ្រួសារ 2 ពិគ្រោះជាមួយមិត្តភក្តិ
3 ពិគ្រោះជាមួយអ្នកធ្វើការក្នុងរោងចក្រ 4 មជ្ឈមណ្ឌលយ៉ាម៉ាតូ 5 ក្រុមអ្នកស្ម័គ្រចិត្ត 6 សមាគមខ្មែរនៅក្នុងជប៉ុន 7 ផ្សេងៗទៀត
() 8 អត់មាន ។
24. ២៤. ក្រោយពេលដែលចេញពីមជ្ឈមណ្ឌលទៅប្រកបជីវភាពនៅខាងក្រៅមានដែលធ្លាប់ទៅពិគ្រោះជាមួយនិងអ្នកធ្វើការនៅមជ្ឈមណ្ឌល
អំពីរឿងការងារដែរឬទេ : 1 មាន 2 អត់ 3 អត់ដឹង ។
- ©25. ២៥. បើសិនជាមានផ្ទះសំណាក់គេឱ្យ ហើយយើងអាចយកអាគារនោះធ្វើអ្វីបានដោយសេរី តើអ្នកយកធ្វើជាអ្វីក្នុងការប្រើប្រាស់ :
(ឆ្លើយបានត្រឹមបីសំនួរ) 1 ធ្វើជាផ្ទះសម្រាប់ទៅគេងលេង 2 ធ្វើជារថ 3 ធ្វើជាបរិយាគ្គាសរាប់កំសាន្ត 4 កន្លែងបង្រៀនភាសាខ្មែរ
5 កន្លែងរៀនភាសាជប៉ុន 6 កន្លែងវប្បធម៌ 7 កន្លែងអ្នកជម្ងឺ 8 កន្លែងកុមារកំព្រា 9 ផ្ទះសំរាប់មេម៉ាយដែលមានកូន ឬពោះ
ម៉ាយមានកូន 10 ផ្ទះសំរាប់មនុស្សចាស់ជរា 11 ផ្សេងៗទៀត () 12 គ្មានអ្វីជាពិសេសទេ ។
- ©26. ២៦. តើមានបំណងចង់រៀនអ្វីមួយទៅខាងរដ្ឋបាល. ខាងណាម៉ឺនយ៉ូហ្គុយម៉ាដូនីនខាងក្រុមស្ម័គ្រចិត្តដែរឬទេ : (ឆ្លើយបានត្រឹមបីសំនួរ)
1 ជួយបង្រៀនភាសាជប៉ុន 2 ពិគ្រោះពីរឿងកន្លែងធ្វើការឬការផ្លាស់ប្តូរការងារ 3 ពិគ្រោះពីរឿងធ្វើការនៅសាលាក្រុងផ្នែករដ្ឋបាល
ជាដើម 4 ពិគ្រោះពីរឿងច្បាប់ 5 ពិគ្រោះអំពីរឿងសុខភាព 6 ពីរឿងអ្នកដែលមានជម្ងឺសតិអារម្មណ៍ 7 អំពីការអប់រំ 8 អំពីរឿង
ប្រាក់ជំនួយក្នុងការសិក្សា 9 ចង់ដឹងអំពីស្ថានភាពរាត្រីរូបិយប័ណ្ណនានាភាសាខ្មែរ 10 អំពីរឿងចង់រៀនភាសាកំណើតនិងវប្បធម៌
11 អំពីរឿងការវិលត្រឡប់ទៅមាតុភូមិវិញ 12 ពីរឿងកន្លែងរៀនស្នូននៅពេលមានអាសន្ន 13 ពីរឿងចង់ខ្ចីប្រាក់នៅពេលអាសន្ន
14 ផ្សេងៗទៀត () 15 គ្មាន ។
27. ២៧. ជីវភាពរស់នៅក្នុងស្រុកជប៉ុនរបស់អ្នកសព្វថ្ងៃនេះមានសភាពការណ៍យ៉ាងណាដែរ: 1 ល្អ 2 មិនល្អ 3 មិនអាចសន្និដ្ឋានបាន ។
28. ២៨. តើពីរឿងជីវភាពរស់នៅតែទៅមុខទៀតក្នុងស្រុកជប៉ុនយល់យ៉ាងណាដែរ: 1 កាន់តែគ្រាន់ឡើង 2 គ្មានប្រែប្រួល 3 កាន់តែអាក្រក់ឡើង
4 មិនយល់ ។
29. ២៩. តើចង់រស់នៅស្រុកជប៉ុនតទៅទៀតឱ្យបានយូរទេ : 1 បាទឬចា 2 អត់ទេ 3 មិនទាន់សម្រេច ។
- ©29-2
២៩-២ សម្រាប់អ្នកដែលឆ្លើយនិងសំនួរទី1 : 1 មានបំណងចង់យកសញ្ជាតិ 2 យកសញ្ជាតិរួចហើយ 3 បំណងចង់បានសិទ្ធិតាំងទី
លំនៅរហូតទៅ 4 បានសិទ្ធិតាំងទីលំនៅរហូតហើយ 5 ដូចសព្វថ្ងៃបានហើយ ។
- 29-3 ២៩-៣ សម្រាប់អ្នកដែលឆ្លើយនិងសំនួរទី2 : 1 ត្រឡប់ទៅមាតុភូមិវិញ 2 ទៅរស់នៅឯប្រទេសទីបី 3 មិនទាន់ដឹងទេ 4 ផ្សេងៗទៀត
() ។
30. ៣០. ក្រៅពីនេះតើមានយោបល់ ឬក៏មានបំណងអ្វីទៀតទេ . ។

សូមថ្លែងអំណរគុណយ៉ាងជ្រៅលំដាប់ដែលបានជួយ
ជ្រមុជជ្រង់ក្នុងការបំពេញលិខិតពិនិត្យអង្កេតនេះ ។

インドシナ難民関係年表

1973	I	米軍ベトナムより撤退	I : 国際関係
			J : 日本国内
			H : 難民事業本部関係
1975.04.15	I	カンボジア ロンノル政権崩壊	
1975.04.30	I	ベトナム戦争終結、サイゴン陥落	
1975.05.12	J	日本に初めてボートピープル上陸	
1977.09.20	J	「ベトナム難民対策について」閣議了解	
1978.04.28	J	「ベトナム難民の定住許可について」閣議了解	
1978.09.03	J	本邦一時滞在難民に対し初めて定住許可	
1979.01.11	I	カンボジア ヘンサムリン政権成立	
1979.02.07	J	外務省アジア局に「東南アジア難民問題対策室」設置	
1979.04.03	J	「インドシナ難民定住対策について」閣議了解（定住枠500人を決定）	
1979.07.13	J	内閣に「インドシナ難民対策連絡調整会議」設置	
1979.11.02	H	難民事業本部発足	
1979.12.11	H	姫路定住促進センター開所	
1980.02.29	H	大和定住促進センター開所	
1980.06.17	J	閣議了解により定住枠1千人に拡大、ベトナムから家族呼寄せの許可	
1981.04.28	J	閣議了解により定住枠3千人に拡大、元留学生などを定住枠に含める	
1981.06.05	J	難民条約 国会承認	
1981	J	定住許可者1千名を越える	
1982.01.01	J	難民条約発効	
1982.02.01	H	大村難民一時レセプションセンター 開所	
1982.07.06	J	行政管理庁による「難民行政監察結果に基づく勧告」 出される	
1982.07.09	I	流出難民 100万人を越えるとUNHCR	
1982	J	定住許可者2千名を越える	
1983.04.01	H	国際救援センター 開所	
1983.11.01	J	閣議了解により定住枠5千人に拡大	
1984.10.01	H	インドシナ難民雇用促進月間始まる	
1985.07.09	J	閣議了解により定住枠1万人に拡大	
1987	J	定住許可者5千名を越える	
1988.06.30	I	ベトナム軍カンボジアより撤退始まる	
1989.05.29	J	この年 直接漂着者 22船2804名上陸に及ぶ	
1989.06.13	I	難民国際会議開催（ジュネーブ）CPAによる千名の受入を表明	
1989.09.12	J	閣議了解による難民資格審査認定制度開始	
1989.12.21	J	中国よりの偽装難民送還開始	
1990.09.17	I	カンボジア最高国民評議会SNC創設	
1991. 1	I	緒方女史UNHCR高等弁務官就任	
1991.10.23	I	カンボジア和平協定成立	
1991.	I	国連カンボジア暫定機構UNTAC設立	
1992.	I	UNTAC明石代表任命	
1992.03.30	I	カンボジア難民帰還開始	
1992	J	定住許可者8千名を越える	

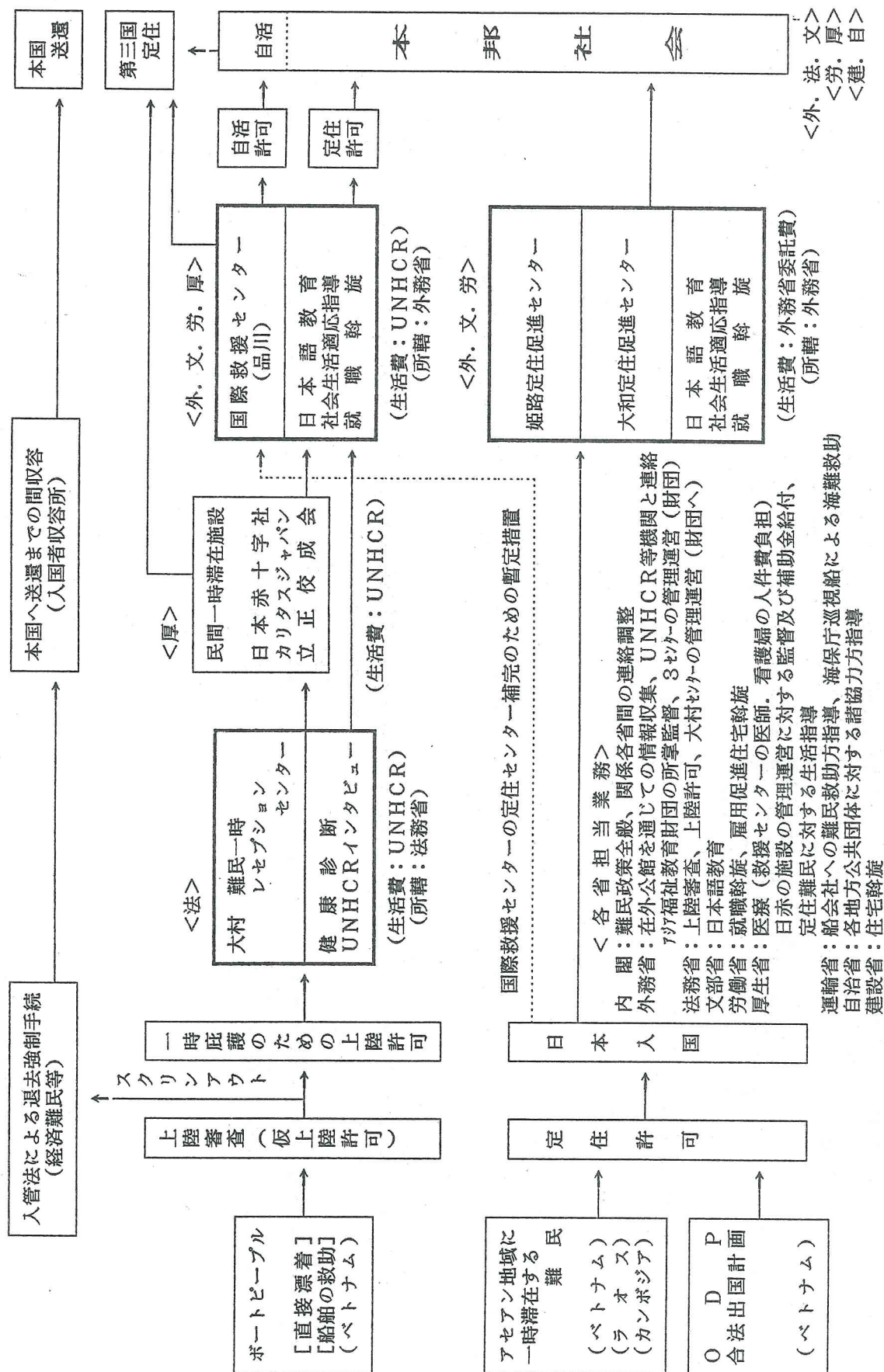
資料2

インドシナ難民 75～92年 アセアン流出入/本邦入出国/センター入所の内訳 (歴年別)

各種資料より		75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	合計
アセアン等	流入(千)	75千	43	45	149	390	163	100	49	37	47	46	29	33	62	83	41	28	4	1435千
	出国(千)	27千	38	20	51	192	246	121	157	67	69	58	53	47	50	49	47	14	16	1337千
	<他の直接移動>	<130千>	<アメリカ>		<263千>	<中国>														<393千>
	ODP国(千)	-	-	-	-	2	5	10	10	19	29	25	18	13	21	43	57	47	59	379千
	自主帰還者(千)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	5	4	43千
合計	自主帰還カン(千)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	11250千
	滞留(千)	62千	78	104	204	405	309	233	205	167	160	160	145	138	156	196	195	196	--	---
本邦上陸	上陸回数	9	11	25	22	33	32	39	23	17	17	18	12	10	9	16	8	1	1	308
	<中国より到着>															<22>	<1>	[9]	<23>	
	上陸人数	126	247	833	712	1165	1278	1026	1037	799	503	435	330	144	219	700	334	80	17	107970
	<中国より到着>															<2798>	<40>	[286]	0	<28380>
出国者	スクリニア外	79	124	561	593	522	638	1134	792	435	412	371	205	195	116	162	283	67	55	6744
	滞留者	48	175	469	597	1255	1897	1799	1898	1909	1295	917	930	638	595	1001	924	679	398	398
本邦定住者	国内B P	-	-	-	3	2	50	48	216	395	738	484	129	262	164	152	171	267	239	3316
	O D P	-	-	-	-	-	-	20	23	32	12	6	28	26	143	115	242	147	142	936
	海外キャンプ	-	-	-	-	92	346	393	217	248	229	240	149	291	193	194	321	370	411	3694
	内 C P A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	238	199	160	646
	定住者計	-	(内742留学生) ^s	3	94	396	1203 ^s	456	675	979	730	306	579	500	461	734	800	792	8688	
大村	入所者	-	-	-	-	-	-	-	1009	799	507	437	336	147	225	3026	382	380	30	7278
	内 漂着船	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2328	40	362	17	2747
	内 出生児	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	2	6	3	6	4	8	14	13	64
	在所者	-	-	-	-	-	-	-	110	172	43	89	93	129	150	963	182	377	131	----
国際救援	入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	526	564	324	274	154	139	13190	284	272	226	4138
	内 大村センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77	44	117	13010	49	-	1	1589
	内 国内キャンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	525	558	316	190	99	12	4	50	49	37	1852
	内 海外キャンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	157	158	119	464
	内 O D P	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	62	132
	内 出生児	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	8	7	11	10	14	28	9	7	101
	内 退所者	-	-	-	-	-	-	-	-	192	593	478	235	213	122	9900	430	341	264	3892
	内 就職者	-	-	-	-	-	-	-	-	113	365	242	116	97	79	106	211	218	59	1612
	在所者	-	-	-	-	-	-	-	-	334	305	151	190	131	148	477	331	261	245	----
	入所者	-	-	-	-	35	211	219	225	222	210	158	133	130	156	191	191	142	127	2379
	内 ポートビナル	-	-	-	-	11	60	52	200	200	117	58	69	4	14	3	-	12	1	801
	内 海外キャンプ	-	-	-	-	24	147	16	17	18	79	95	44	107	64	61	115	119	98	1180
内 O D P	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	-	18	17	76	127	74	8	25	353	
内 出生児	-	-	-	-	-	4	2	6	4	9	5	2	2	2	-	2	3	3	45	
内 ベトナム	-	-	-	-	21	132	147	226	222	210	158	133	104	156	191	153	50	40	1943	
内 ラオス	-	-	-	-	14	79	71	-	-	-	-	-	26	-	-	38	92	87	436	
内 退所者	-	-	-	-	-	170	214	211	225	245	159	155	121	137	157	203	152	139	2294	
内 就職者	-	-	-	-	-	84	119	149	144	159	74	77	73	69	74	120	87	81	1313	
在所者	-	-	-	-	35	76	81	95	92	57	56	56	43	62	96	84	74	85	----	
大和定住	入所者	-	-	-	-	-	241	244	210	211	178	155	108	181	133	136	151	157	139	2246
	内 ポートビナル	-	-	-	-	-	21	13	3	1	22	-	-	-	-	-	-	-	-	606
	内 海外キャンプ	-	-	-	-	-	218	227	187	206	144	147	105	179	129	131	41	98	137	1949
	内 O D P	-	-	-	-	-	-	-	15	-	9	4	-	-	-	-	128	59	-	195
	内 出生児	-	-	-	-	-	2	4	5	4	3	4	3	2	4	5	2	-	2	42
	内 ベトナム	-	-	-	-	-	36	26	19	14	48	10	-	1	-	-	108	76	-	338
	内 ラオス	-	-	-	-	-	116	132	42	45	5	63	91	29	63	32	28	66	32	745
	内 カンボジア	-	-	-	-	-	89	86	149	152	126	81	17	151	70	104	15	15	107	1163
	内 退所者	-	-	-	-	-	114	257	228	225	176	164	121	153	134	129	169	145	118	2142
	内 就職者	-	-	-	-	-	62	116	104	84	94	53	48	71	49	47	52	35	49	867
	在所者	-	-	-	-	-	127	114	96	82	84	75	62	90	89	96	78	90	104	----

① 他に出生 530名、死亡16名 ② < > 2826名を入管施設に収容 内2812名中国に出国済

③ []は仮上陸不許可の者エキシコン ④ 686名(出生1名)は漂着者 (1)タイ残留中11万名



UNHCRが、一時滞在中のボートピープルに対する生活、医療援助、第三国定住希望先斡旋等を行う。上陸から大村センターまで、及び各センター、民間施設への移送費用を負担している。

インドシナ難民の就職状況

[本部発足時54年11月からの累計]

<職種別 就職および賃金状況>

新規就職者数 / 最高賃金	最高賃金		～最高(千円)	
	男性	女性	計	男性 女性
建築設計	4	-	4	～195 -
情報処理技術者	2	-	2	～234 -
看護婦医療従事者	11	19	30	～170 ～220
通訳	8	1	9	～210 210
販売店員	6	12	18	～300 ～110
家政婦・家事手伝	1	4	5	～157 ～100
理容師・美容師	2	11	13	～120 ～100
調理人	22	11	33	～250 ～250
給仕従事者	24	22	46	～130 ～150
管理人	5	4	9	～115 ～110
養鶏養畜作業員	11	3	14	～137 ～110
ガラス品成形加工	40	22	62	～240 ～140
鋳物・鍛造工	64	18	82	～218 ～125
①金属工作機械工	392	60	452	～245 ～126
②金属プレス工	218	29	247	～250 ～125
⑧板金工	145	28	173	～213 ～180
めっき工	64	16	80	～190 ～111
③溶接工	182	28	210	～260 ～100
④機械組立・修理工	140	54	194	～221 ～135
⑥電子電気器具組工	124	60	184	～264 ～125
電子機器部品製造	71	54	125	～260 ～165
⑤自動車組立工	144	44	188	～230 ～132
自動車修理工	31	3	34	～158 ～110
水産物・食肉加工	41	23	64	～243 ～125
食料品製造	38	28	66	～205 ～120
ミシン縫製工	39	89	128	～220 ～117
木工(大工)	35	11	46	～200 ～102
⑩印刷作業員	107	26	133	～225 ～131
製本作業員	68	28	96	～170 ～160
ゴム製品製造工	31	14	45	～231 ～140
⑦プラスチック成形	122	52	174	～258 ～156
製革工	42	29	71	～262 ～154
靴製造工	60	38	98	～215 ～170
⑨塗装工	115	25	139	～228 ～150
包装工	40	27	67	～212 ～175
運搬作業員	38	1	39	～174 ～120
配達員(新聞)	24	1	25	～180 ～100
清掃員	16	12	28	～150 ～170
雑務員	42	23	65	～110 ～110
その他の職種	233	61	294	～283 ～200
合計	2802	991	3793	～300 ～250

○内の数字は多い順

平成4年12月末現在

<年齢・性別就職状況>

年齢区分	男性	女性	合計
19才以下	549	209	758
20～24	833	288	1121
25～29	654	243	897
30～34	416	123	539
35～39	174	62	236
40～49	115	49	164
50才以上	61	17	78
計	2802	991	3793

<県別・センター別就職状況>

県別	姫路	大和	国際	合計
福島	1	-	1	2
茨城	18	3	43	64
栃木	11	9	55	75
群馬	28	5	50	82
④埼玉	53	60	183	296
千葉	17	10	80	105
②東京	113	131	*624	866
①神奈川	150	*597	308	1044
山梨	13	9	1	23
長野	-	-	1	1
岐阜	6	-	-	6
静岡	20	14	83	117
愛知	10	-	13	23
滋賀	21	5	1	27
京都	9	-	3	12
⑤大阪	216	0	16	230
奈良	27	-	5	32
和歌山	2	-	1	3
③兵庫	*495	5	27	526
島根	3	-	-	3
岡山	28	-	-	26
広島	50	8	4	62
香川	4	-	-	4
福岡	1	-	-	1
長崎	6	-	4	10
熊本	2	-	-	2
大分	-	-	4	4
宮崎	2	-	4	6
☆三国出国	6	11	102	119
計 28県	1313	867	1613	3793

*: センター所在県

☆: 就職後第三国へ移住定住の者